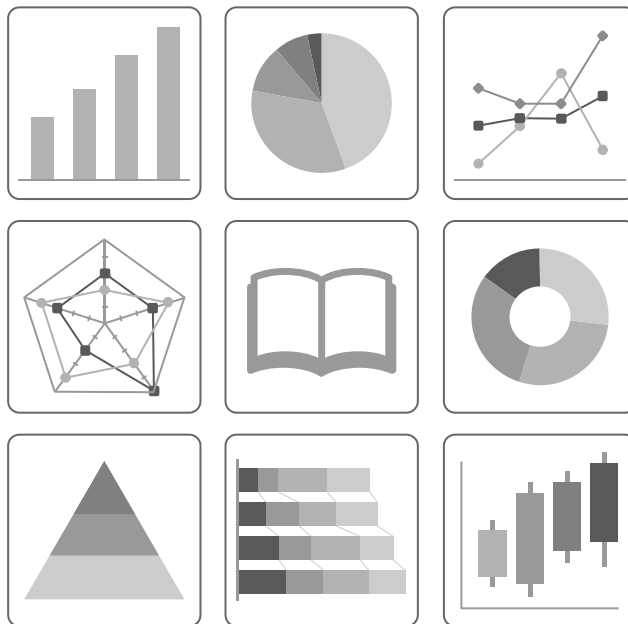


(案)

茨木市 人権問題に関する市民意識調査 報告書



令和4年3月

茨木市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	信頼区間について	2
II	調査結果	3
1	人権問題や差別について	3
2	さまざまな人権問題について	65
	（1）女性の人権について	65
	（2）子どもの人権について	72
	（3）高齢者の人権について	78
	（4）障害者の人権について	83
	（5）部落差別について	89
	（6）外国人の人権について	93
	（7）インターネットにおける人権について	98
	（8）セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について	104
	（9）さまざまな人権問題について	105
3	回答者属性	109
4	自由記載	111
III	資料（調査票）	112

I 調査の概要

1 調査の目的

社会情勢の変化や、人権をとりまく環境の変化に対応していくため、人権問題に関するご意見・お考えをお尋ねし、「第2次茨木市人権施策推進計画」の中間見直しの基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

茨木市在住の18歳以上の方の中から2,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和3年11月11日から令和3年11月22日

4 調査方法

郵送による配布・回収

インターネットによる回答

5 回収状況

配 布 数	有効回答数	有効回答率
2,000 通	975 通	48.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 信頼区間について

今回のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出されます。誤差の範囲は、母集団の大きさ、標本数、回答率と、信頼度（算出された範囲に誤差が収まる確率）から、統計的に求めることができます。このようにして求めた標本誤差を、得られた調査結果に加減した範囲が、信頼区間になります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団数、 n = 回答者数、 P = 回答比率 ($0 \leq P \leq 1$)

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものが以下の表となります。例えば、ある設問の回答者数 (n) が 975 人であり、その設問中の選択肢の回答比率 (P) が 30%であった場合、その回答比率の誤差は $\pm 2.9\%$ となり、27.1%～32.7%の範囲にあると考えられます。

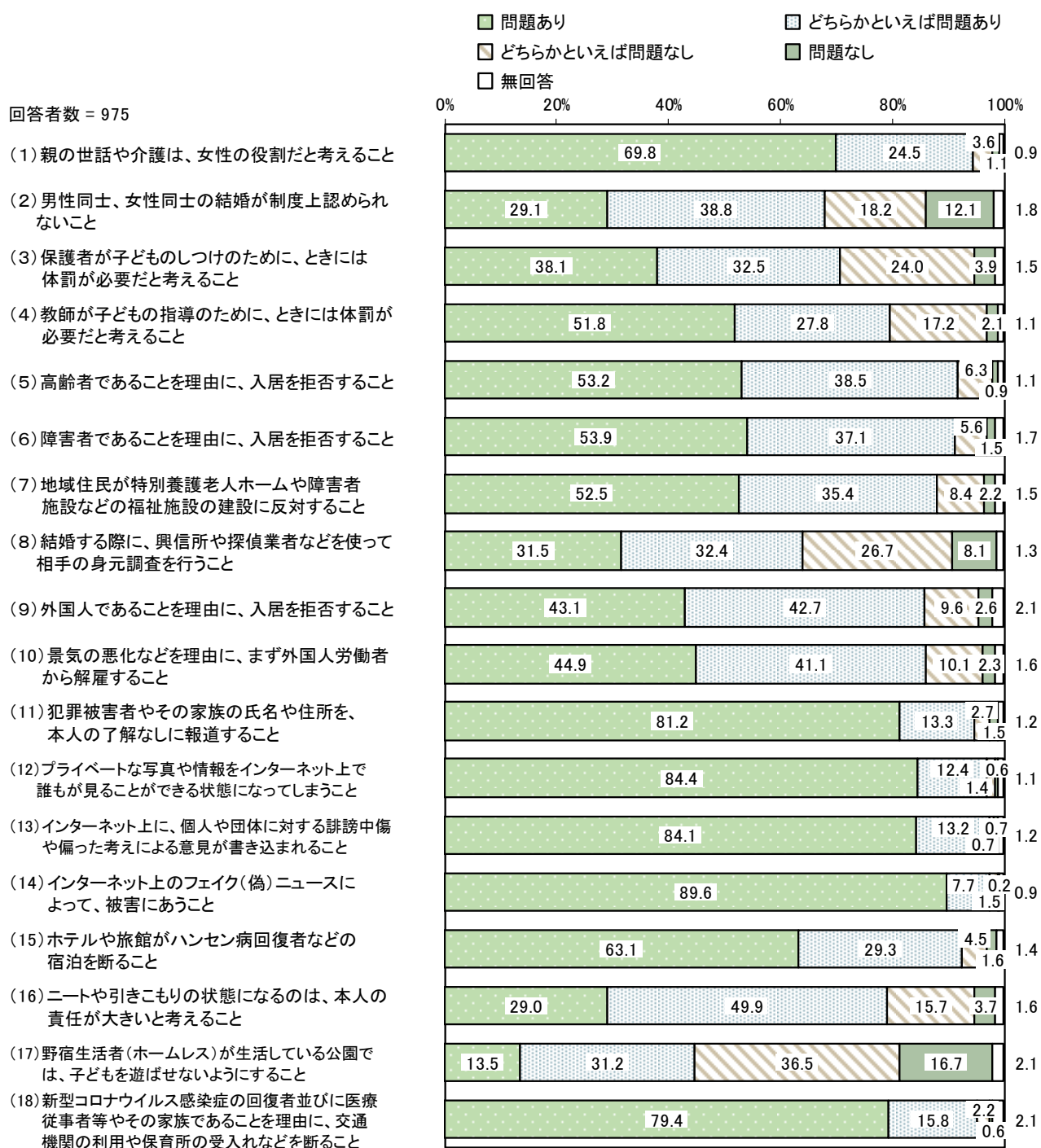
回答比率 (P) 回答者数 (n)		5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体 (回答者数=975)		1.4	1.9	2.2	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.1
性別	女性 (回答者数=556)	1.8	2.5	3.0	3.3	3.6	3.8	4.0	4.1	4.1	4.1
	男性 (回答者数=404)	2.1	2.9	3.5	3.9	4.2	4.5	4.6	4.8	4.8	4.9
年齢	18～19 歳 (回答者数=17)	10.3	14.2	17.0	19.0	20.6	21.8	22.6	23.3	23.6	23.7
	20 歳代 (回答者数=95)	4.4	6.0	7.2	8.0	8.7	9.2	9.6	9.8	10.0	10.0
	30 歳代 (回答者数=126)	3.8	5.2	6.2	7.0	7.5	8.0	8.3	8.5	8.7	8.7
	40 歳代 (回答者数=168)	3.3	4.5	5.4	6.0	6.5	6.9	7.2	7.4	7.5	7.5
	50 歳代 (回答者数=160)	3.4	4.6	5.5	6.2	6.7	7.1	7.4	7.6	7.7	7.7
	60 歳代 (回答者数=148)	3.5	4.8	5.7	6.4	7.0	7.4	7.7	7.9	8.0	8.0
	70 歳以上 (回答者数=259)	2.6	3.6	4.3	4.9	5.3	5.6	5.8	6.0	6.0	6.1

Ⅱ 調査結果

1 人権問題や差別について

問1 あなたは、以下のことについて、人権上どの程度問題があると思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

『(13) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること』『(14) インターネット上のフェイク（偽）ニュースによって、被害にあうこと』で「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」を合わせた「問題あり」の割合が97.3%と高くなっています。『(17) 野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること』で「どちらかといえば問題なし」と「問題なし」を合わせた「問題なし」の割合が53.2%と高くなっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること』では、18～19 歳、20 歳代、30 歳代で「問題あり」の割合が高くなっています。

『(2) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと』では、18～19 歳、20 歳代で「問題あり」の割合が高くなっています。

『(3) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰が必要だと考えること』、『(6) 障害者であることを理由に、入居を拒否すること』、『(9) 外国人であることを理由に、入居を拒否すること』、『(11) 犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること』、『(17) 野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること』では、18～19 歳で「問題あり」の割合が高くなっています。

『(4) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰が必要だと考えること』、『(16) ニートや引きこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること』では、18～19 歳で「どちらかといえば問題なし」の割合が低くなっています。

『(5) 高齢者であることを理由に、入居を拒否すること』では、70 歳以上で「問題あり」の割合が高くなっています。

『(7) 地域住民が特別養護老人ホームや障害者施設などの福祉施設の建設に反対すること』では、60 歳代で「問題あり」の割合が高くなっています。

『(8) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと』、『(12) プライベートな写真や情報をインターネット上で誰もが見ることができる状態になってしまうこと』では、20 歳代で「問題あり」の割合が低くなっています。

『(18) 新型コロナウイルス感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断ること』では、18～19 歳で「どちらかといえば問題あり」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること					(2) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと				
			問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答	問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体		975	69.8	24.5	3.6	1.1	0.9	29.1	38.8	18.2	12.1	1.8
平成 26 年度調査		753	52.9	33.7	6.4	2.9	4.1	19.4	29.9	25.8	20.3	4.6
性別	女性	556	71.4	22.7	3.6	1.3	1.1	34.9	39.6	15.5	7.9	2.2
	男性	404	68.8	26.0	3.5	1.0	0.7	21.0	37.9	22.0	18.1	1.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	17.6	0.0	0.0	0.0	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0
	20 歳代	95	82.1	13.7	4.2	0.0	0.0	50.5	40.0	7.4	2.1	0.0
	30 歳代	126	83.3	13.5	2.4	0.0	0.8	34.1	45.2	11.1	7.9	1.6
	40 歳代	168	79.2	16.7	1.8	1.8	0.6	35.7	38.1	17.3	7.7	1.2
	50 歳代	160	75.6	20.0	3.1	0.0	1.3	30.0	42.5	18.1	6.9	2.5
	60 歳代	148	65.5	29.7	3.4	0.7	0.7	14.2	41.2	26.4	17.6	0.7
	70 歳以上	259	51.0	39.0	5.8	2.7	1.5	19.7	33.2	22.4	21.6	3.1

		回答者数	(3) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰が必要だと考えること					(4) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰が必要だと考えること				
			問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答	問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体		975	38.1	32.5	24.0	3.9	1.5	51.8	27.8	17.2	2.1	1.1
平成 26 年度調査		753	17.7	29.0	36.8	12.2	4.4	23.1	25.6	34.1	12.2	4.9
性別	女性	556	42.6	32.9	20.9	2.2	1.4	58.8	24.6	14.0	1.1	1.4
	男性	404	31.9	31.7	28.5	6.2	1.7	42.1	32.4	21.5	3.5	0.5
年齢別	18～19 歳	17	52.9	35.3	11.8	0.0	0.0	58.8	35.3	5.9	0.0	0.0
	20 歳代	95	40.0	35.8	18.9	4.2	1.1	58.9	22.1	17.9	1.1	0.0
	30 歳代	126	37.3	37.3	20.6	4.0	0.8	51.6	31.0	15.1	1.6	0.8
	40 歳代	168	42.9	32.7	21.4	1.8	1.2	54.8	29.2	13.7	1.8	0.6
	50 歳代	160	46.9	23.1	25.0	3.1	1.9	53.1	23.1	19.4	2.5	1.9
	60 歳代	148	30.4	41.9	23.0	4.1	0.7	54.7	27.7	16.9	0.0	0.7
	70 歳以上	259	32.4	29.0	30.1	5.8	2.7	44.0	30.1	20.1	3.9	1.9

単位：％

		回答者数	(5) 高齢者であることを理由に、入居を拒否すること					(6) 障害者であることを理由に、入居を拒否すること				
			問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答	問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体		975	53.2	38.5	6.3	0.9	1.1	53.9	37.1	5.6	1.5	1.7
平成 26 年度調査		753	—	—	—	—	—	54.2	33.6	6.0	1.7	4.5
性別	女性	556	52.5	41.4	4.5	0.5	1.1	54.0	38.7	4.7	0.7	2.0
	男性	404	55.2	33.9	8.4	1.5	1.0	54.2	34.9	6.9	2.7	1.2
年齢別	18～19 歳	17	58.8	35.3	5.9	0.0	0.0	76.5	23.5	0.0	0.0	0.0
	20 歳代	95	41.1	41.1	15.8	2.1	0.0	49.5	35.8	12.6	2.1	0.0
	30 歳代	126	43.7	42.9	11.9	0.8	0.8	51.6	37.3	9.5	0.8	0.8
	40 歳代	168	51.8	38.1	9.5	0.0	0.6	50.6	38.7	9.5	0.6	0.6
	50 歳代	160	48.1	46.9	2.5	0.0	2.5	42.5	51.9	3.8	0.0	1.9
	60 歳代	148	58.1	36.5	3.4	1.4	0.7	59.5	32.4	2.7	3.4	2.0
	70 歳以上	259	63.3	31.7	1.9	1.5	1.5	61.4	30.9	1.9	2.3	3.5

		回答者数	(7) 地域住民が特別養護老人ホームや障害者施設などの福祉施設の建設に反対すること					(8) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと				
			問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答	問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体		975	52.5	35.4	8.4	2.2	1.5	31.5	32.4	26.7	8.1	1.3
平成 26 年度調査		753	—	—	—	—	—	27.1	35.6	24.2	8.8	4.4
性別	女性	556	50.4	38.1	7.6	2.0	2.0	32.6	34.4	25.0	6.7	1.4
	男性	404	55.4	31.4	9.9	2.5	0.7	29.5	30.2	29.5	10.1	0.7
年齢別	18～19 歳	17	41.2	41.2	11.8	5.9	0.0	41.2	23.5	29.4	5.9	0.0
	20 歳代	95	31.6	47.4	17.9	3.2	0.0	16.8	38.9	31.6	12.6	0.0
	30 歳代	126	48.4	36.5	11.9	2.4	0.8	27.0	31.7	27.8	12.7	0.8
	40 歳代	168	50.0	39.9	8.3	0.6	1.2	26.8	29.8	32.7	9.5	1.2
	50 歳代	160	51.3	40.0	5.0	1.3	2.5	36.3	30.6	24.4	6.9	1.9
	60 歳代	148	63.5	26.4	6.1	1.4	2.7	31.8	37.8	25.7	4.1	0.7
	70 歳以上	259	59.5	29.0	6.6	3.5	1.5	38.6	30.9	22.4	6.2	1.9

単位：％

		回答者数	(9) 外国人であることを理由に、入居を拒否すること					(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること				
			問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答	問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体		975	43.1	42.7	9.6	2.6	2.1	44.9	41.1	10.1	2.3	1.6
平成 26 年度調査		753	38.4	41.6	11.4	4.1	4.5	37.2	40.6	13.1	4.6	4.4
性別	女性	556	43.0	46.0	6.8	2.0	2.2	46.6	42.3	7.4	2.0	1.8
	男性	404	43.6	38.4	13.1	3.5	1.5	43.8	39.1	13.6	2.7	0.7
年齢別	18～19 歳	17	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0	52.9	35.3	11.8	0.0	0.0
	20 歳代	95	43.2	41.1	12.6	3.2	0.0	45.3	38.9	15.8	0.0	0.0
	30 歳代	126	46.0	38.9	10.3	4.0	0.8	44.4	43.7	7.1	4.0	0.8
	40 歳代	168	43.5	44.0	9.5	1.2	1.8	41.7	41.7	13.1	3.0	0.6
	50 歳代	160	32.5	53.1	9.4	1.9	3.1	40.0	46.9	9.4	1.3	2.5
	60 歳代	148	41.9	46.6	7.4	3.4	0.7	50.0	36.5	9.5	2.7	1.4
	70 歳以上	259	47.1	36.7	10.0	2.7	3.5	46.7	40.2	8.1	2.3	2.7

		回答者数	(11) 犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること					(12) プライベートな写真や情報をインターネット上で誰もが見ることが出来る状態になってしまうこと				
			問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答	問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体		975	81.2	13.3	2.7	1.5	1.2	84.4	12.4	1.4	0.6	1.1
平成 26 年度調査		753	71.3	19.8	2.5	2.3	4.1	—	—	—	—	—
性別	女性	556	81.5	12.8	2.5	1.4	1.8	84.5	12.8	0.7	0.5	1.4
	男性	404	81.2	13.6	3.0	1.7	0.5	84.7	11.4	2.5	0.7	0.7
年齢別	18～19 歳	17	94.1	0.0	5.9	0.0	0.0	76.5	23.5	0.0	0.0	0.0
	20 歳代	95	89.5	8.4	1.1	1.1	0.0	72.6	22.1	4.2	1.1	0.0
	30 歳代	126	84.9	10.3	2.4	1.6	0.8	85.7	11.9	1.6	0.0	0.8
	40 歳代	168	84.5	10.7	2.4	1.2	1.2	82.7	12.5	3.6	0.0	1.2
	50 歳代	160	79.4	12.5	5.0	1.9	1.3	87.5	10.0	0.0	0.6	1.9
	60 歳代	148	80.4	14.2	3.4	1.4	0.7	85.1	11.5	0.7	2.0	0.7
	70 歳以上	259	74.9	19.3	1.5	1.9	2.3	87.3	10.4	0.4	0.4	1.5

単位：％

		回答者数	(13) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること					(14) インターネット上のフェイク（偽）ニュースによって、被害にあうこと				
			問題あり	どちらかといえば問題あり	どちらかといえば問題なし	問題なし	無回答	問題あり	どちらかといえば問題あり	どちらかといえば問題なし	問題なし	無回答
全 体		975	84.1	13.2	0.7	0.7	1.2	89.6	7.7	1.5	0.2	0.9
平成 26 年度調査		753	66.9	23.2	3.5	2.1	4.2	—	—	—	—	—
性別	女性	556	86.0	11.9	0.4	0.4	1.4	90.5	7.4	1.1	0.0	1.1
	男性	404	81.4	15.3	1.0	1.2	1.0	88.4	8.2	2.2	0.5	0.7
年齢別	18～19 歳	17	82.4	11.8	5.9	0.0	0.0	82.4	11.8	0.0	5.9	0.0
	20 歳代	95	77.9	18.9	0.0	3.2	0.0	85.3	11.6	3.2	0.0	0.0
	30 歳代	126	79.4	16.7	1.6	1.6	0.8	86.5	9.5	2.4	0.0	1.6
	40 歳代	168	81.0	16.7	1.2	0.0	1.2	88.7	9.5	1.2	0.0	0.6
	50 歳代	160	85.0	11.9	0.6	0.6	1.9	91.9	6.3	0.6	0.0	1.3
	60 歳代	148	89.2	9.5	0.7	0.0	0.7	95.3	3.4	0.7	0.0	0.7
	70 歳以上	259	87.3	10.4	0.0	0.4	1.9	89.2	7.3	1.9	0.4	1.2

		回答者数	(15) ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること					(16) ニートや引きこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること				
			問題あり	どちらかといえば問題あり	どちらかといえば問題なし	問題なし	無回答	問題あり	どちらかといえば問題あり	どちらかといえば問題なし	問題なし	無回答
全 体		975	63.1	29.3	4.5	1.6	1.4	29.0	49.9	15.7	3.7	1.6
平成 26 年度調査		753	47.8	32.9	9.2	4.8	5.3	21.8	42.9	22.6	8.1	4.6
性別	女性	556	63.8	29.5	3.6	1.4	1.6	32.7	51.6	11.5	2.2	2.0
	男性	404	62.6	29.5	5.2	2.0	0.7	24.0	48.3	21.3	5.7	0.7
年齢別	18～19 歳	17	70.6	29.4	0.0	0.0	0.0	35.3	29.4	29.4	5.9	0.0
	20 歳代	95	53.7	33.7	8.4	4.2	0.0	20.0	49.5	23.2	7.4	0.0
	30 歳代	126	58.7	29.4	8.7	2.4	0.8	29.4	49.2	15.9	4.0	1.6
	40 歳代	168	63.7	31.5	3.0	0.6	1.2	26.8	53.0	14.9	3.6	1.8
	50 歳代	160	70.0	23.1	3.1	0.6	3.1	29.4	50.0	15.0	3.1	2.5
	60 歳代	148	69.6	24.3	4.7	0.7	0.7	35.8	46.6	14.9	2.0	0.7
	70 歳以上	259	59.8	33.2	3.1	2.3	1.5	29.3	51.7	13.5	3.5	1.9

単位：％

		回答者数	(17) 野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること					(18) 新型コロナウイルス感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断ること				
			問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答
全 体		975	13.5	31.2	36.5	16.7	2.1	79.4	15.8	2.2	0.6	2.1
平成 26 年度調査		753	10.8	29.6	30.8	23.1	5.7	—	—	—	—	—
性 別	女性	556	11.7	34.4	36.0	15.5	2.5	80.8	14.9	1.4	0.4	2.5
	男性	404	16.3	26.5	37.6	18.6	1.0	77.7	16.6	3.2	1.0	1.5
年 齢 別	18～19 歳	17	35.3	29.4	35.3	0.0	0.0	70.6	29.4	0.0	0.0	0.0
	20 歳代	95	8.4	26.3	50.5	14.7	0.0	73.7	23.2	1.1	1.1	1.1
	30 歳代	126	7.1	23.8	41.3	26.2	1.6	84.9	11.9	0.8	1.6	0.8
	40 歳代	168	13.1	25.0	38.1	22.0	1.8	81.0	15.5	1.2	0.0	2.4
	50 歳代	160	11.3	30.0	36.3	19.4	3.1	83.1	10.6	2.5	1.3	2.5
	60 歳代	148	15.5	31.8	36.5	14.2	2.0	80.4	12.8	2.7	0.7	3.4
	70 歳以上	259	17.8	40.9	28.6	10.4	2.3	75.7	18.9	3.5	0.0	1.9
暮 ら し 向 き	良い	352	13.9	25.9	36.4	22.4	1.4	83.8	13.4	1.1	0.6	1.1
	ふつう	496	14.5	31.9	38.3	13.5	1.8	79.2	15.7	2.6	0.0	2.4
	悪い	118	9.3	41.5	31.4	13.6	4.2	68.6	22.0	3.4	2.5	3.4

【人権問題の認知度別、関心度別集計】

人権問題の認知度別でみると、「問題あり」の割合は『(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること』『(2) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと』では、女性の人権問題について内容まで知っている人で高くなっています。

『(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること』では、外国人の人権問題について内容まで知っている人で、『(15) ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること』では、H I V感染者、ハンセン病回復者等の人権問題について内容まで知っている人で「問題あり」の割合が高くなっています。

人権問題の関心度別でみると、「問題あり」の割合は『(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること』『(2) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと』では、女性の人権問題について非常に関心がある人で高くなっています。

また、『(4) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰が必要だと考えること』では、子どもの人権問題について、『(6) 障害者であることを理由に、入居を拒否すること』では、障害者の人権問題について、『(7) 地域住民が特別養護老人ホームや障害者施設などの福祉施設の建設に反対すること』では、高齢者の人権問題、障害者の人権問題について、それぞれ非常に関心がある人で「問題あり」の割合が高くなっています。

『(8) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと』では、部落差別（同和問題）について非常に関心がある人で「問題あり」の割合が高くなっています。

『(9) 外国人であることを理由に、入居を拒否すること』『(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること』では、外国人の人権問題について、『(15) ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること』では、H I V感染者、ハンセン病回復者等の人権問題について、『(16) ニートや引きこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること』では、こころの病（うつ病、依存症など）の人権問題について、『(17) 野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること』では、ホームレスの人権問題について、それぞれ非常に関心がある人で「問題あり」の割合が高くなっています。

単位：％

			回答者数	(１) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	69.8	24.5	3.6	1.1	0.9
女性の 人権問題	認知度	内容まで知っている	451	80.9	15.1	2.2	1.1	0.7
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	448	62.5	31.5	4.5	0.9	0.7
		知らない	61	49.2	42.6	6.6	1.6	0.0
	関心度	非常にある	224	86.6	10.7	0.9	1.3	0.4
		どちらかといえばある	373	76.1	20.6	1.9	0.3	1.1
		ふつう	286	59.1	35.3	4.2	0.7	0.7
		どちらかといえはない	55	38.2	41.8	18.2	1.8	0.0
		全くない	18	27.8	44.4	16.7	11.1	0.0

			回答者数	(２) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	29.1	38.8	18.2	12.1	1.8
セクシュアル マイノリティの 人権問題	認知度	内容まで知っている	346	44.8	35.3	9.8	9.2	0.9
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	445	23.4	44.5	19.8	10.3	2.0
		知らない	166	13.3	30.7	32.5	21.7	1.8
	関心度	非常にある	158	67.1	25.3	3.8	3.2	0.6
		どちらかといえばある	264	39.0	44.7	9.5	6.1	0.8
		ふつう	339	15.0	47.8	25.1	8.8	3.2
		どちらかといえはない	116	9.5	29.3	36.2	24.1	0.9
		全くない	79	11.4	19.0	24.1	44.3	1.3

単位：％

			回答者数	(3) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰が必要だと考えること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	38.1	32.5	24.0	3.9	1.5
子どもの人権問題	認知度	内容まで知っている	593	40.5	33.7	21.6	3.2	1.0
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	344	35.8	29.9	28.5	4.4	1.5
		知らない	23	30.4	34.8	21.7	13.0	0.0
		非常にある	427	47.3	28.6	20.6	2.8	0.7
	関心度	どちらかといえばある	343	32.1	35.0	26.8	4.4	1.7
		ふつう	157	29.9	34.4	28.7	5.1	1.9
		どちらかといえはない	17	41.2	41.2	5.9	11.8	0.0
		全くない	7	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0

			回答者数	(４) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰が必要だと考えること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	51.8	27.8	17.2	2.1	1.1
子どもの人権問題	認知度	内容まで知っている	593	54.8	27.7	15.5	1.3	0.7
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	344	48.3	29.1	19.8	2.6	0.3
		知らない	23	39.1	26.1	17.4	13.0	4.3
	関心度	非常にある	427	63.5	20.6	14.1	1.2	0.7
		どちらかといえばある	343	44.9	33.5	19.2	1.7	0.6
		ふつう	157	41.4	34.4	19.1	4.5	0.6
		どちらかといえはない	17	47.1	35.3	11.8	5.9	0.0
		全くない	7	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3

単位：％

			回答者数	(５) 高齢者であることを理由に、入居を拒否すること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	53.2	38.5	6.3	0.9	1.1
高齢者の 人権問題	認知度	内容まで知っている	473	54.1	37.6	7.0	0.4	0.8
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	433	51.5	40.6	6.0	1.2	0.7
		知らない	49	55.1	36.7	2.0	4.1	2.0
	関心度	非常にある	264	62.1	33.7	3.0	0.0	1.1
		どちらかといえばある	418	51.7	41.4	5.0	1.2	0.7
		ふつう	228	47.4	41.7	8.8	1.3	0.9
		どちらかといえはない	33	45.5	27.3	24.2	3.0	0.0
		全くない	9	44.4	22.2	33.3	0.0	0.0

			回答者	(６) 障害者であることを理由に、入居を拒否すること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	53.9	37.1	5.6	1.5	1.7
障害者の 人権問題	認知度	内容まで知っている	385	58.4	34.3	5.2	1.3	0.8
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	495	51.3	39.2	6.7	1.4	1.4
		知らない	73	50.7	42.5	2.7	2.7	1.4
	関心度	非常にある	214	75.2	20.6	2.8	0.5	0.9
		どちらかといえばある	370	52.2	41.6	3.5	1.6	1.1
		ふつう	317	44.8	41.6	9.1	2.2	2.2
		どちらかといえはない	38	39.5	47.4	13.2	0.0	0.0
		全くない	19	36.8	52.6	10.5	0.0	0.0

単位：％

			回答者	(7) 地域住民が特別養護老人ホームや障害者施設などの福祉施設の建設に反対すること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	52.5	35.4	8.4	2.2	1.5
高齢者の人権問題	認知度	内容まで知っている	473	57.5	31.7	7.6	2.1	1.1
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	433	48.7	40.2	8.3	1.6	1.2
		知らない	49	40.8	34.7	20.4	2.0	2.0
	関心度	非常にある	264	65.5	26.5	4.9	1.9	1.1
		どちらかといえばある	418	52.6	38.0	5.7	2.6	1.0
		ふつう	228	41.2	42.1	14.0	0.9	1.8
		どちらかといえはない	33	36.4	33.3	30.3	0.0	0.0
		全くない	9	44.4	11.1	33.3	11.1	0.0
障害者の人権問題	認知度	内容まで知っている	385	56.6	33.0	6.8	2.6	1.0
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	495	50.1	39.0	8.7	1.2	1.0
		知らない	73	49.3	30.1	15.1	4.1	1.4
	関心度	非常にある	214	66.4	28.5	2.8	1.4	0.9
		どちらかといえばある	370	52.4	38.9	6.5	1.6	0.5
		ふつう	317	46.4	36.6	11.7	3.2	2.2
		どちらかといえはない	38	39.5	39.5	21.1	0.0	0.0
		全くない	19	42.1	21.1	31.6	5.3	0.0

			回答者	(8) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	31.5	32.4	26.7	8.1	1.3
部落差別(同和問題)	認知度	内容まで知っている	413	35.1	31.0	25.7	7.3	1.0
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	456	27.4	33.6	28.9	9.2	0.9
		知らない	92	35.9	35.9	19.6	7.6	1.1
	関心度	非常にある	118	51.7	26.3	14.4	6.8	0.8
		どちらかといえばある	279	34.8	35.1	23.7	5.7	0.7
		ふつう	381	24.9	36.2	31.2	6.0	1.6
		どちらかといえはない	131	26.0	25.2	35.1	13.0	0.8
		全くない	45	28.9	24.4	13.3	33.3	0.0

単位：％

			回答者数	(9) 外国人であることを理由に、入居を拒否すること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	43.1	42.7	9.6	2.6	2.1
外国人の 人権問題	認知度	内容まで知っている	314	50.3	37.3	8.9	1.9	1.6
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	530	40.9	45.3	9.6	2.5	1.7
		知らない	111	35.1	47.7	13.5	3.6	0.0
	関心度	非常にある	130	66.9	26.2	4.6	0.0	2.3
		どちらかといえばある	285	49.5	40.7	5.6	2.8	1.4
		ふつう	406	37.7	48.3	10.6	1.7	1.7
		どちらかといえはない	94	23.4	50.0	21.3	4.3	1.1
		全くない	34	29.4	47.1	11.8	11.8	0.0

			回答者数	(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	44.9	41.1	10.1	2.3	1.6
外国人の 人権問題	認知度	内容まで知っている	314	56.1	31.8	8.6	2.2	1.3
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	530	39.4	46.2	11.1	2.1	1.1
		知らない	111	40.5	45.0	10.8	2.7	0.9
	関心度	非常にある	130	72.3	20.8	5.4	1.5	0.0
		どちらかといえばある	285	49.8	39.3	9.1	0.7	1.1
		ふつう	406	39.2	46.3	10.3	2.0	2.2
		どちらかといえはない	94	24.5	54.3	18.1	3.2	0.0
		全くない	34	35.3	41.2	8.8	14.7	0.0

単位：％

			回答者数	(11) 犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	81.2	13.3	2.7	1.5	1.2
問題 刑を終えて出所した人の人権	認知度	内容まで知っている	230	86.1	9.1	2.2	1.3	1.3
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	521	79.5	16.3	3.1	0.8	0.4
		知らない	207	82.6	11.6	1.9	2.9	1.0
	関心度	非常にある	93	84.9	10.8	0.0	2.2	2.2
		どちらかといえばある	252	84.9	11.1	2.0	1.6	0.4
		ふつう	400	79.0	16.0	3.5	0.5	1.0
		どちらかといえはない	155	82.6	13.5	2.6	0.6	0.6
		全くない	55	78.2	9.1	3.6	9.1	0.0
犯罪被害者等の人権問題	認知度	内容まで知っている	288	86.1	8.7	2.1	2.1	1.0
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	519	79.8	15.6	3.3	1.0	0.4
		知らない	149	81.2	14.8	1.3	2.0	0.7
	関心度	非常にある	189	89.9	7.4	0.0	2.1	0.5
		どちらかといえばある	316	83.5	12.0	2.5	1.3	0.6
		ふつう	328	77.7	17.4	3.4	0.6	0.9
		どちらかといえはない	79	79.7	15.2	2.5	1.3	1.3
		全くない	40	67.5	15.0	7.5	7.5	2.5

			回答者数	(12) プライベートな写真や情報をインターネット上で誰もが見ることができる状態になってしまうこと				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	84.4	12.4	1.4	0.6	1.1
インターネットによる人権侵害	認知度	内容まで知っている	503	82.9	13.9	1.6	0.6	1.0
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	394	86.8	10.9	1.3	0.5	0.5
		知らない	62	87.1	11.3	0.0	1.6	0.0
	関心度	非常にある	304	87.2	10.2	1.3	0.0	1.3
		どちらかといえばある	352	86.9	10.8	0.9	0.6	0.9
		ふつう	235	82.1	14.5	2.1	0.9	0.4
		どちらかといえはない	36	69.4	30.6	0.0	0.0	0.0
		全くない	28	71.4	17.9	3.6	7.1	0.0

単位：％

			回答者数	(13) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	84.1	13.2	0.7	0.7	1.2
インターネットによる人権侵害	認知度	内容まで知っている	503	83.1	13.7	1.2	1.2	0.8
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	394	86.5	12.2	0.3	0.0	1.0
		知らない	62	83.9	16.1	0.0	0.0	0.0
	関心度	非常にある	304	90.8	7.2	0.0	1.0	1.0
		どちらかといえばある	352	83.8	15.1	0.6	0.0	0.6
		ふつう	235	79.1	16.6	2.1	0.9	1.3
		どちらかといえはない	36	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0
		全くない	28	82.1	10.7	0.0	3.6	3.6

			回答者数	(14) インターネット上のフェイク（偽）ニュースによって、被害にあうこと				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	89.6	7.7	1.5	0.2	0.9
インターネットによる人権侵害	認知度	内容まで知っている	503	88.3	9.3	1.4	0.2	0.8
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	394	92.9	5.8	1.0	0.0	0.3
		知らない	62	88.7	6.5	3.2	1.6	0.0
	関心度	非常にある	304	93.8	4.9	0.3	0.3	0.7
		どちらかといえばある	352	88.9	9.7	0.6	0.0	0.9
		ふつう	235	88.1	8.9	2.6	0.0	0.4
		どちらかといえはない	36	88.9	8.3	2.8	0.0	0.0
		全くない	28	78.6	3.6	14.3	3.6	0.0

単位：％

			回答者数	(15) ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	63.1	29.3	4.5	1.6	1.4
HIV感染者、ハンセン病回復者等の人権問題	認知度	内容まで知っている	261	78.5	14.9	2.7	2.3	1.5
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	507	60.7	32.3	5.3	0.8	0.8
		知らない	189	49.2	42.3	5.3	2.6	0.5
	関心度	非常にある	105	84.8	10.5	2.9	1.0	1.0
		どちらかといえばある	290	67.9	24.8	4.8	1.4	1.0
		ふつう	399	62.7	30.1	4.3	1.5	1.5
		どちらかといえはない	115	44.3	47.8	6.1	1.7	0.0
		全くない	47	42.6	48.9	4.3	4.3	0.0

			回答者数	(16) ニートや引きこもりの状態になるのは、本人の責任が大きい と考えること				
				問題あり	問題あり どちらか といえば	問題なし どちらか といえば	問題なし	無回答
全 体			975	29.0	49.9	15.7	3.7	1.6
こころの病（うつ病、 依存症など） の人権問題	認知度	内容まで知っている	329	34.3	45.3	15.2	4.0	1.2
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	502	27.9	53.2	14.3	3.2	1.4
		知らない	126	20.6	50.8	23.0	5.6	0.0
	関心度	非常にある	214	45.3	43.0	8.4	3.3	0.0
		どちらかといえばある	354	31.1	51.7	13.0	3.1	1.1
		ふつう	304	18.8	53.9	21.1	3.6	2.6
		どちらかといえはない	51	17.6	52.9	25.5	3.9	0.0
		全くない	35	25.7	37.1	22.9	14.3	0.0

単位：％

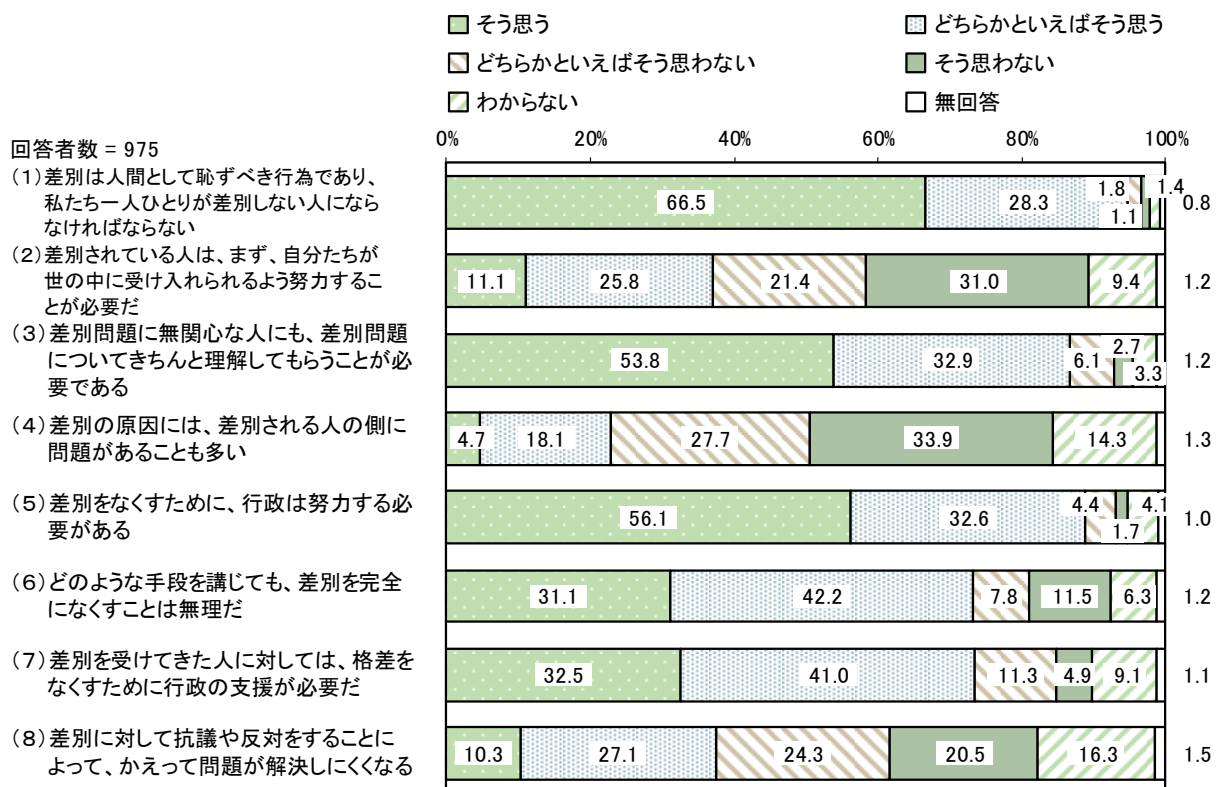
			回答者数	(17) 野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	13.5	31.2	36.5	16.7	2.1
ホームレスの人権問題	認知度	内容まで知っている	280	20.7	27.9	32.1	17.1	2.1
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	509	10.6	33.6	38.9	15.3	1.6
		知らない	169	11.2	29.6	37.9	20.7	0.6
	関心度	非常にある	96	40.6	28.1	19.8	9.4	2.1
		どちらかといえばある	286	13.6	39.9	35.0	10.5	1.0
		ふつう	413	8.0	29.8	40.7	19.4	2.2
		どちらかといえはない	110	10.9	20.0	44.5	24.5	0.0
		全くない	53	13.2	30.2	28.3	28.3	0.0

			回答者数	(18) 新型コロナウイルス感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断ること				
				問題あり	問題あり どちらかといえば	問題なし どちらかといえば	問題なし	無回答
全 体			975	79.4	15.8	2.2	0.6	2.1
新型コロナウイルスに伴う人権問題 見や差別、自粛に伴う人権問題	認知度	内容まで知っている	442	86.2	10.9	0.9	0.5	1.6
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	432	74.1	20.4	3.0	0.7	1.9
		知らない	84	73.8	20.2	3.6	1.2	1.2
		非常にある	305	87.5	9.5	0.7	1.0	1.3
	関心度	どちらかといえばある	346	79.2	16.8	1.7	0.6	1.7
		ふつう	238	72.3	20.6	3.8	0.4	2.9
		どちらかといえはない	38	71.1	26.3	2.6	0.0	0.0
		全くない	28	75.0	17.9	7.1	0.0	0.0

問2 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

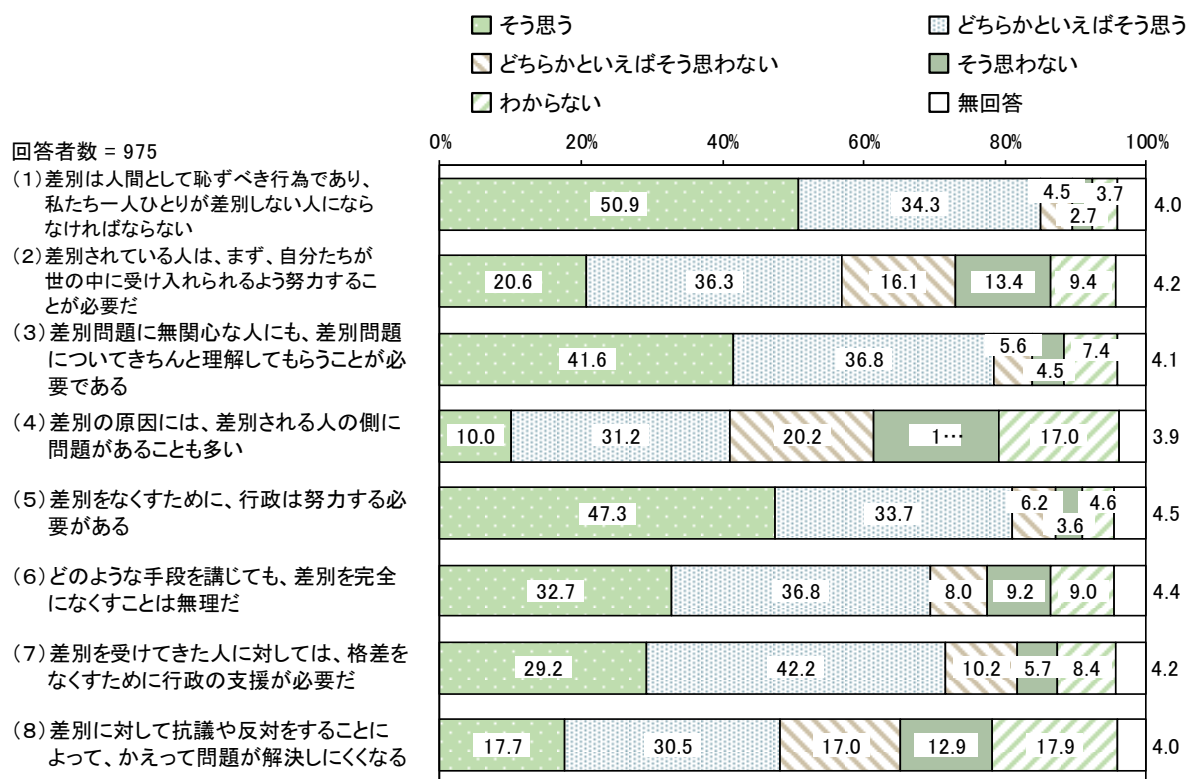
『（１）差別は人間として恥すべき行為であり、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、『私たち一人ひとりが差別しない人にならない』で94.8%と最も高く、次いで『（５）差別をなくすために、行政は努力する必要がある』で88.7%となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合は『（４）差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い』で61.6%と最も高く、次いで『（２）差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』で52.4%となっています。



【参考】平成 26 年度調査

さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。すべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。



【大阪府比較・性別・年齢別集計】

令和 2 年度大阪府調査と比較すると、『(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である』では、大阪府に比べ、本市の方が「そう思う」の割合が高くなっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(1) 差別は人間として恥すべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない』、『(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である』では、「そう思う」の割合は 40 歳代で低くなっています。

『(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』、『(7) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ』、『(8) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる』では、「そう思う」の割合は 18～19 歳で高くなっています。

『(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い』では、「どちらかといえばそう思わない」の割合は 18～19 歳、20 歳代で高くなっています。

『(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ』では、「そう思う」の割合は 18～19 歳、20 歳代で高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない						(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ					
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体		975	66.5	28.3	1.8	1.1	1.4	0.8	11.1	25.8	21.4	31.0	9.4	1.2
平成 26 年度調査		753	50.9	34.3	4.5	2.7	3.7	4.0	20.6	36.3	16.1	13.4	9.4	4.2
大阪府		1,553	63.2	29.4	2.1	1.5	2.4	1.4	13.6	22.6	22.7	29.2	10.2	1.7
性別	女性	556	68.3	27.0	1.4	0.7	1.6	0.9	9.5	24.8	22.5	30.9	11.0	1.3
	男性	404	64.4	29.5	2.5	1.7	1.2	0.7	13.4	27.5	20.0	30.7	7.2	1.2
年齢別	18～19 歳	17	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	29.4	17.6	17.6	29.4	5.9	0.0
	20 歳代	95	70.5	25.3	2.1	2.1	0.0	0.0	7.4	27.4	27.4	31.6	6.3	0.0
	30 歳代	126	65.9	29.4	0.8	2.4	0.8	0.8	7.9	18.3	23.0	42.1	7.9	0.8
	40 歳代	168	56.5	36.9	3.6	1.2	1.2	0.6	5.4	24.4	26.2	34.5	8.9	0.6
	50 歳代	160	71.9	24.4	0.0	0.6	1.3	1.9	8.8	16.9	23.8	35.0	14.4	1.3
	60 歳代	148	64.2	29.1	2.0	0.0	4.1	0.7	8.1	23.0	25.7	30.4	11.5	1.4
	70 歳以上	259	69.5	25.5	1.9	1.2	1.2	0.8	19.7	37.8	12.0	20.8	7.3	2.3

		回答者数	(3) 差別問題に関心ない人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である						(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い					
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体		975	53.8	32.9	6.1	2.7	3.3	1.2	4.7	18.1	27.7	33.9	14.3	1.3
平成 26 年度調査		753	41.6	36.8	5.6	4.5	7.4	4.1	10.0	31.2	20.2	17.8	17.0	3.9
大阪府		1,553	44.2	40.0	6.4	3.2	4.8	1.4	7.1	20.4	25.7	32.6	12.6	1.6
性別	女性	556	52.7	34.5	5.0	1.3	5.0	1.4	4.3	16.5	26.4	35.6	15.5	1.6
	男性	404	55.7	30.9	7.4	4.5	0.7	0.7	5.0	20.8	29.7	30.9	12.9	0.7
年齢別	18～19 歳	17	52.9	35.3	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	23.5	41.2	17.6	5.9	0.0
	20 歳代	95	55.8	32.6	8.4	3.2	0.0	0.0	6.3	10.5	41.1	26.3	15.8	0.0
	30 歳代	126	54.8	28.6	6.3	4.0	5.6	0.8	5.6	14.3	31.7	38.9	8.7	0.8
	40 歳代	168	43.5	43.5	6.5	3.6	1.8	1.2	2.4	14.3	29.8	34.5	17.9	1.2
	50 歳代	160	58.1	28.1	5.6	2.5	3.1	2.5	3.1	15.6	31.3	37.5	10.6	1.9
	60 歳代	148	51.4	31.8	9.5	1.4	5.4	0.7	2.7	19.6	21.6	36.5	17.6	2.0
	70 歳以上	259	58.3	32.0	2.7	2.3	3.5	1.2	6.9	25.5	20.1	31.3	15.1	1.2

単位：％

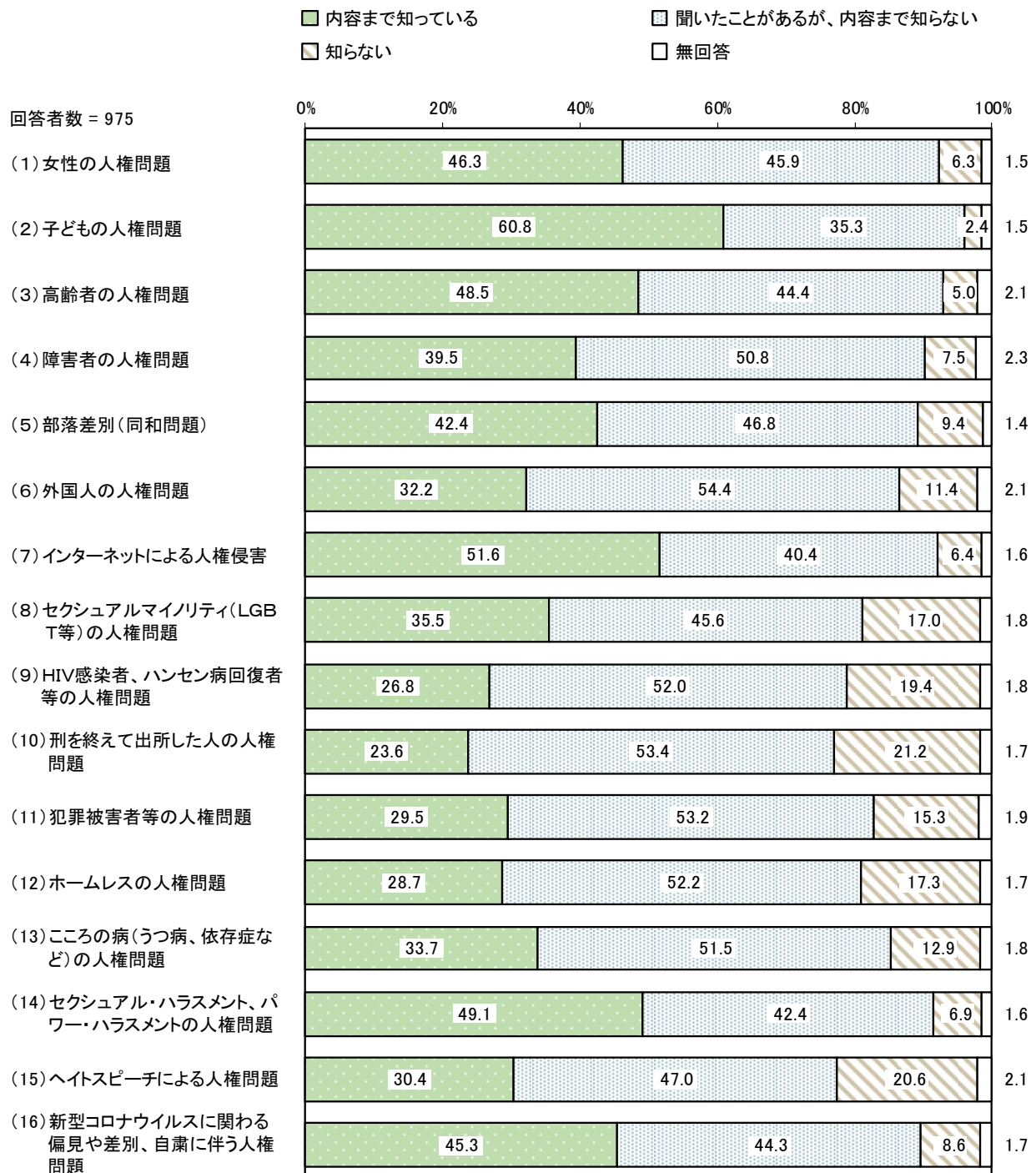
		回答者数	(５) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある						(６) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ					
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体		975	56.1	32.6	4.4	1.7	4.1	1.0	31.1	42.2	7.8	11.5	6.3	1.2
平成 26 年度調査		753	47.3	33.7	6.2	3.6	4.6	4.5	32.7	36.8	8.0	9.2	9.0	4.4
大阪府		1,553	50.2	33.5	4.8	2.2	7.7	1.6	31.6	38.4	8.3	9.6	10.5	1.6
性別	女性	556	58.3	32.2	3.2	0.7	4.3	1.3	30.9	44.8	7.6	8.6	6.8	1.3
	男性	404	53.5	33.4	5.9	3.0	3.5	0.7	32.2	38.6	8.2	15.3	4.7	1.0
年齢別	18～19 歳	17	58.8	41.2	0.0	0.0	0.0	0.0	52.9	41.2	5.9	0.0	0.0	0.0
	20 歳代	95	49.5	41.1	6.3	1.1	2.1	0.0	44.2	43.2	9.5	0.0	3.2	0.0
	30 歳代	126	56.3	31.0	3.2	3.2	5.6	0.8	34.9	48.4	5.6	3.2	7.1	0.8
	40 歳代	168	52.4	35.7	6.5	1.2	3.6	0.6	37.5	41.1	4.2	10.7	6.0	0.6
	50 歳代	160	53.1	31.9	5.0	3.8	5.0	1.3	28.1	43.8	10.0	12.5	4.4	1.3
	60 歳代	148	56.8	31.1	5.4	0.7	4.1	2.0	25.0	43.2	10.1	16.2	4.1	1.4
	70 歳以上	259	62.2	29.3	1.9	1.2	4.2	1.2	24.3	38.2	8.1	17.4	10.0	1.9

		回答者数	(７) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ						(８) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる					
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体		975	32.5	41.0	11.3	4.9	9.1	1.1	10.3	27.1	24.3	20.5	16.3	1.5
平成 26 年度調査		753	29.2	42.2	10.2	5.7	8.4	4.2	17.7	30.5	17.0	12.9	17.9	4.0
大阪府		1,553	28.6	38.1	11.3	5.0	15.5	1.5	14.2	24.9	19.8	18.9	20.5	1.8
性別	女性	556	33.8	40.6	9.5	4.0	10.6	1.4	9.0	27.0	23.0	18.9	20.3	1.8
	男性	404	31.4	41.3	13.9	6.2	6.7	0.5	11.9	28.0	26.0	22.8	10.6	0.7
年齢別	18～19 歳	17	52.9	41.2	5.9	0.0	0.0	0.0	35.3	23.5	23.5	11.8	5.9	0.0
	20 歳代	95	32.6	46.3	12.6	2.1	6.3	0.0	7.4	34.7	29.5	13.7	14.7	0.0
	30 歳代	126	31.0	38.9	10.3	7.9	11.1	0.8	13.5	23.8	32.5	14.3	14.3	1.6
	40 歳代	168	26.8	42.9	11.3	6.5	11.3	1.2	10.1	23.8	25.6	20.8	19.0	0.6
	50 歳代	160	26.3	43.8	11.9	6.3	10.6	1.3	6.3	25.6	23.8	22.5	20.6	1.3
	60 歳代	148	35.1	38.5	14.2	2.7	8.8	0.7	9.5	24.3	23.6	25.7	15.5	1.4
	70 歳以上	259	38.2	38.6	9.7	4.2	7.7	1.5	10.8	30.9	18.5	22.4	14.7	2.7

問3 あなたは、以下の人権問題の内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。(A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○)

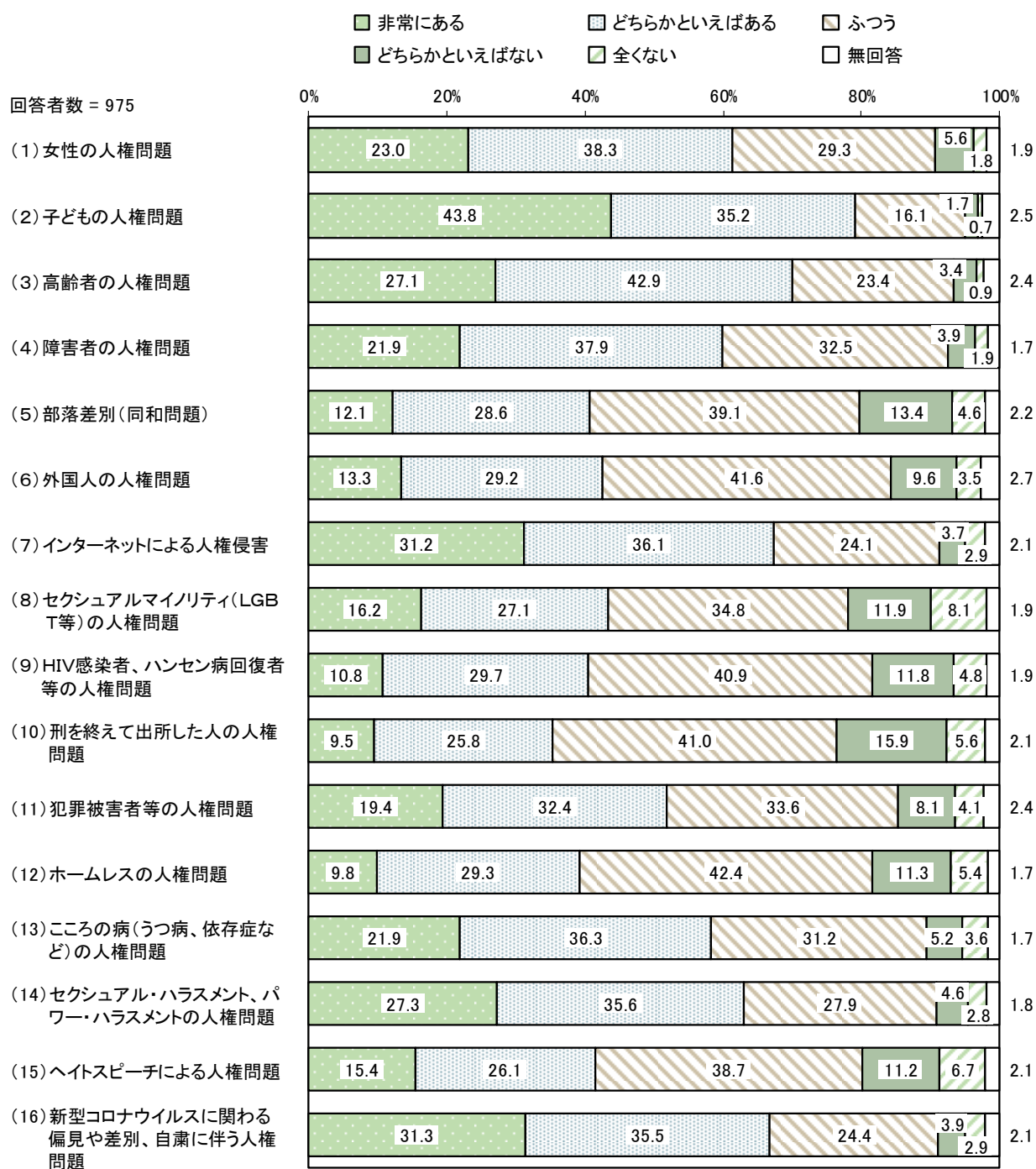
A. 認知度

「内容まで知っている」の割合は、『(2)子どもの人権問題』で60.8%と最も高く、次いで『(7)インターネットによる人権侵害』で51.6%となっています。



B. 関心度

「非常にある」と「どちらかといえばある」を合わせた“ある”の割合は、『(2) 子どもの人権問題』で79.0%と最も高く、次いで『(3) 高齢者の人権問題』で70.0%となっています。



【ポートフォリオによる分析】

（１）人権問題の認知度と関心度の得点化

16 項目について、「認知度」と「関心度」を選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■認知度・関心度の得点化の手順■

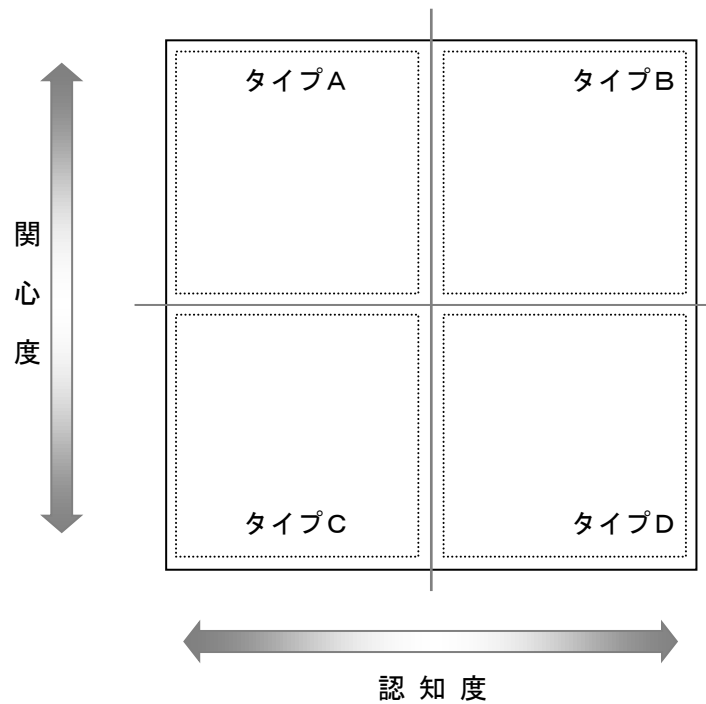
認知度		得点	関心度		得点
内容まで知っている	→	2 点	非常にある	→	2 点
			どちらかといえばある	→	1 点
聞いたことがあるが、内容まで知らない	→	0 点	ふつう	→	0 点
			どちらかといえはない	→	-1 点
知らない	→	-2 点	全くない	→	-2 点
無回答	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「内容まで知っている（非常にある）」の回答数
 +1点×「（どちらかといえばある）」の回答数
 +0点×「聞いたことがあるが、内容まで知らない（ふつう）」の回答数
 -1点×「（どちらかといえはない）」の回答数
 -2点×「知らない（全くない）」の回答数／無回答を除く回答数

(2) ポートフォリオ分析による認知度・関心度の評価

各項目の認知度・関心度の得点の関係について、認知度・関心度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し分析しました。



- ◆タイプA 認知度は低いが、関心度は高い
- ◆タイプB 認知度は高く、関心度も高い
- ◆タイプC 認知度は低く、関心度も低い
- ◆タイプD 認知度は高いが、関心度は低い

●人権問題のポートフォリオ分析

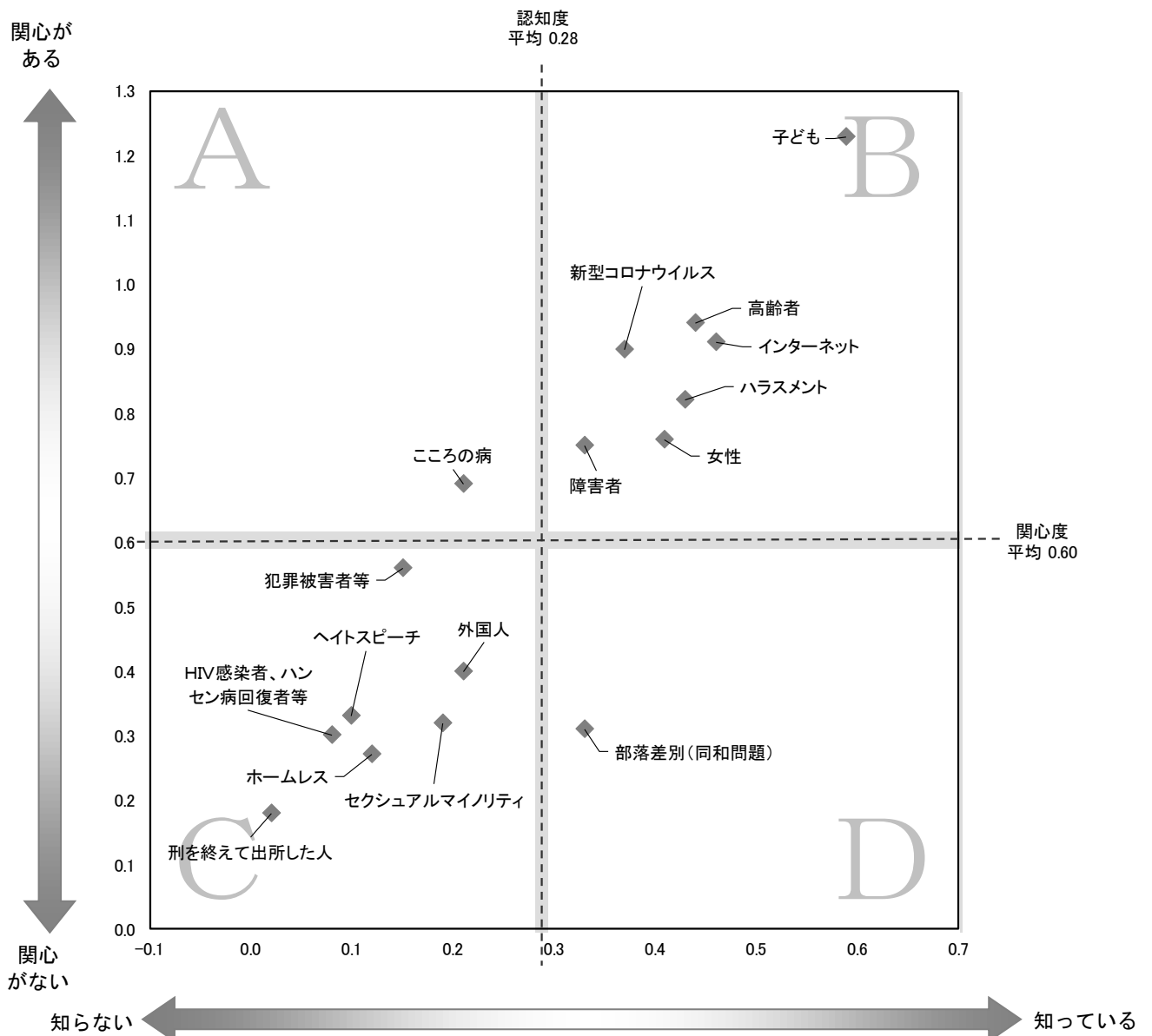
【全 体】

認知度は低い、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『子ども』『高齢者』『障害者』『インターネット』『ハラスメント』『新型コロナウイルス』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』『セクシュアルマイノリティ』『HIV感染者、ハンセン病回復者等』『刑を終えて出所した人』『犯罪被害者等』『ホームレス』『ヘイトスピーチ』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』が該当しています。

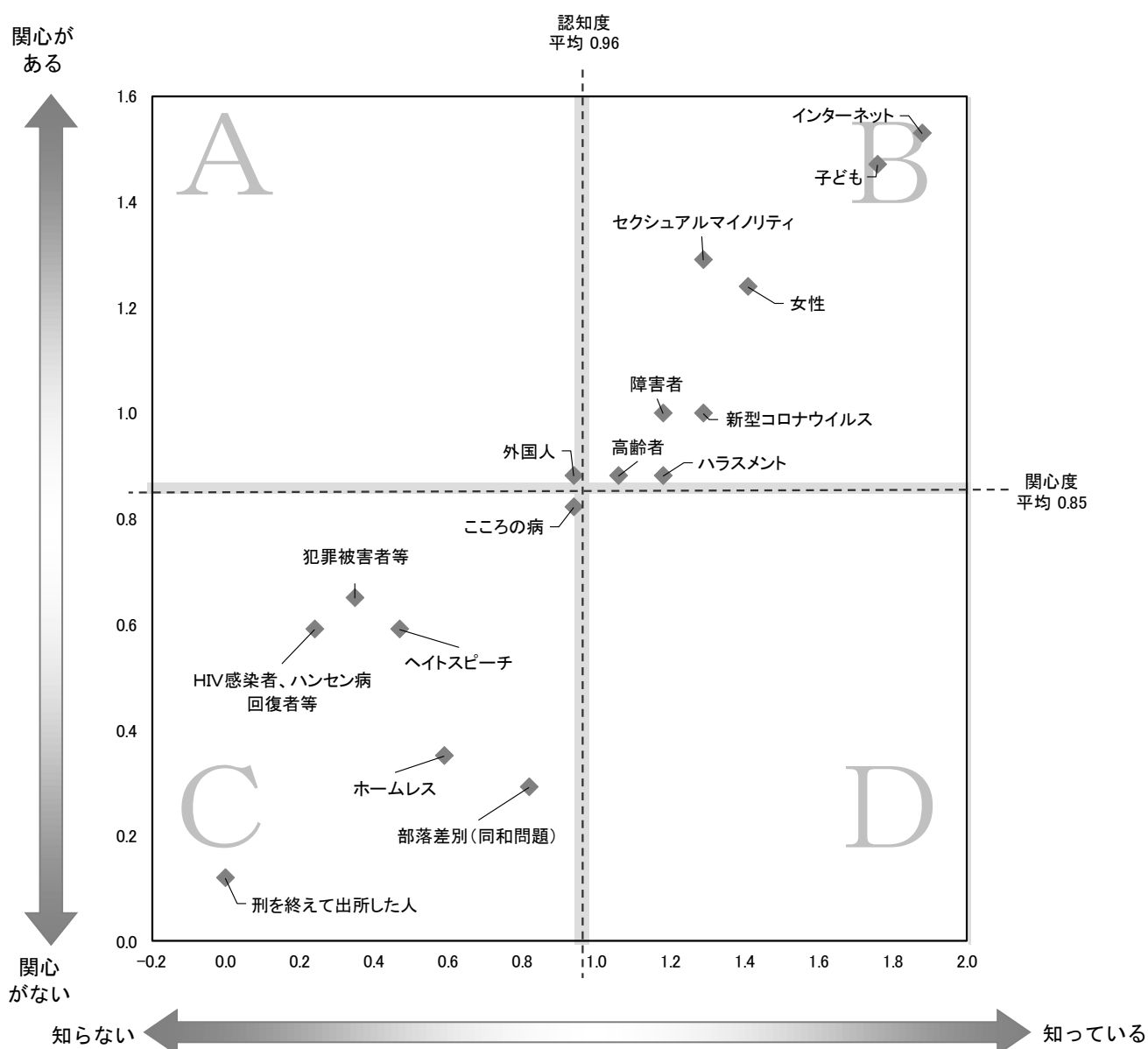


【年代別】

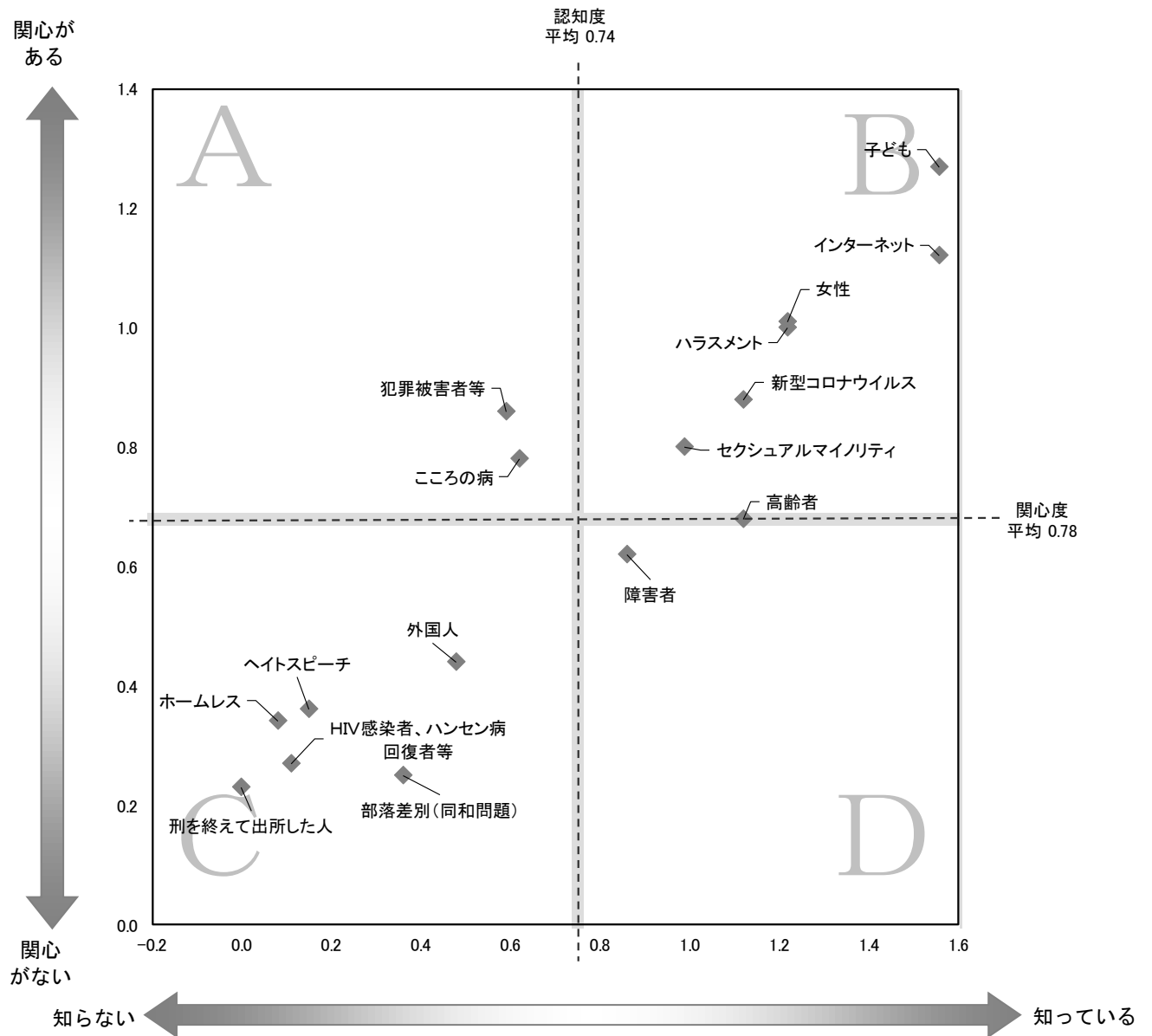
年代別でみると、認知度は低い、関心度は高い「タイプA」は、すべての年代で『女性』『子ども』『高齢者』『インターネット』『新型コロナウイルス』が該当しています。また、20歳代を除くすべての年代で『障害者』がタイプAに該当しています。

また、認知度は低く、関心度も低い「タイプC」は、すべての年代で『セクシュアルマイノリティ』『HIV感染者、ハンセン病回復者等』『刑を終えて出所した人』『犯罪被害者等』『ホームレス』『ヘイトスピーチ』が該当しています。また、30歳代以下で『部落差別（同和問題）』がタイプCに該当しています。

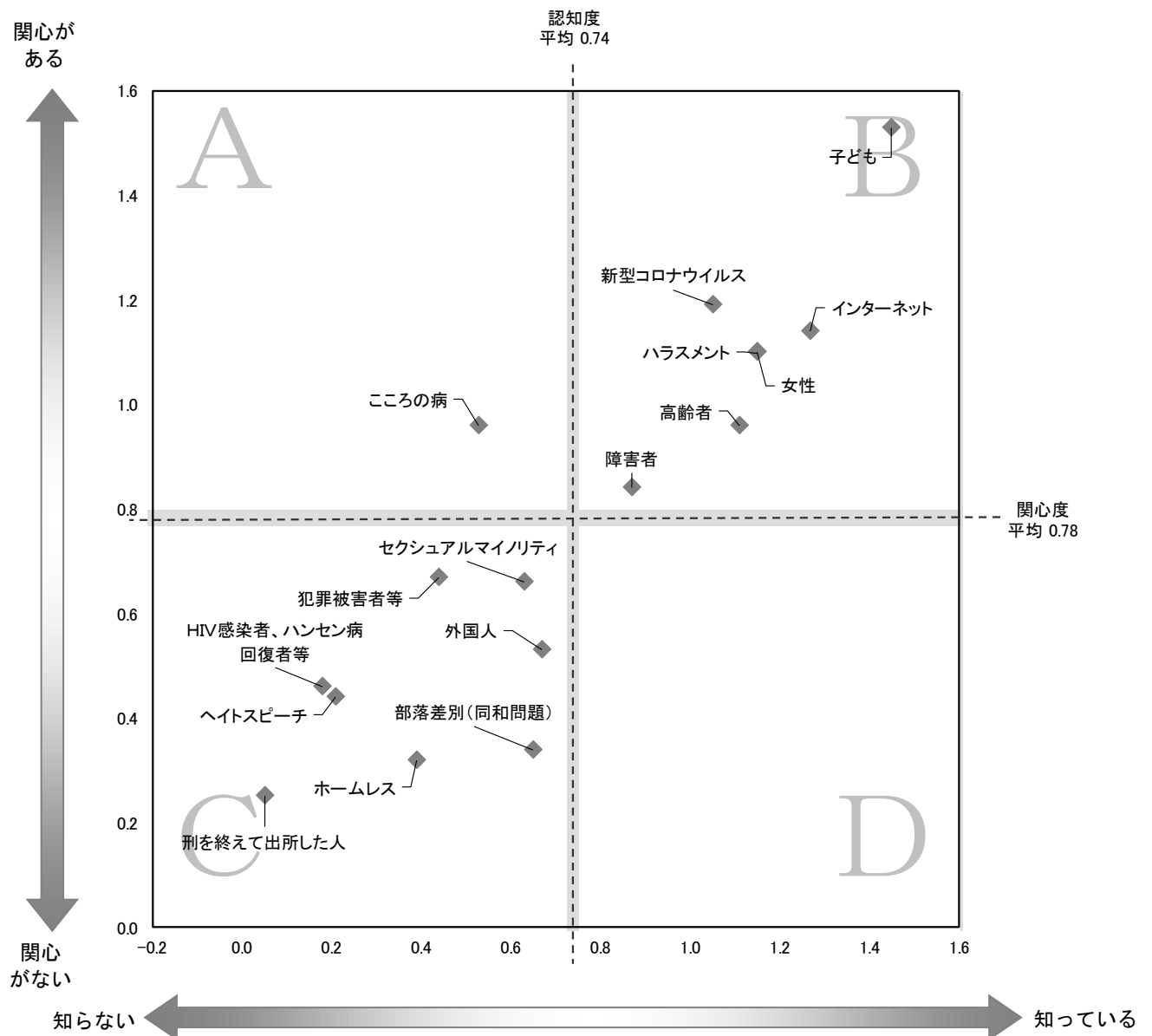
1. 18歳・19歳



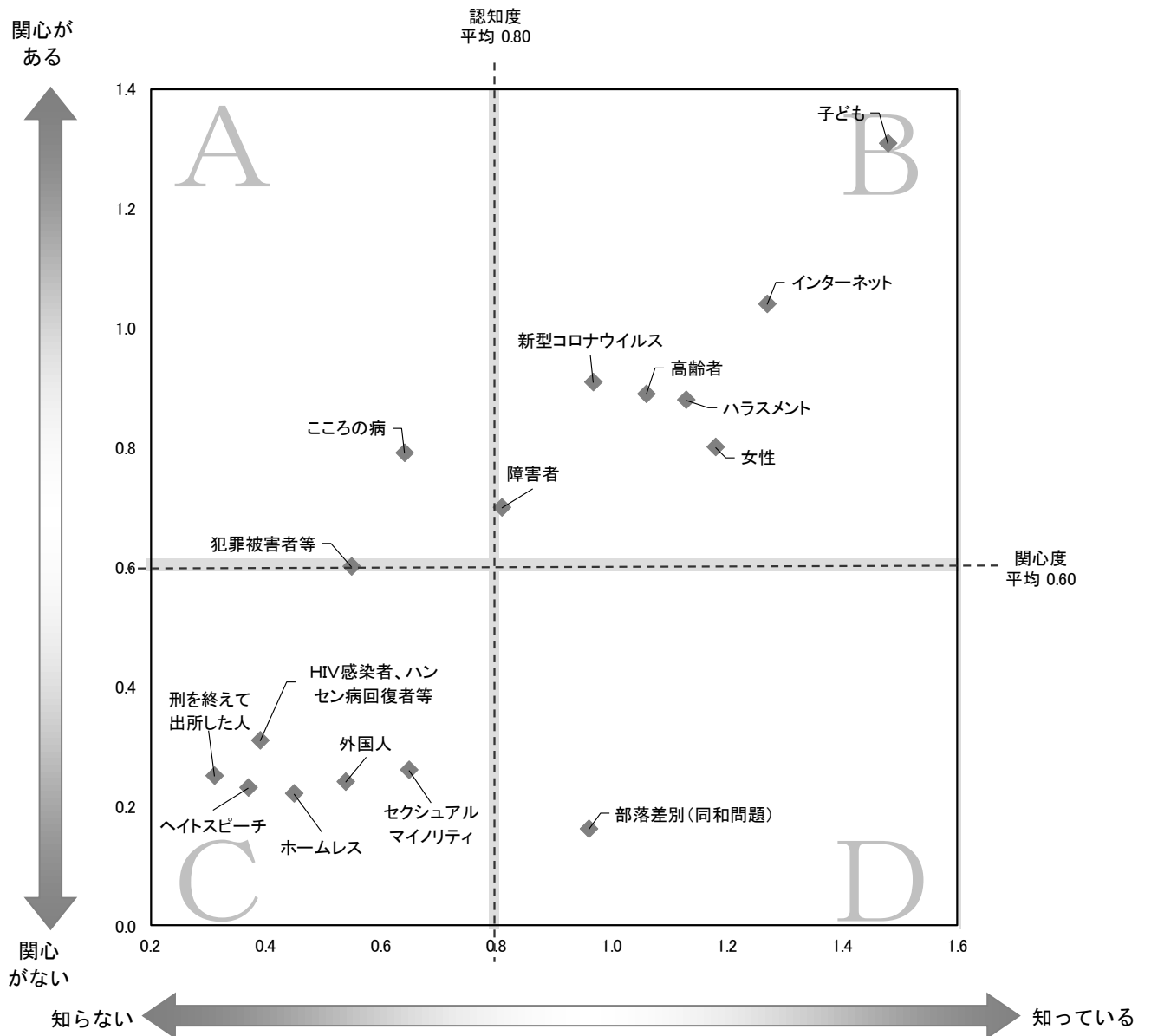
2. 20 歳代



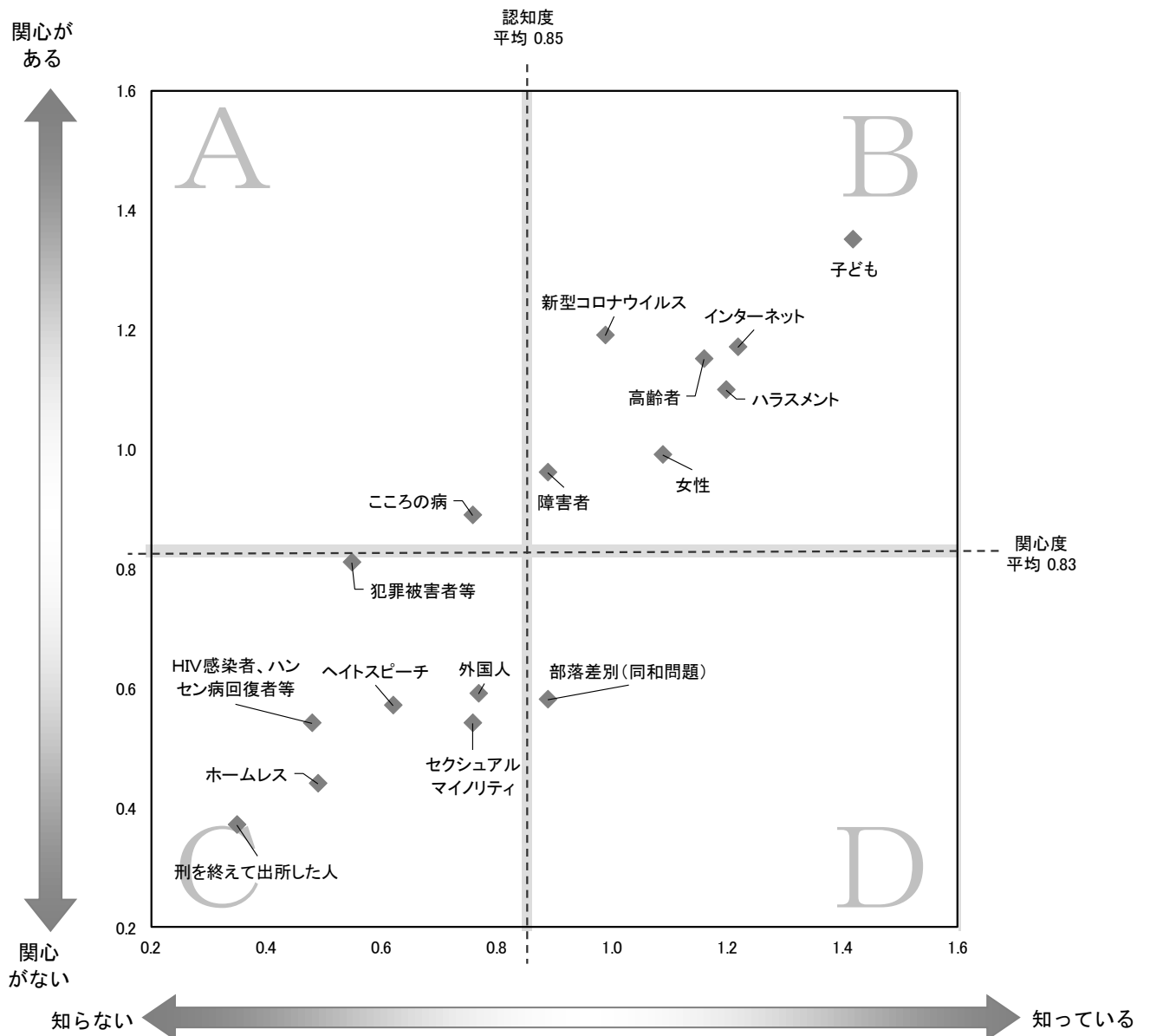
3. 30 歳代



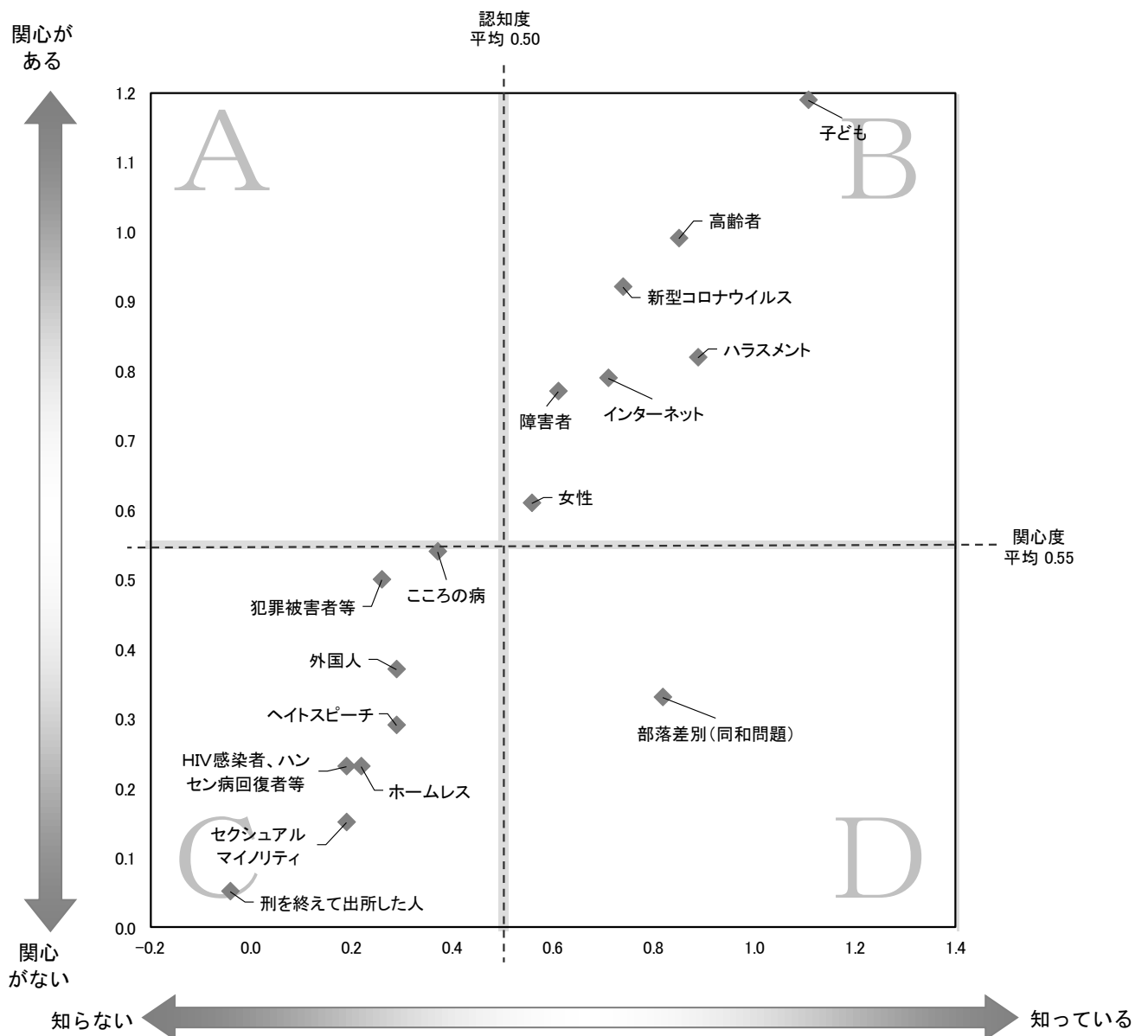
4. 40 歳代



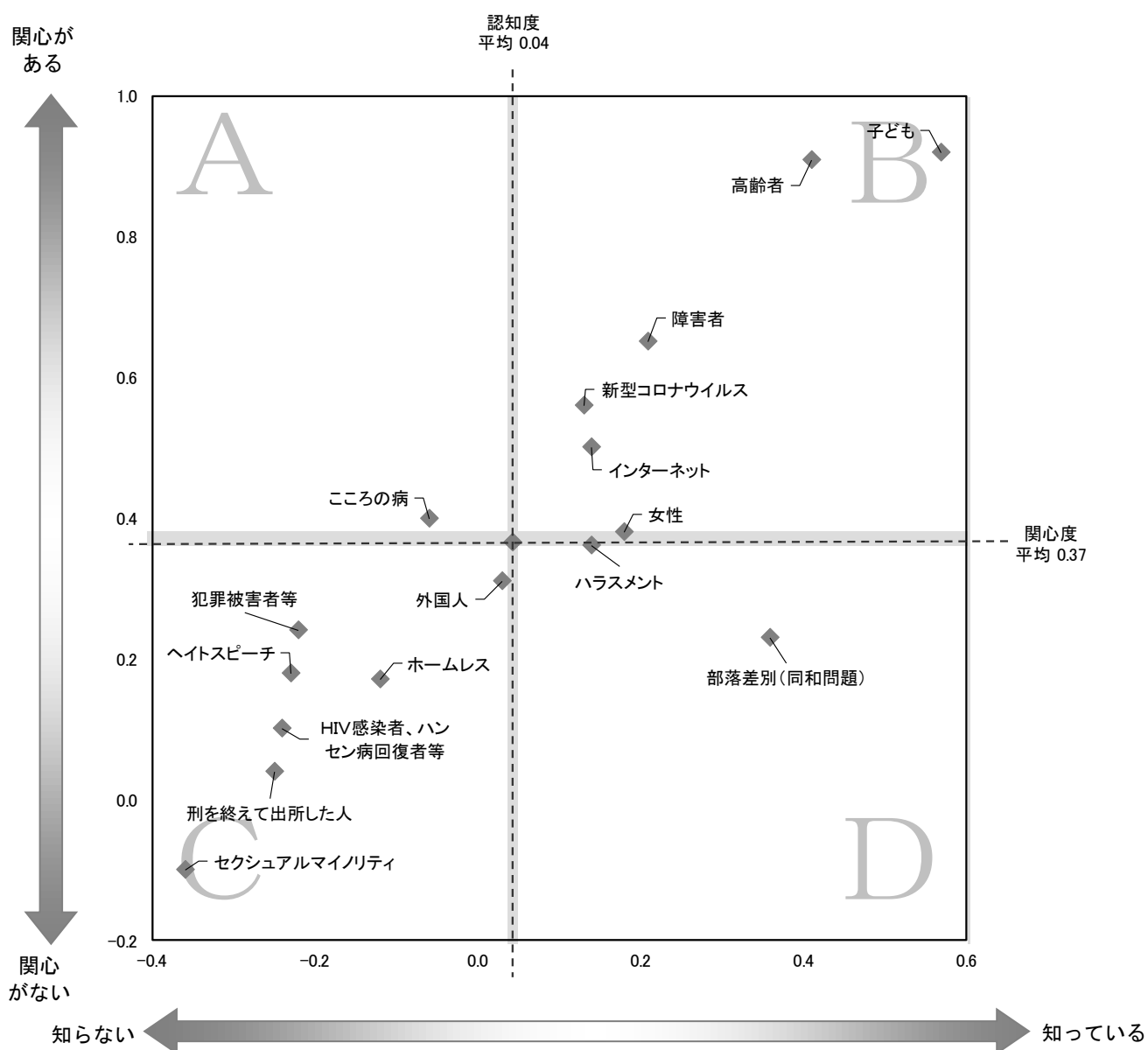
5. 50 歳代



6. 60 歳代



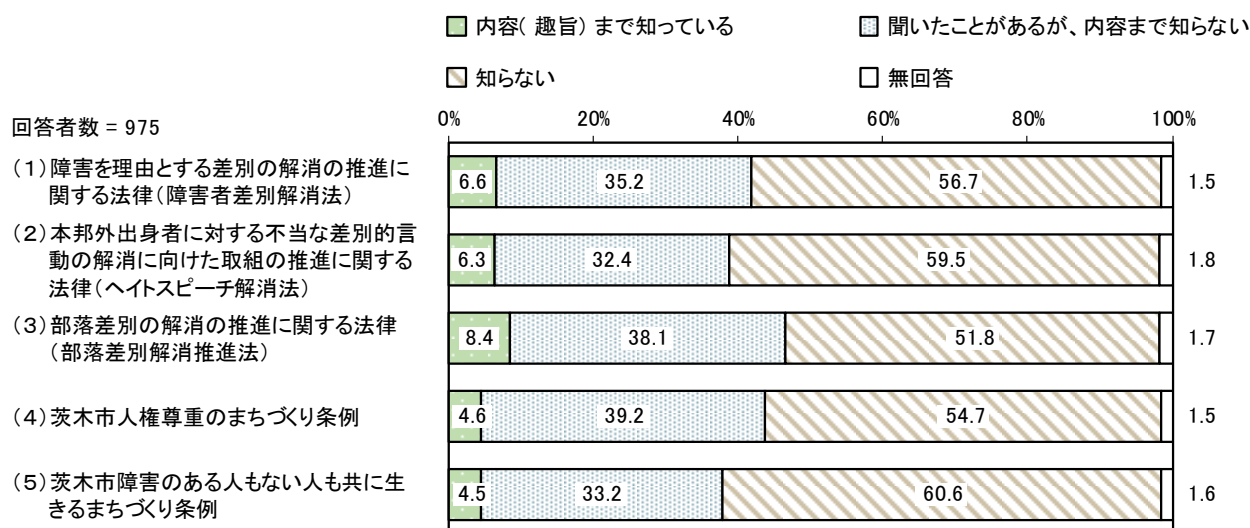
7. 70 歳以上



問4 あなたは、以下の法律や条例、また、人権問題に関する行政の取組や相談窓口を知っていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

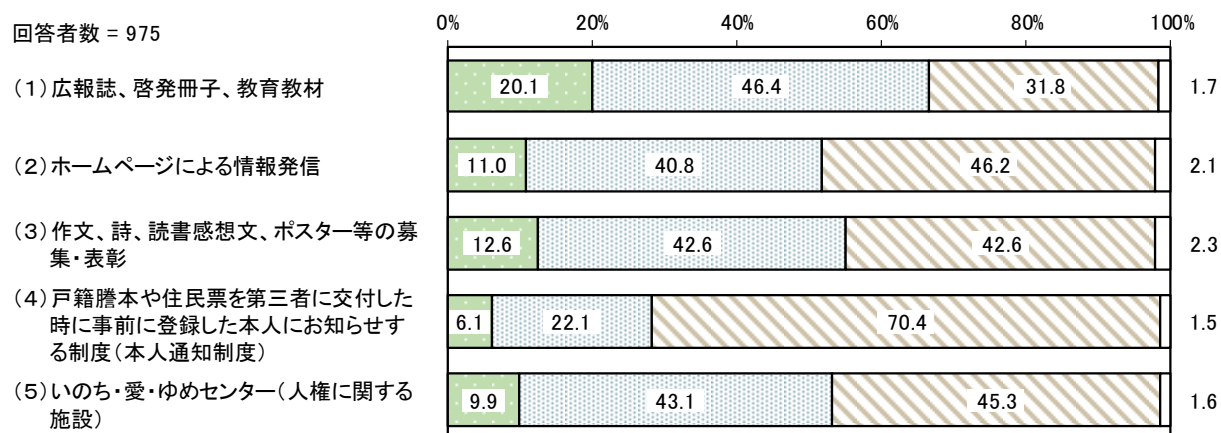
1. 法律・条例

法律・条例の認知度については、いずれの項目も「内容（趣旨）まで知っている」の割合は1割未満となっています。また、「知らない」の割合は、『（5）茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例』で60.6%と最も高く、次いで『（2）本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）』で59.5%となっています。



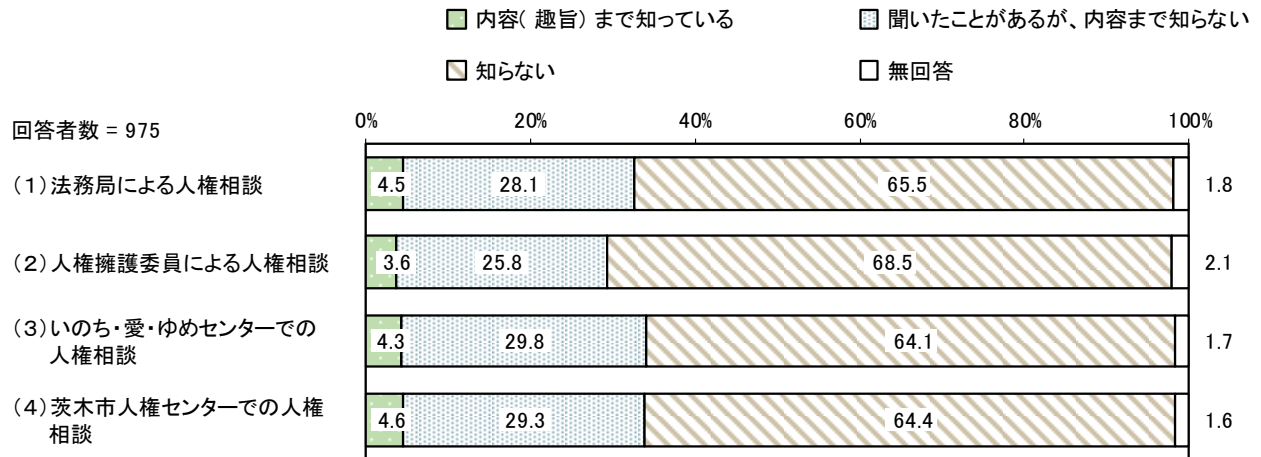
2. 行政の取組

行政の取組の認知度については、「内容（趣旨）まで知っている」の割合は、『（1）広報誌、啓発冊子、教育教材』で20.1%と最も高く、次いで『（3）作文、詩、読書感想文、ポスター等の募集・表彰』で12.6%となっています。また、「知らない」の割合は、『戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度（本人通知制度）』で70.4%と最も高くなっています。



3. 相談窓口

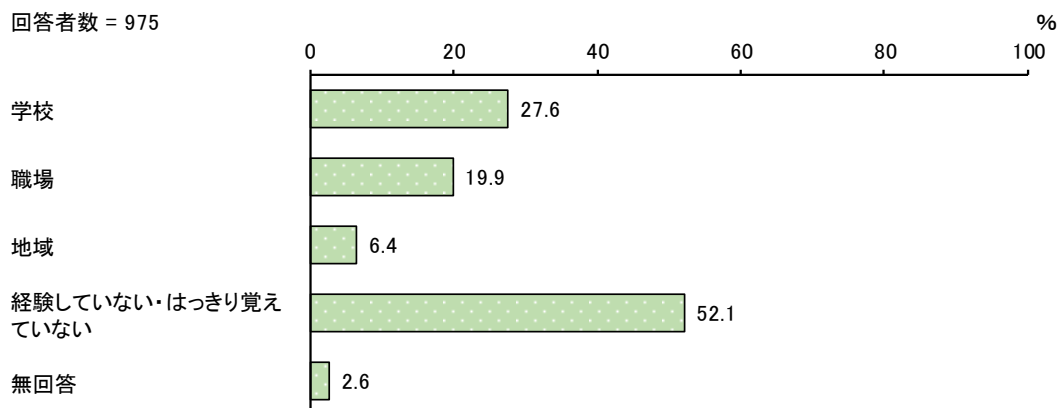
相談窓口の認知度については、いずれの項目も「知らない」の割合が6割を超えて最も高くなっています。



問5 あなたは、以下の人権問題について、これまでに学校、職場及び地域で学習したことはありますか。（それぞれ〇はいくつでも）

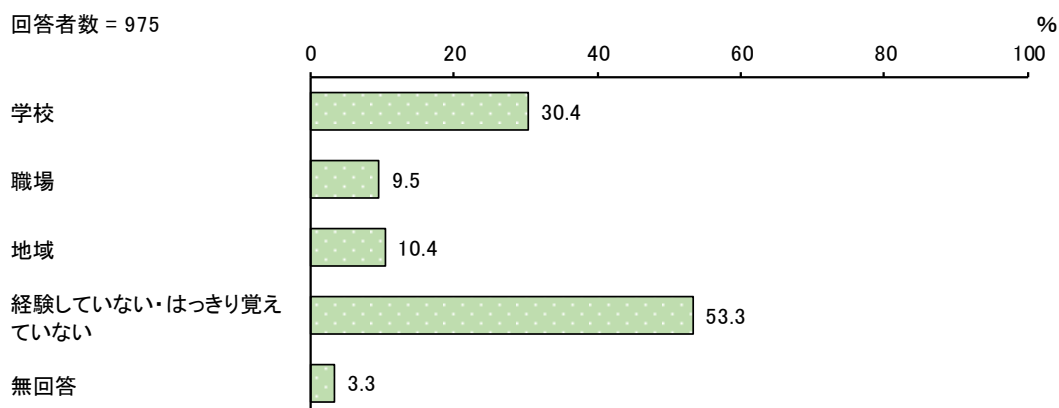
1 女性・男女共同参画

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が52.1%と最も高く、次いで「学校」の割合が27.6%、「職場」の割合が19.9%となっています。



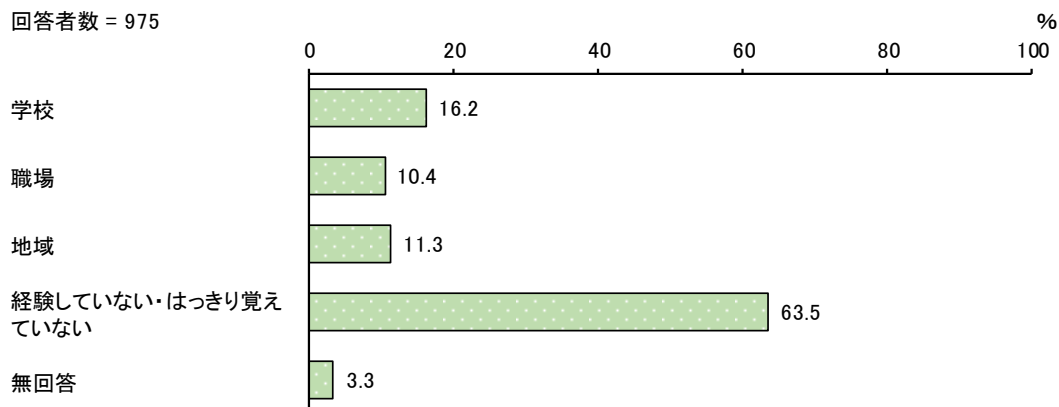
2 子ども

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が53.3%と最も高く、次いで「学校」の割合が30.4%、「地域」の割合が10.4%となっています。



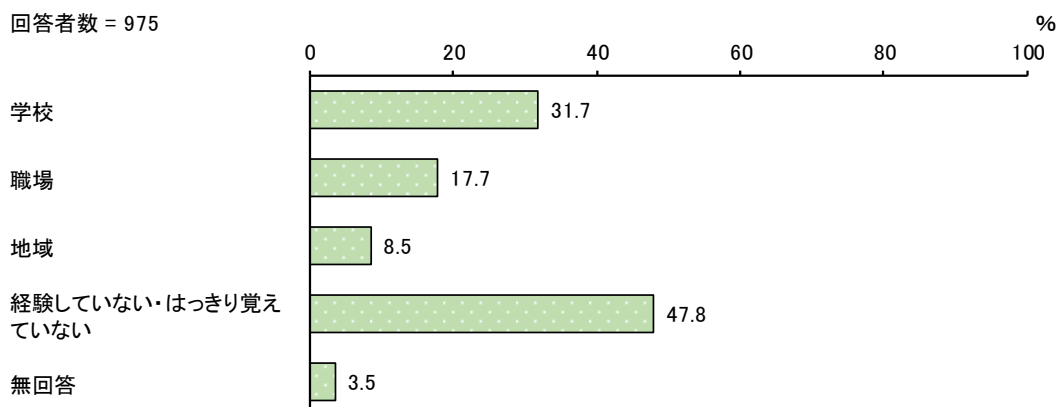
3 高齢者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が63.5%と最も高く、次いで「学校」の割合が16.2%、「地域」の割合が11.3%となっています。



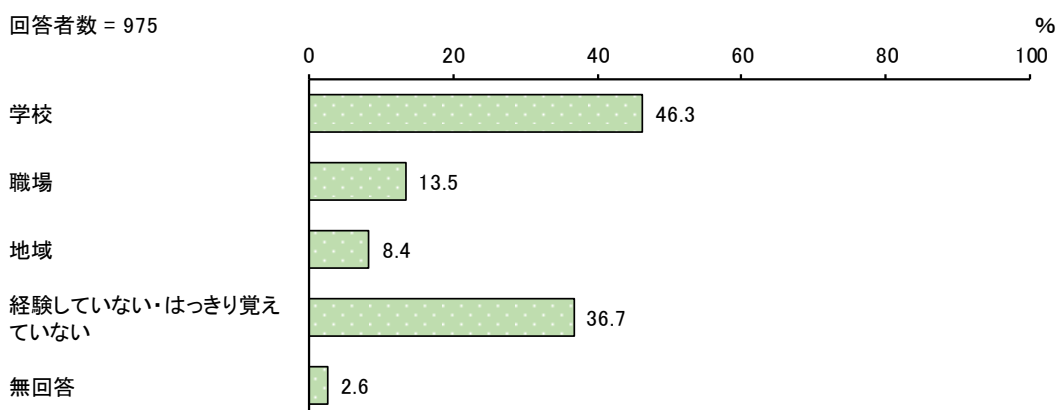
4 障害者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が47.8%と最も高く、次いで「学校」の割合が31.7%、「職場」の割合が17.7%となっています。



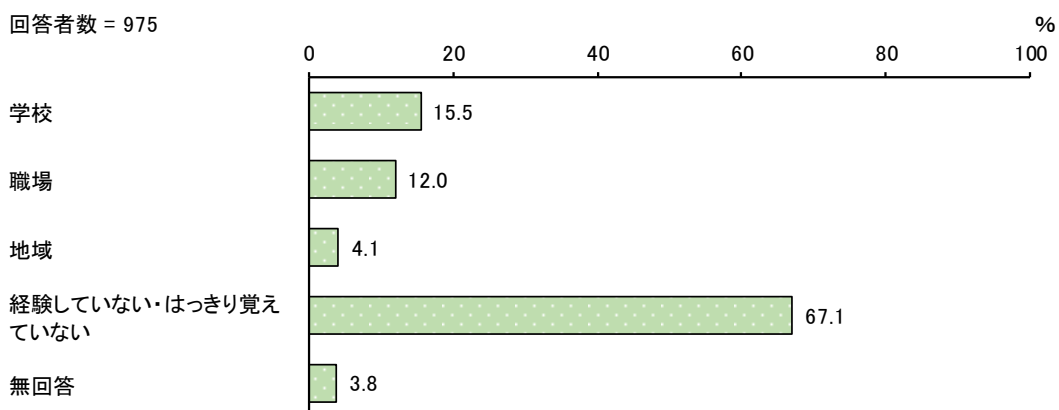
5 部落差別(同和問題)

「学校」の割合が46.3%と最も高く、次いで「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が36.7%、「職場」の割合が13.5%となっています。



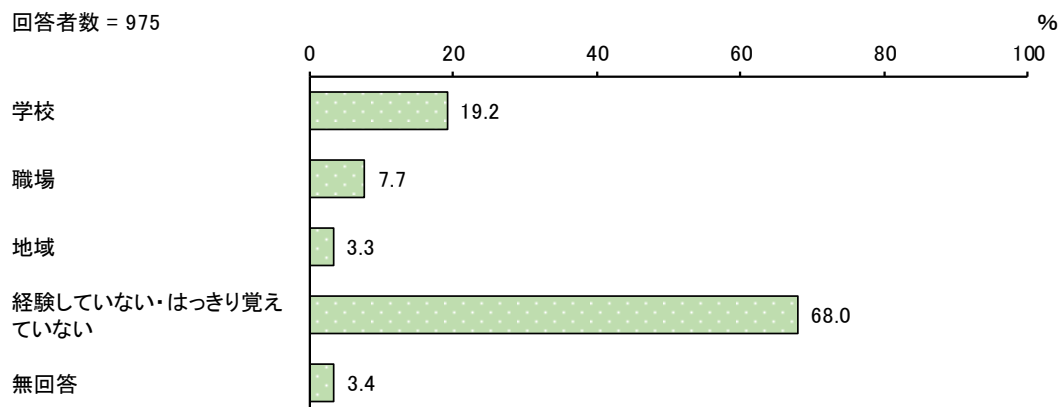
6 外国人

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が67.1%と最も高く、次いで「学校」の割合が15.5%、「職場」の割合が12.0%となっています。



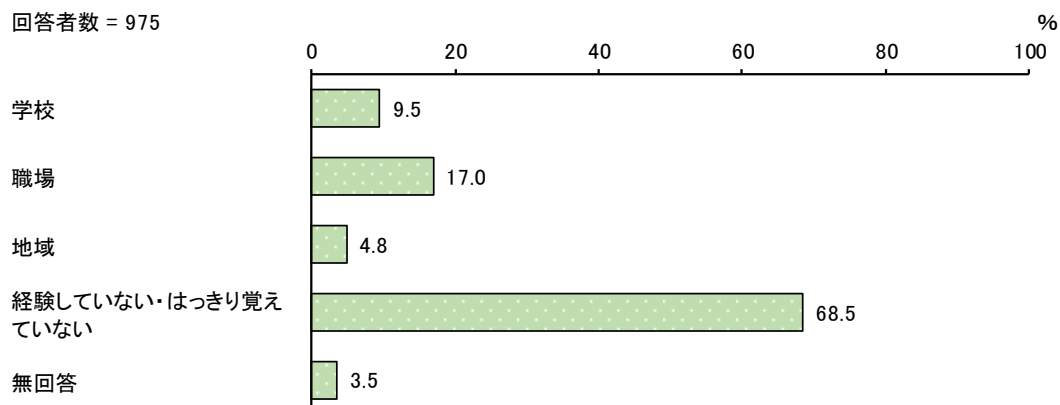
7 HIV感染者・ハンセン病回復者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が68.0%と最も高く、次いで「学校」の割合が19.2%となっています。



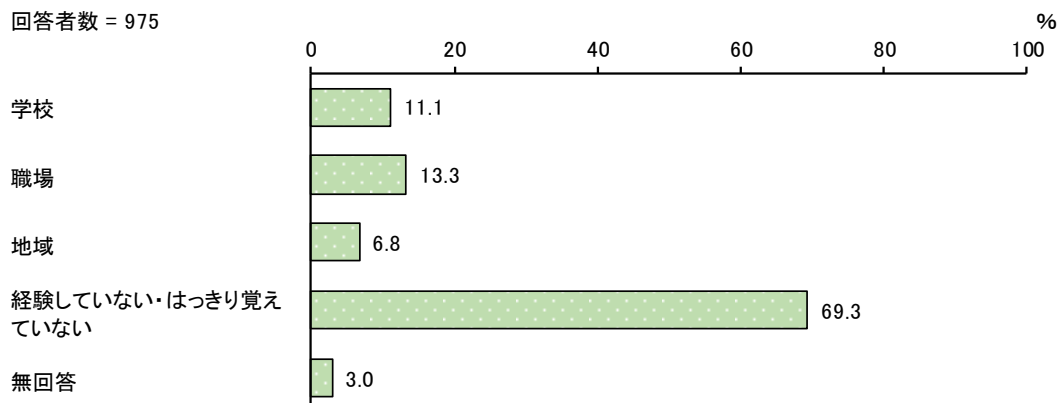
8 セクシュアルマイノリティ(LGBT等)

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が68.5%と最も高く、次いで「職場」の割合が17.0%となっています。



9 インターネットによる人権侵害

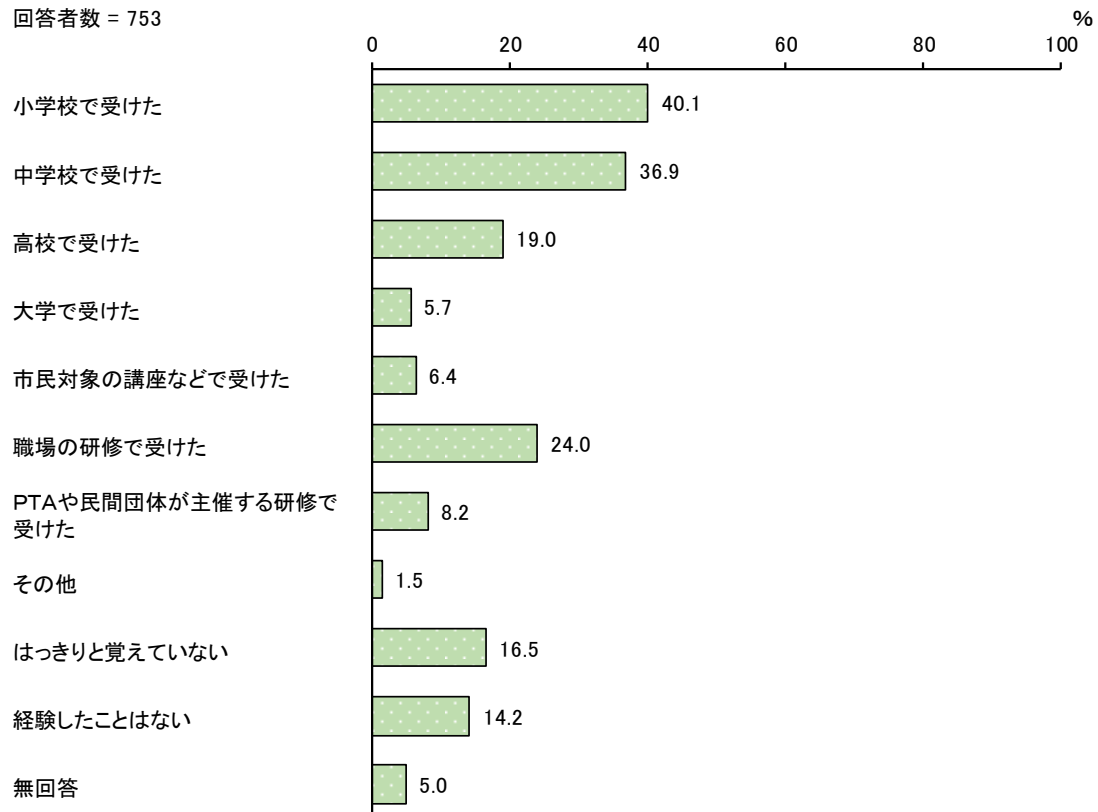
「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が69.3%と最も高く、次いで「職場」の割合が13.3%、「学校」の割合が11.1%となっています。



【参考】平成 26 年度調査

あなたは、学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。

回答者数 = 753



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(1) 女性・男女共同参画』、『(2) 子ども』、『(3) 高齢者』、『(6) 外国人』、『(7) HIV感染者・ハンセン病回復者』では、18～19 歳、20 歳代、30 歳代で「学校」の割合が高くなっています。

『(4) 障害者』では、18～19 歳、20 歳代、30 歳代、40 歳代で「学校」の割合が高くなっています。

『(5) 部落差別（同和問題）』では、18～19 歳、30 歳代、40 歳代、50 歳代で「学校」の割合が高くなっています。

『(8) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）』、『(9) インターネットによる人権侵害』では、18～19 歳、20 歳代で「学校」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 女性・男女共同参画					(2) 子ども				
			学校	職場	地域	いきなり覚えていない・経験していない・は	無回答	学校	職場	地域	いきなり覚えていない・経験していない・は	無回答
全 体		975	27.6	19.9	6.4	52.1	2.6	30.4	9.5	10.4	53.3	3.3
性別	女性	556	27.5	15.6	7.6	54.3	2.2	31.7	9.5	12.8	50.2	3.2
	男性	404	28.2	26.0	4.7	48.5	2.7	29.0	9.7	7.2	57.2	3.0
年齢別	18～19 歳	17	76.5	0.0	0.0	23.5	0.0	82.4	0.0	0.0	17.6	0.0
	20 歳代	95	86.3	12.6	3.2	10.5	1.1	75.8	7.4	3.2	20.0	1.1
	30 歳代	126	57.1	25.4	1.6	31.0	0.0	58.7	16.7	6.3	31.7	2.4
	40 歳代	168	23.8	18.5	6.0	58.3	0.6	27.4	10.7	11.9	54.8	0.6
	50 歳代	160	17.5	28.1	8.1	52.5	1.3	26.3	10.6	18.8	53.1	0.6
	60 歳代	148	10.1	26.4	6.8	59.5	3.4	14.2	14.2	11.5	62.2	3.4
	70 歳以上	259	7.3	13.5	9.3	71.0	5.8	10.4	3.5	8.9	72.6	7.7

単位：％

		回答者数	(３) 高齢者					(４) 障害者				
			学校	職場	地域	いきいき 経験して いない・は 覚えてい ない	無回答	学校	職場	地域	いきいき 経験して いない・は 覚えてい ない	無回答
全 体		975	16.2	10.4	11.3	63.5	3.3	31.7	17.7	8.5	47.8	3.5
性別	女性	556	15.6	10.3	12.1	62.9	3.2	32.7	14.9	8.5	48.6	3.4
	男性	404	16.8	10.1	10.1	64.4	3.0	30.2	21.5	8.7	46.5	3.5
年齢別	18～19 歳	17	58.8	0.0	0.0	41.2	0.0	88.2	0.0	0.0	11.8	0.0
	20 歳代	95	51.6	9.5	4.2	40.0	2.1	68.4	17.9	7.4	20.0	1.1
	30 歳代	126	38.9	14.3	4.8	50.0	1.6	63.5	19.8	4.0	26.2	2.4
	40 歳代	168	13.1	13.7	7.7	68.5	1.8	41.7	20.2	7.1	40.5	1.2
	50 歳代	160	10.0	12.5	11.9	69.4	0.6	28.8	21.9	6.9	51.9	1.3
	60 歳代	148	4.7	12.8	15.5	65.5	4.1	12.2	24.3	8.1	54.7	5.4
	70 歳以上	259	1.9	4.2	17.4	72.6	6.6	5.4	9.7	13.9	69.5	6.6

		回答者数	(５) 部落差別（同和問題）					(６) 外国人				
			学校	職場	地域	いきいき 経験して いない・は 覚えてい ない	無回答	学校	職場	地域	いきいき 経験して いない・は 覚えてい ない	無回答
全 体		975	46.3	13.5	8.4	36.7	2.6	15.5	12.0	4.1	67.1	3.8
性別	女性	556	47.1	10.8	8.5	37.2	2.3	15.5	7.7	3.8	71.2	3.6
	男性	404	44.6	17.1	8.4	36.4	2.7	15.3	17.8	4.7	61.9	3.7
年齢別	18～19 歳	17	76.5	0.0	0.0	23.5	0.0	58.8	0.0	0.0	41.2	0.0
	20 歳代	95	55.8	7.4	7.4	36.8	1.1	45.3	10.5	4.2	42.1	1.1
	30 歳代	126	61.9	12.7	2.4	28.6	1.6	35.7	15.9	2.4	49.2	1.6
	40 歳代	168	66.7	8.9	4.8	24.4	0.6	11.9	10.7	4.8	73.2	1.2
	50 歳代	160	66.3	14.4	5.6	25.6	0.0	11.3	15.6	6.3	70.0	1.3
	60 歳代	148	37.2	20.9	9.5	35.1	4.1	4.7	16.9	2.7	70.9	5.4
	70 歳以上	259	12.7	15.1	15.8	57.5	5.4	3.1	6.9	4.2	79.2	8.1

単位：％

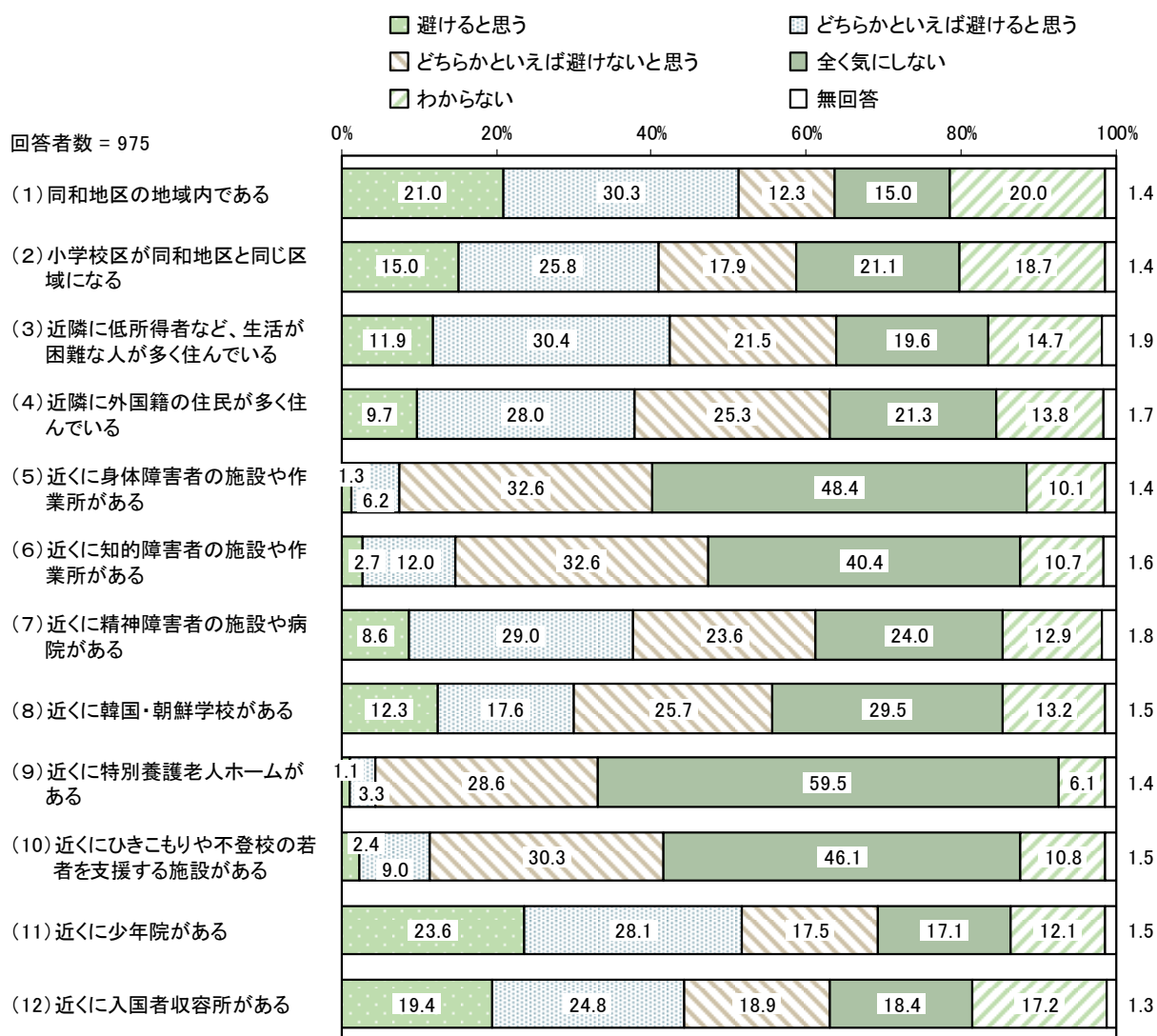
		回答者数	(7) HIV感染者・ハンセン病回復者					(8) セクシュアルマイノリティ (LGBT等)				
			学校	職場	地域	は経験して いきり覚えて いない・は	無回答	学校	職場	地域	は経験して いきり覚えて いない・は	無回答
全 体		975	19.2	7.7	3.3	68.0	3.4	9.5	17.0	4.8	68.5	3.5
性別	女性	556	20.0	7.7	3.8	66.7	3.2	9.0	13.1	6.3	70.9	3.6
	男性	404	18.1	7.4	2.7	70.3	3.2	10.4	22.3	3.0	65.6	3.0
年齢別	18～19 歳	17	47.1	0.0	0.0	52.9	0.0	64.7	0.0	0.0	35.3	0.0
	20 歳代	95	54.7	5.3	0.0	41.1	2.1	49.5	20.0	9.5	33.7	1.1
	30 歳代	126	44.4	7.9	1.6	48.4	0.8	18.3	26.2	4.0	59.5	0.8
	40 歳代	168	22.6	9.5	2.4	67.3	0.6	1.8	20.8	6.0	72.6	0.6
	50 歳代	160	13.1	10.0	4.4	71.3	2.5	5.6	20.0	5.0	70.6	1.9
	60 歳代	148	6.1	11.5	5.4	73.6	4.1	0.0	22.3	3.4	69.6	4.7
	70 歳以上	259	1.2	4.2	4.2	83.8	6.9	0.0	5.4	3.9	83.4	7.7

		回答者数	(9) インターネットによる人権侵害				
			学校	職場	地域	は経験して いきり覚えて いない・は	無回答
全 体		975	11.1	13.3	6.8	69.3	3.0
性別	女性	556	11.0	9.5	7.6	72.1	2.9
	男性	404	11.4	18.3	5.9	65.8	2.7
年齢別	18～19 歳	17	76.5	0.0	0.0	23.5	0.0
	20 歳代	95	57.9	12.6	8.4	29.5	1.1
	30 歳代	126	20.6	23.8	6.3	57.9	0.8
	40 歳代	168	3.0	15.5	10.1	73.8	1.2
	50 歳代	160	4.4	16.9	6.9	74.4	1.3
	60 歳代	148	0.7	16.2	7.4	72.3	4.1
	70 歳以上	259	0.4	4.2	4.2	84.9	6.2

問6 あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に合っても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた“避けると思う”の割合は、『(11) 近くに少年院がある』で51.7%と最も高く、次いで『同和地区の地域内である』で51.3%となっています。

一方、「どちらかといえば避けないと思う」と「全く気にしない」をあわせた“避けないと思う”の割合は、『(9) 近くに特別養護老人ホームがある』での割合が88.1%と最も高く、次いで『(5) 近くに身体障害者の施設や作業所がある』で81.0%となっています。



【性別・年齢別・暮らし向き別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(1) 同和地区の地域内である』では、“避けると思う”の割合は50歳代、60歳代で60.1%と最も高くなっています。

『(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる』では、「全く気にしない」の割合は、18～19歳で高くなっています。

『(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』では、18～19歳で“避けないと思う”の割合が高くなっています。

『(4) 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる』では、“避けると思う”の割合は、50歳代で49.4%と最も高く、次いで30歳代で45.2%となっています。

『(5) 近くに身体障害者の施設や作業所がある』では、18～19歳で“避けないと思う”の割合が高くなっています。

『(6) 近くに知的障害者の施設や作業所がある』では、“避けないと思う”の割合は18～19歳で94.1%と最も高く、次いで60歳代で80.4%となっています。

『(7) 近くに精神障害者の施設や病院がある』では、“避けると思う”の割合は20歳代で49.5%と最も高く、次いで50歳代で46.3%となっています。

『(8) 近くに韓国・朝鮮学校がある』では、“避けないと思う”の割合は、18～19歳での割合で82.4%と最も高く、次いで20歳代で63.2%となっています。

『(9) 近くに特別養護老人ホームがある』では、“避けないと思う”の割合は、すべての年代で8割以上と高く、中でも18～19歳で100.0%と最も高く、次いで60歳代で91.2%となっています。

『(10) 近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある』では、“避けないと思う”の割合は18～19歳で88.3%と最も高く、次いで60歳代で83.1%となっています。

『(11) 近くに少年院がある』では、“避けると思う”の割合は18～19歳で76.4%と最も高く、次いで30歳代で62.7%となっています。

『(12) 近くに入国者収容所がある』では、“避けると思う”の割合は30歳代で50.8%と最も高く、次いで20歳代で48.4%となっています。

暮らし向き別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

		回答者数	(１) 同和地区の地域内である						(２) 小学校区が同和地区と同じ区域になる					
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体		975	21.0	30.3	12.3	15.0	20.0	1.4	15.0	25.8	17.9	21.1	18.7	1.4
平成 26 年度調査		753	27.4	29.7	11.3	12.4	17.0	2.3	19.0	26.3	16.5	19.4	16.5	2.4
性別	女性	556	21.9	30.0	13.1	12.4	21.4	1.1	15.5	25.9	19.2	18.7	19.6	1.1
	男性	404	20.3	30.7	10.6	18.8	17.8	1.7	14.9	26.0	16.1	24.8	16.6	1.7
年齢別	18～19 歳	17	0.0	29.4	17.6	17.6	35.3	0.0	0.0	23.5	5.9	41.2	29.4	0.0
	20 歳代	95	11.6	21.1	11.6	18.9	35.8	1.1	9.5	18.9	17.9	20.0	32.6	1.1
	30 歳代	126	14.3	31.7	10.3	17.5	26.2	0.0	12.7	22.2	15.9	22.2	27.0	0.0
	40 歳代	168	27.4	25.6	8.9	18.5	19.6	0.0	17.9	21.4	19.0	24.4	17.3	0.0
	50 歳代	160	28.8	31.3	16.3	8.1	14.4	1.3	21.9	31.3	18.1	15.6	12.5	0.6
	60 歳代	148	29.7	30.4	11.5	15.5	10.8	2.0	20.9	29.1	18.9	20.3	8.8	2.0
	70 歳以上	259	15.1	35.5	13.5	13.9	19.3	2.7	9.7	28.2	18.5	21.6	18.9	3.1
暮らし向き	良い	352	23.9	28.4	13.4	15.6	18.2	0.6	16.5	24.4	20.5	21.0	17.0	0.6
	ふつう	496	20.2	32.1	12.1	13.3	20.6	1.8	14.7	27.6	16.1	20.2	19.8	1.6
	悪い	118	16.9	28.8	10.2	20.3	22.9	0.8	12.7	24.6	18.6	24.6	18.6	0.8

		回答者数	(３) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる						(４) 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる					
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体		975	11.9	30.4	21.5	19.6	14.7	1.9	9.7	28.0	25.3	21.3	13.8	1.7
平成 26 年度調査		753	14.9	31.3	19.4	16.5	14.9	3.1	13.8	24.8	22.8	21.4	14.9	2.3
性別	女性	556	11.5	30.4	23.2	17.4	15.8	1.6	9.5	27.3	26.1	20.7	15.1	1.3
	男性	404	12.9	30.2	19.3	22.8	12.6	2.2	10.4	29.2	24.3	22.8	11.1	2.2
年齢別	18～19 歳	17	0.0	17.6	47.1	29.4	5.9	0.0	0.0	17.6	52.9	29.4	0.0	0.0
	20 歳代	95	14.7	34.7	24.2	12.6	12.6	1.1	5.3	24.2	34.7	25.3	9.5	1.1
	30 歳代	126	15.1	39.7	22.2	11.1	11.1	0.8	11.1	34.1	24.6	19.0	11.1	0.0
	40 歳代	168	16.7	29.2	16.7	22.6	14.3	0.6	9.5	31.0	25.6	19.6	13.1	1.2
	50 歳代	160	16.9	33.1	21.9	15.0	11.9	1.3	18.1	31.3	21.3	16.3	12.5	0.6
	60 歳代	148	10.8	29.7	23.0	21.6	12.2	2.7	12.2	28.4	23.6	27.7	6.1	2.0
	70 歳以上	259	4.6	24.3	20.8	25.5	21.2	3.5	5.0	23.2	23.9	21.2	23.2	3.5
暮らし向き	良い	352	15.9	37.2	21.3	16.2	8.2	1.1	10.8	27.3	27.0	24.4	9.4	1.1
	ふつう	496	9.9	26.6	22.6	20.4	18.5	2.0	9.5	29.6	24.8	18.3	15.9	1.8
	悪い	118	9.3	26.3	18.6	26.3	17.8	1.7	8.5	24.6	22.0	25.4	17.8	1.7

単位：％

		回答者数	(５) 近くに身体障害者の施設や作業所がある						(６) 近くに知的障害者の施設や作業所がある					
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体		975	1.3	6.2	32.6	48.4	10.1	1.4	2.7	12.0	32.6	40.4	10.7	1.6
平成 26 年度調査		753	3.9	6.1	30.4	47.7	9.6	2.4	5.3	12.4	30.1	38.9	10.8	2.5
性別	女性	556	0.9	6.5	33.6	46.4	11.3	1.3	2.2	12.6	33.5	37.6	12.6	1.6
	男性	404	2.0	5.7	31.4	51.7	7.7	1.5	3.5	11.1	31.7	44.6	7.7	1.5
年齢別	18～19 歳	17	0.0	0.0	52.9	41.2	5.9	0.0	0.0	0.0	64.7	29.4	5.9	0.0
	20 歳代	95	1.1	7.4	37.9	44.2	8.4	1.1	4.2	15.8	36.8	33.7	8.4	1.1
	30 歳代	126	3.2	5.6	34.1	48.4	8.7	0.0	5.6	16.7	34.9	30.2	12.7	0.0
	40 歳代	168	0.6	6.0	28.6	54.8	10.1	0.0	3.0	11.9	31.0	42.9	11.3	0.0
	50 歳代	160	1.9	5.6	36.3	49.4	6.3	0.6	3.1	11.9	36.3	38.8	8.8	1.3
	60 歳代	148	0.7	6.8	33.1	52.7	4.7	2.0	0.7	11.5	29.7	50.7	5.4	2.0
	70 歳以上	259	1.2	6.6	29.0	43.6	16.6	3.1	1.5	9.3	28.6	42.5	14.7	3.5
暮らし向き	良い	352	1.1	5.4	34.1	50.9	7.7	0.9	4.0	12.5	33.8	40.1	9.1	0.6
	ふつう	496	1.6	7.1	32.7	45.0	12.1	1.6	2.2	11.5	33.1	38.7	12.3	2.2
	悪い	118	0.8	5.1	29.7	55.1	8.5	0.8	0.8	12.7	28.8	47.5	9.3	0.8

		回答者数	(７) 近くに精神障害者の施設や病院がある						(８) 近くに韓国・朝鮮学校がある					
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体		975	8.6	29.0	23.6	24.0	12.9	1.8	12.3	17.6	25.7	29.5	13.2	1.5
平成 26 年度調査		753	13.9	29.6	21.1	20.2	12.6	2.5	16.7	22.0	20.2	23.8	14.6	2.7
性別	女性	556	8.5	31.8	21.0	21.8	15.1	1.8	12.1	16.4	25.5	30.8	14.0	1.3
	男性	404	9.2	25.0	27.7	26.7	9.7	1.7	13.1	19.6	26.2	28.0	11.4	1.7
年齢別	18～19 歳	17	0.0	35.3	29.4	23.5	11.8	0.0	0.0	11.8	41.2	41.2	5.9	0.0
	20 歳代	95	9.5	40.0	21.1	17.9	10.5	1.1	10.5	16.8	29.5	33.7	8.4	1.1
	30 歳代	126	15.1	27.0	26.2	20.6	11.1	0.0	14.3	17.5	25.4	32.5	10.3	0.0
	40 歳代	168	8.3	32.7	22.0	22.0	14.3	0.6	13.7	16.7	24.4	31.0	14.3	0.0
	50 歳代	160	14.4	31.9	21.3	21.3	10.6	0.6	15.6	17.5	30.0	26.9	9.4	0.6
	60 歳代	148	6.1	33.1	20.9	29.1	8.1	2.7	16.9	20.9	21.6	29.1	8.8	2.7
	70 歳以上	259	3.9	18.9	27.0	28.2	18.1	3.9	7.3	17.4	24.3	27.0	20.8	3.1
暮らし向き	良い	352	10.2	29.0	25.0	23.9	10.5	1.4	14.5	13.9	29.3	32.7	9.1	0.6
	ふつう	496	7.7	29.6	23.6	22.6	14.5	2.0	11.3	19.2	25.0	26.6	15.9	2.0
	悪い	118	8.5	27.1	20.3	29.7	13.6	0.8	11.0	22.0	18.6	33.1	14.4	0.8

単位：％

		回答者数	(9) 近くに特別養護老人ホームがある						(10) 近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある					
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体		975	1.1	3.3	28.6	59.5	6.1	1.4	2.4	9.0	30.3	46.1	10.8	1.5
平成 26 年度調査		753	2.4	3.6	27.5	59.1	5.2	2.3	4.0	13.4	28.4	38.9	13.0	2.3
性別	女性	556	0.7	3.1	29.3	59.4	6.5	1.1	1.8	9.9	30.8	44.8	11.5	1.3
	男性	404	1.7	3.5	27.7	60.6	4.7	1.7	3.2	7.9	29.7	48.3	9.2	1.7
年齢別	18～19 歳	17	0.0	0.0	64.7	35.3	0.0	0.0	0.0	5.9	47.1	41.2	5.9	0.0
	20 歳代	95	2.1	2.1	32.6	55.8	6.3	1.1	1.1	11.6	29.5	50.5	6.3	1.1
	30 歳代	126	2.4	4.8	29.4	59.5	4.0	0.0	4.0	7.9	33.3	49.2	5.6	0.0
	40 歳代	168	0.6	3.6	24.4	63.7	7.7	0.0	3.6	9.5	23.8	50.6	11.9	0.6
	50 歳代	160	1.9	2.5	24.4	65.6	5.0	0.6	3.8	10.0	31.3	44.4	10.0	0.6
	60 歳代	148	0.7	0.7	27.7	63.5	4.7	2.7	1.4	5.4	35.1	48.0	8.1	2.0
	70 歳以上	259	0.4	5.0	30.5	54.1	7.3	2.7	1.2	10.0	29.0	40.5	16.2	3.1
暮らし向き	良い	352	1.1	3.7	28.1	61.9	4.5	0.6	4.0	8.0	30.7	48.9	8.0	0.6
	ふつう	496	1.2	3.4	29.8	56.7	7.1	1.8	1.8	9.5	31.3	42.9	12.7	1.8
	悪い	118	0.8	1.7	24.6	66.1	5.9	0.8	0.0	11.0	24.6	51.7	11.0	1.7

		回答者数	(11) 近くに少年院がある						(12) 近くに入国者収容所がある					
			避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体		975	23.6	28.1	17.5	17.1	12.1	1.5	19.4	24.8	18.9	18.4	17.2	1.3
平成 26 年度調査		753	26.2	30.3	15.8	13.9	11.4	2.4	21.9	29.0	17.4	13.8	15.3	2.7
性別	女性	556	26.1	28.6	17.4	13.7	12.9	1.3	21.4	24.6	17.8	15.3	19.8	1.1
	男性	404	21.0	27.2	17.8	21.8	10.4	1.7	17.3	24.8	20.8	22.3	13.4	1.5
年齢別	18～19 歳	17	23.5	52.9	5.9	5.9	11.8	0.0	11.8	35.3	5.9	17.6	29.4	0.0
	20 歳代	95	28.4	28.4	12.6	21.1	8.4	1.1	14.7	33.7	18.9	16.8	14.7	1.1
	30 歳代	126	30.2	32.5	18.3	7.9	9.5	1.6	26.2	24.6	19.8	11.1	18.3	0.0
	40 歳代	168	31.0	25.0	14.9	17.9	11.3	0.0	26.8	21.4	16.1	19.0	16.7	0.0
	50 歳代	160	28.1	26.3	16.9	17.5	10.6	0.6	26.3	21.9	18.8	18.8	13.8	0.6
	60 歳代	148	23.0	29.7	20.3	16.9	8.1	2.0	20.9	23.0	23.6	20.3	10.1	2.0
	70 歳以上	259	11.6	26.6	20.5	20.5	18.1	2.7	8.5	26.3	18.5	20.8	23.2	2.7
暮らし向き	良い	352	27.8	26.7	16.5	18.5	9.7	0.9	22.4	24.4	17.9	19.0	15.6	0.6
	ふつう	496	22.4	28.2	19.0	15.1	13.7	1.6	18.1	25.4	19.2	16.5	19.2	1.6
	悪い	118	16.9	31.4	15.3	22.0	12.7	1.7	16.1	24.6	20.3	23.7	14.4	0.8

【人権問題の認知度別、関心度別集計】

人権問題の認知度別でみると、『(12) 近くに入国者収容所がある』では、犯罪被害者等の人権問題について内容まで知っている人で「全く気にしない」の割合が高くなっています。

人権問題の関心度別でみると、すべての項目で、それぞれの人権問題について非常に関心がある人で「全く気にしない」の割合が高くなっています。

単位：％

			回答者数	(1) 同和地区の地域内である					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	21.0	30.3	12.3	15.0	20.0	1.4
部落差別 (同和問題)	認知度	内容まで知っている	413	22.0	31.5	15.0	17.9	13.3	0.2
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	456	22.4	31.1	10.5	12.3	21.9	1.8
		知らない	92	12.0	22.8	9.8	15.2	39.1	1.1
	関心度	非常にある	118	20.3	28.8	15.3	26.3	8.5	0.8
		どちらかといえばある	279	18.3	30.8	13.6	15.1	21.1	1.1
		ふつう	381	22.0	34.9	10.5	11.8	19.9	0.8
		どちらかといえはない	131	22.1	22.9	12.2	15.3	25.2	2.3
		全くない	45	26.7	20.0	6.7	17.8	28.9	0.0

			回答者数	(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	15.0	25.8	17.9	21.1	18.7	1.4
部落差別 (同和問題)	認知度	内容まで知っている	413	14.8	23.7	21.8	26.6	13.1	0.0
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	456	16.4	28.9	15.6	16.9	20.2	2.0
		知らない	92	9.8	23.9	12.0	18.5	34.8	1.1
	関心度	非常にある	118	18.6	24.6	17.8	32.2	6.8	0.0
		どちらかといえばある	279	12.5	25.4	20.1	20.4	20.4	1.1
		ふつう	381	14.4	29.1	17.8	19.2	18.4	1.0
		どちらかといえはない	131	16.0	24.4	13.0	21.4	22.9	2.3
		全くない	45	22.2	13.3	15.6	20.0	28.9	0.0

単位：％

			回答者数	(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	11.9	30.4	21.5	19.6	14.7	1.9
ホームレスの人権問題	認知度	内容まで知っている	280	13.2	32.9	22.1	19.6	10.7	1.4
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	509	12.4	30.6	21.0	19.1	15.3	1.6
		知らない	169	8.3	27.2	22.5	21.3	18.9	1.8
	関心度	非常にある	96	7.3	24.0	24.0	33.3	7.3	4.2
		どちらかといえばある	286	9.8	30.1	24.5	19.2	14.7	1.7
		ふつう	413	13.6	31.2	22.3	16.0	16.0	1.0
		どちらかといえはない	110	11.8	39.1	13.6	16.4	17.3	1.8
		全くない	53	18.9	22.6	11.3	34.0	13.2	0.0

			回答者数	(４) 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	9.7	28.0	25.3	21.3	13.8	1.7
外国人の人権問題	認知度	内容まで知っている	314	8.6	28.3	26.1	27.1	9.2	0.6
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	530	10.4	28.9	26.4	18.7	14.3	1.3
		知らない	111	9.9	27.0	19.8	16.2	23.4	3.6
	関心度	非常にある	130	10.0	20.8	21.5	43.1	4.6	0.0
		どちらかといえばある	285	6.0	28.1	30.2	21.8	12.3	1.8
		ふつう	406	10.1	30.5	25.6	14.3	17.7	1.7
		どちらかといえはない	94	17.0	34.0	18.1	18.1	11.7	1.1
		全くない	34	20.6	20.6	17.6	26.5	14.7	0.0

単位：％

			回答者数	(５) 近くに身体障害者の施設や作業所がある					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	1.3	6.2	32.6	48.4	10.1	1.4
障害者の人権問題	認知度	内容まで知っている	385	1.3	6.0	33.2	54.3	5.2	0.0
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	495	1.4	6.7	33.7	45.5	10.7	2.0
		知らない	73	1.4	5.5	24.7	38.4	30.1	0.0
	関心度	非常にある	214	1.9	4.7	26.2	61.7	5.1	0.5
		どちらかといえばある	370	0.3	3.8	36.8	50.0	7.6	1.6
		ふつう	317	1.9	8.8	35.3	37.5	15.5	0.9
		どちらかといえはない	38	5.3	10.5	21.1	55.3	7.9	0.0
		全くない	19	0.0	10.5	10.5	57.9	21.1	0.0

			回答者数	(６) 近くに知的障害者の施設や作業所がある					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	2.7	12.0	32.6	40.4	10.7	1.6
障害者の人権問題	認知度	内容まで知っている	385	3.1	11.4	33.8	45.2	6.2	0.3
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	495	2.4	12.5	33.3	38.2	11.5	2.0
		知らない	73	1.4	15.1	23.3	30.1	28.8	1.4
	関心度	非常にある	214	2.3	9.3	27.6	53.7	6.1	0.9
		どちらかといえばある	370	0.5	9.5	38.6	41.9	7.6	1.9
		ふつう	317	4.4	14.8	32.8	30.9	16.1	0.9
		どちらかといえはない	38	7.9	23.7	18.4	36.8	13.2	0.0
		全くない	19	10.5	21.1	5.3	42.1	21.1	0.0

単位：％

			回答者数	(7) 近くに精神障害者の施設や病院がある					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	8.6	29.0	23.6	24.0	12.9	1.8
障害者の人権問題	認知度	内容まで知っている	385	8.8	29.6	25.2	26.8	9.4	0.3
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	495	8.9	28.5	23.8	22.6	13.7	2.4
		知らない	73	5.5	31.5	17.8	19.2	24.7	1.4
	関心度	非常にある	214	8.9	20.6	25.2	36.0	7.9	1.4
		どちらかといえばある	370	4.6	29.7	26.5	24.6	12.4	2.2
		ふつう	317	12.0	34.4	21.1	16.1	15.5	0.9
		どちらかといえはない	38	13.2	36.8	13.2	21.1	15.8	0.0
		全くない	19	21.1	15.8	10.5	31.6	21.1	0.0

			回答者数	(8) 近くに韓国・朝鮮学校がある					
				避けると 思う	どちらかとい え ば 避けると 思う	どちらかとい え ば 避けない と思う	全く 気に し ない	わ か ら な い	無 回 答
全 体			975	12.3	17.6	25.7	29.5	13.2	1.5
外国人の人権	認知度	内容まで知っている	314	11.8	15.9	26.1	38.5	7.6	0.0
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	530	12.8	18.3	26.8	27.2	13.4	1.5
		知らない	111	11.7	20.7	23.4	16.2	25.2	2.7
	関心度	非常にある	130	13.1	10.0	16.2	53.1	7.7	0.0
		どちらかといえ ばある	285	6.0	17.9	32.3	31.6	10.9	1.4
		ふつう	406	13.8	19.7	25.6	24.1	15.8	1.0
		どちらかといえ ばない	94	18.1	23.4	24.5	18.1	13.8	2.1
		全くない	34	29.4	8.8	17.6	29.4	14.7	0.0

単位：％

			回答者数	(9) 近くに特別養護老人ホームがある					
				避けると 思う	どちらかとい え ば避けると 思う	う ばどちらかとい え ば避けないと思	全 く 気 に し な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体			975	1.1	3.3	28.6	59.5	6.1	1.4
高齢者の人権問題	認知度	内容まで知っている	473	1.1	2.7	25.8	67.4	3.0	0.0
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	433	1.2	3.7	31.9	53.1	8.1	2.1
		知らない	49	2.0	4.1	32.7	42.9	16.3	2.0
	関心度	非常にある	264	1.1	2.3	22.3	70.8	2.7	0.8
		どちらかといえ ばある	418	0.0	2.2	33.3	59.1	4.1	1.4
		ふつう	228	1.8	5.7	30.7	48.2	12.7	0.9
		どちらかといえ ばない	33	9.1	3.0	18.2	63.6	6.1	0.0
		全くない	9	11.1	11.1	0.0	55.6	22.2	0.0

			回答者数	(10) 近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	2.4	9.0	30.3	46.1	10.8	1.5
こころの病（うつ病、依存症など）の人権問題	認知度	内容まで知っている	329	2.7	8.2	27.7	55.6	5.5	0.3
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	502	2.2	9.4	33.3	41.4	12.2	1.6
		知らない	126	1.6	10.3	27.8	39.7	19.0	1.6
	関心度	非常にある	214	4.7	6.1	25.2	60.7	3.3	0.0
		どちらかといえばある	354	1.4	7.6	33.9	46.6	8.2	2.3
		ふつう	304	2.6	9.2	34.5	34.9	18.8	0.0
		どちらかといえはない	51	0.0	19.6	15.7	47.1	13.7	3.9
		全くない	35	0.0	22.9	11.4	51.4	11.4	2.9

単位：％

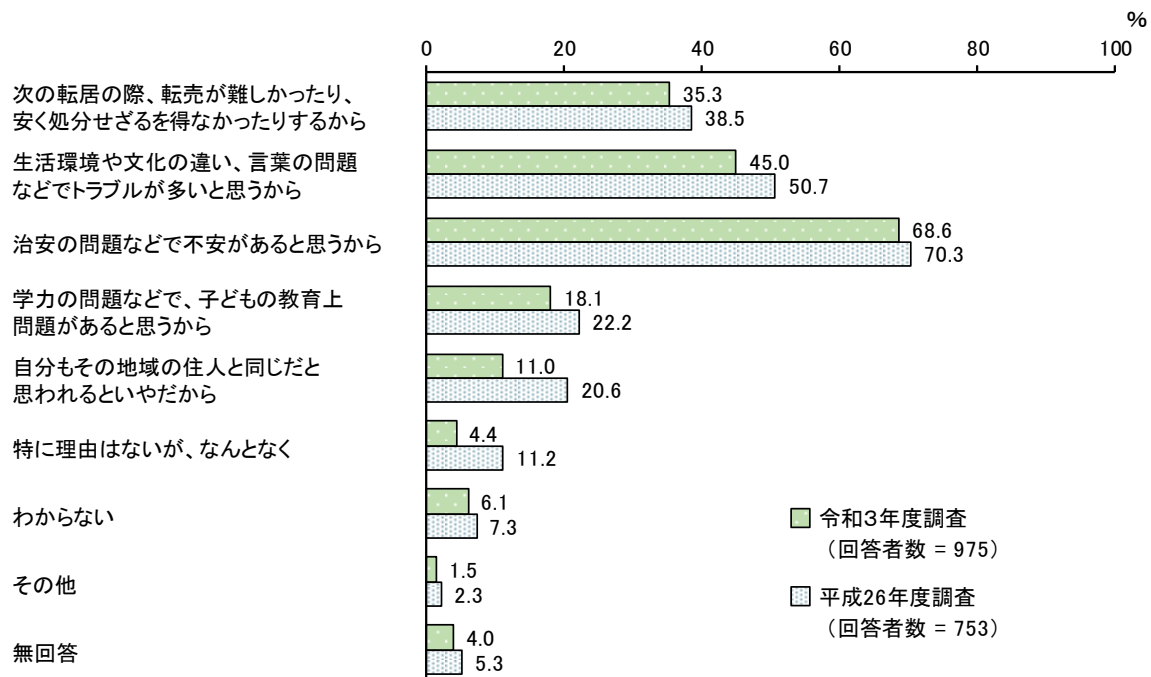
			回答者数	(11) 近くに少年院がある						
				避けると思う	どちらかといえ ば避けると思う	う どちらかといえ ば避けないと思	全く気にしない	わからない	無回答	
全 体			975	23.6	28.1	17.5	17.1	12.1	1.5	
問題	刑を終えて出所した人の人権	認知度	内容まで知っている	230	23.9	20.4	21.7	25.7	7.8	0.4
			聞いたことがあるが、 内容まで知らない	521	22.1	30.5	17.7	15.5	13.1	1.2
			知らない	207	27.1	32.4	13.5	11.6	14.0	1.4
	関心度		非常にある	93	17.2	21.5	17.2	33.3	9.7	1.1
			どちらかといえ ばある	252	18.3	27.4	22.6	20.6	9.9	1.2
			ふつう	400	25.0	29.5	18.5	13.8	12.5	0.8
			どちらかといえ ばない	155	27.7	34.2	9.7	10.3	16.1	1.9
			全くない	55	40.0	16.4	10.9	20.0	12.7	0.0
		犯罪被害者等の人権問題	認知度	内容まで知っている	288	27.4	21.2	18.8	23.6	8.0
	聞いたことがあるが、 内容まで知らない			519	21.8	32.2	18.9	13.7	12.5	1.0
	知らない			149	22.1	29.5	12.1	16.8	18.1	1.3
関心度			非常にある	189	23.3	21.7	19.0	28.0	7.4	0.5
			どちらかといえ ばある	316	24.1	28.5	21.5	14.6	10.1	1.3
			ふつう	328	22.6	34.5	14.9	12.8	14.0	1.2
			どちらかといえ ばない	79	31.6	25.3	8.9	12.7	20.3	1.3
			全くない	40	22.5	12.5	15.0	30.0	20.0	0.0

単位：％

			回答者数	(12) 近くに入国者収容所がある					
				避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全 体			975	19.4	24.8	18.9	18.4	17.2	1.3
問題 刑を終えて出所した人の人権	認知度	内容まで知っている	230	18.3	19.1	22.6	28.3	11.7	0.0
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	521	17.9	25.9	19.8	17.1	18.4	1.0
		知らない	207	24.2	29.5	13.5	11.1	20.3	1.4
	関心度	非常にある	93	14.0	19.4	19.4	35.5	10.8	1.1
		どちらかといえばある	252	13.5	24.6	22.2	22.6	16.3	0.8
		ふつう	400	21.0	26.5	19.0	14.8	18.3	0.5
		どちらかといえはない	155	21.3	27.1	16.8	12.3	20.6	1.9
		全くない	55	40.0	18.2	9.1	16.4	16.4	0.0
犯罪被害者等の人権問題	認知度	内容まで知っている	288	20.1	19.4	20.8	28.5	10.4	0.7
		聞いたことがあるが、内容まで知らない	519	18.3	27.6	19.5	14.1	19.8	0.8
		知らない	149	20.8	26.8	14.8	14.8	21.5	1.3
	関心度	非常にある	189	17.5	20.1	19.6	32.3	10.1	0.5
		どちらかといえばある	316	17.4	25.9	21.8	16.8	17.1	0.9
		ふつう	328	21.0	27.4	18.3	13.4	18.9	0.9
		どちらかといえはない	79	26.6	22.8	11.4	13.9	24.1	1.3
		全くない	40	20.0	22.5	12.5	20.0	25.0	0.0

問7 問6のような場合に住宅の購入や入居を避けることがあるのはなぜだと思いますか。
(〇はいくつでも)

「治安の問題などで不安があると思うから」の割合が68.6%と最も高く、次いで「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」の割合が45.0%、「次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから」の割合が35.3%となっています。



その他意見の要約		件数
偏見がある		9
安全面が心配		6
1つ1つ条件が違うので一概には言えない		5

【暮らし向き別集計】

暮らし向き別でみると、暮らし向きが良い人で「治安の問題などで不安があると思うから」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、子どもの教育上問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるといやだから	特に理由はないが、なんとなく	わからない	その他	無回答
全 体		975	35.3	45.0	68.6	18.1	11.0	4.4	6.1	1.5	4.0
暮らし向き	良い	352	32.1	45.2	74.4	21.0	8.8	4.0	3.4	1.4	2.8
	ふつう	496	36.9	44.2	65.7	17.5	12.9	4.2	7.5	1.6	4.6
	悪い	118	39.0	50.0	63.6	11.9	9.3	6.8	8.5	1.7	4.2

【人権問題の認知度別、関心度別集計】

人権問題の認知度別でみると、インターネットによる人権侵害、犯罪被害者等の人権問題について、ともに知らない人で「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」「治安の問題などで不安があると思うから」の割合が低くなっています。

人権問題の関心度別でみると、インターネットによる人権侵害、犯罪被害者等の人権問題について、ともに全く関心がない人で「特に理由はないが、なんとなく」の割合が高くなっています。

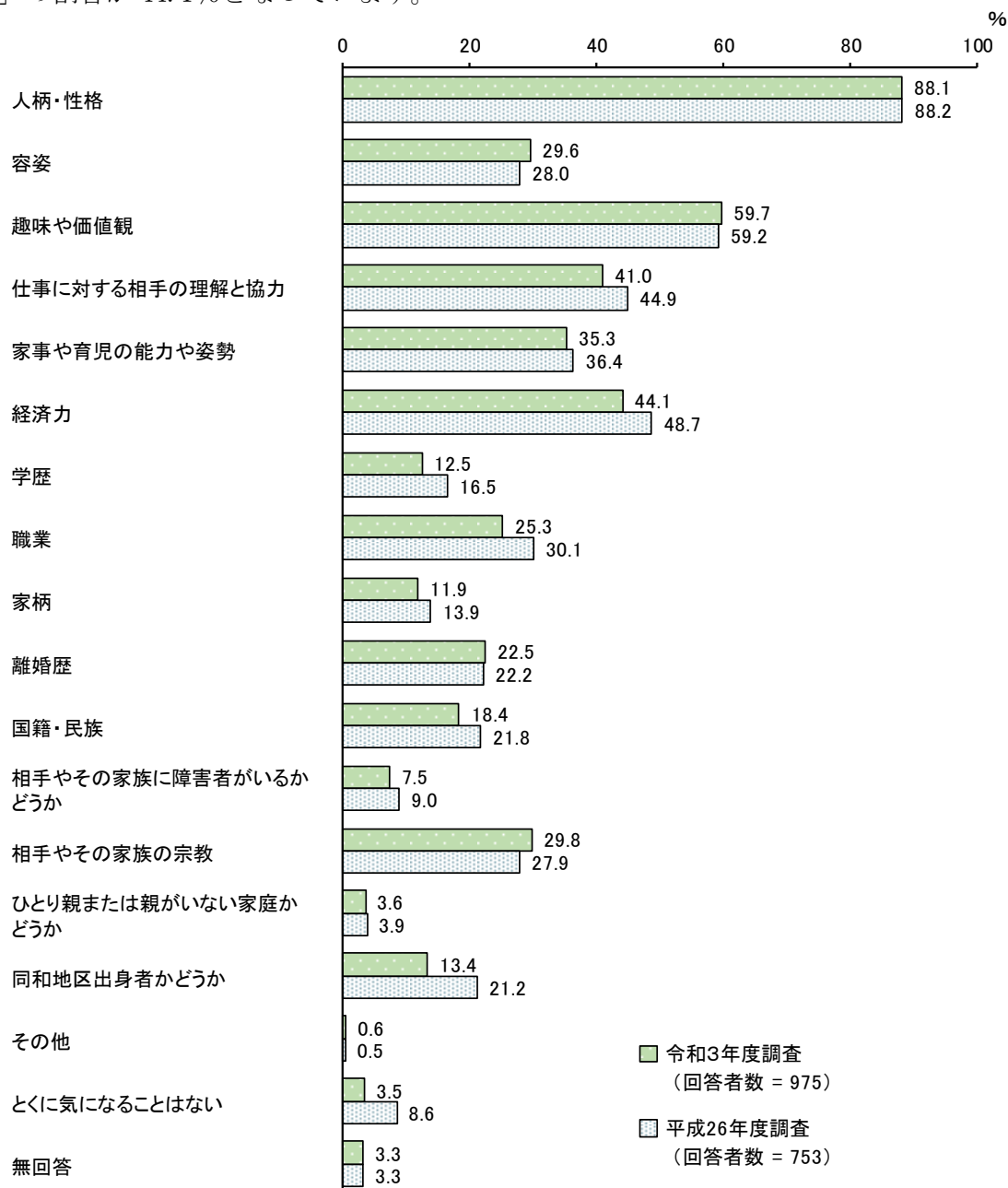
単位：％

			回答者数	問 7 問 6 のような場合に住宅の購入や入居を避けることがあるのはなぜだと思いますか。								
				次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、子どもの教育上問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるといやだから	特に理由はないが、なんとなく	わからない	その他	無回答
全 体			975	35.3	45.0	68.6	18.1	11.0	4.4	6.1	1.5	4.0
インターネットによる 人権侵害	認知度	内容まで知っている	503	34.4	48.7	75.1	18.3	9.7	2.0	5.0	2.8	2.8
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	394	37.1	43.9	66.0	18.5	12.2	6.3	5.3	0.3	2.5
		知らない	62	38.7	29.0	38.7	16.1	16.1	12.9	19.4	0.0	12.9
	関心度	非常にある	304	36.2	48.0	73.0	19.7	10.2	2.0	5.9	2.0	3.6
		どちらかといえばある	352	36.4	48.6	75.3	18.5	9.9	4.3	4.0	1.4	1.4
		ふつう	235	36.2	41.3	63.4	18.3	14.0	6.4	6.4	1.7	3.8
		どちらかといえはない	36	27.8	30.6	47.2	13.9	11.1	2.8	13.9	0.0	5.6
		全くない	28	28.6	28.6	28.6	10.7	10.7	17.9	14.3	0.0	25.0
犯罪被害者等の 人権問題	認知度	内容まで知っている	288	34.4	54.5	77.8	21.9	12.8	1.0	2.4	2.4	2.8
		聞いたことがあるが、 内容まで知らない	519	37.4	44.1	68.6	16.6	9.6	4.6	5.4	1.3	3.3
		知らない	149	32.2	33.6	53.7	17.4	12.8	10.1	14.1	0.7	6.0
	関心度	非常にある	189	36.5	56.1	73.5	18.0	12.7	1.1	3.7	2.6	3.7
		どちらかといえばある	316	38.0	44.3	74.1	19.0	8.9	3.2	4.7	0.9	3.2
		ふつう	328	36.0	41.5	67.1	16.2	11.6	4.9	7.3	1.8	3.0
		どちらかといえはない	79	29.1	44.3	63.3	29.1	12.7	5.1	8.9	1.3	2.5
		全くない	40	22.5	32.5	45.0	15.0	15.0	20.0	12.5	0.0	12.5

問8 あなたが結婚相手を考える際に、気になること（なったこと）はどんなことですか。あなたご自身の場合とお子さんの結婚の場合とに分け、お答えください。
 お子さんがいらっしゃらない方も、いると想定してお答えください。
 （〇はいくつでも）

【回答者自身の場合】

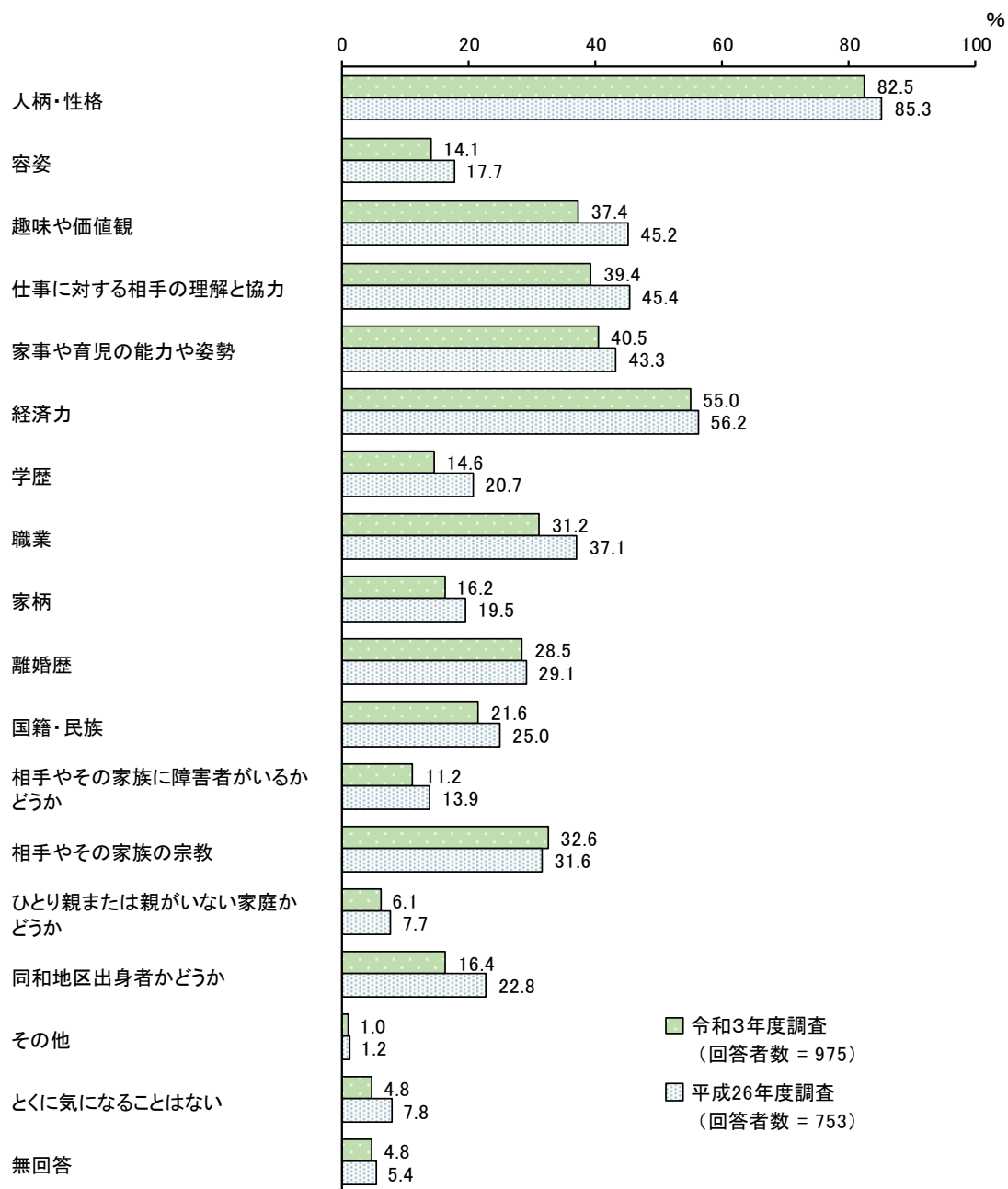
「人柄・性格」の割合が88.1%と最も高く、次いで「趣味や価値観」の割合が59.7%、「経済力」の割合が44.1%となっています。



その他意見の要約	件数
本人の意思	2
両親の人柄	1
前科の有無	1
近親者の遺伝性の病気の有無	1
支持政党	1

【あなたのお子さんの場合】

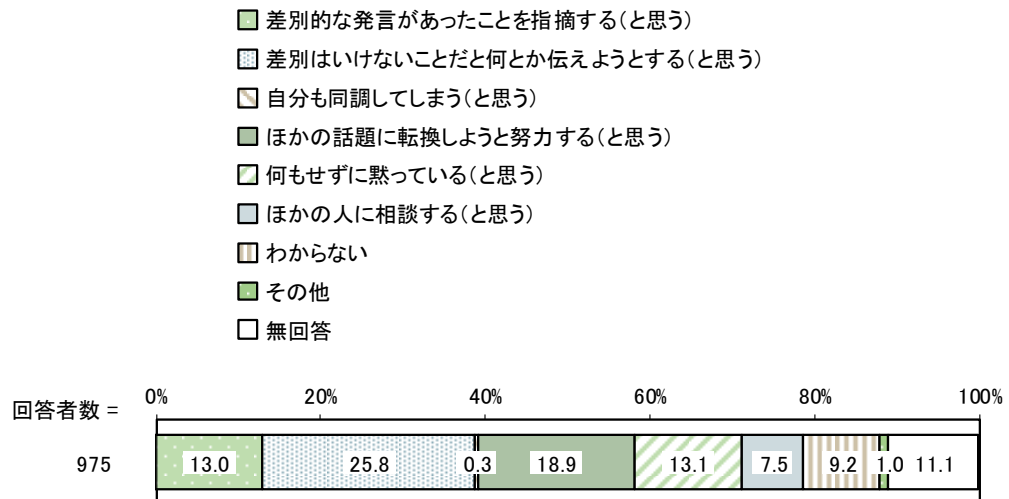
「人柄・性格」の割合が82.5%と最も高く、次いで「経済力」の割合が55.0%、「家事や育児の能力や姿勢」の割合が40.5%となっています。



その他意見の要約	件数
相手親の価値観、人柄、家柄	3
本人の意思	1
前科の有無	1
近親者の遺伝性の病気の有無	1
変なうわさの有無	1

問9 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

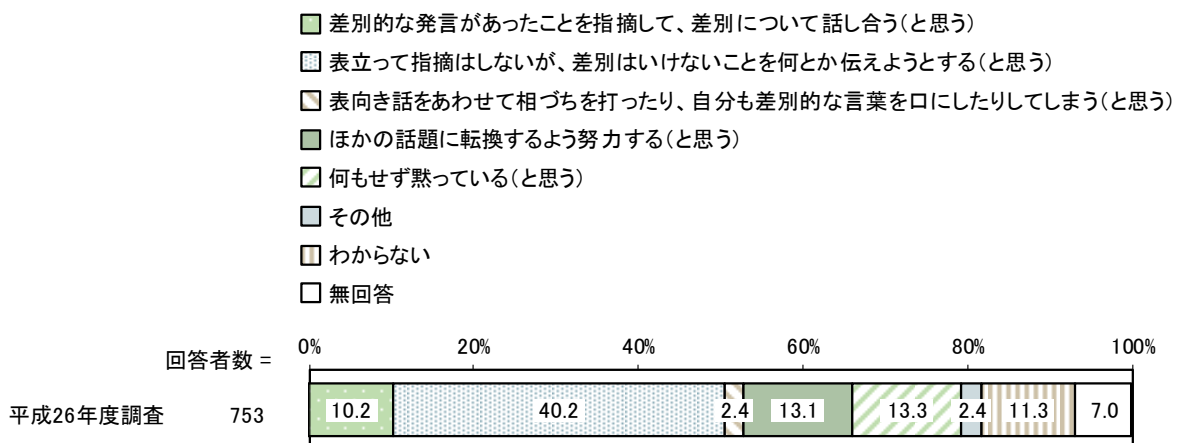
「差別はいけないことだと何とか伝えようとする(と思う)」の割合が25.8%と最も高く、次いで「ほかの話題に転換しようとする(と思う)」の割合が18.9%、「何もせずに黙っている(と思う)」の割合が13.1%となっています。



その他意見の要約	件数
社会的地位・立場によって違う	3
自分なりの意見をぶつけて議論する	3
それはどうなのか、くらいは言う	2
差別された人に寄り添う	1
なだめる	1

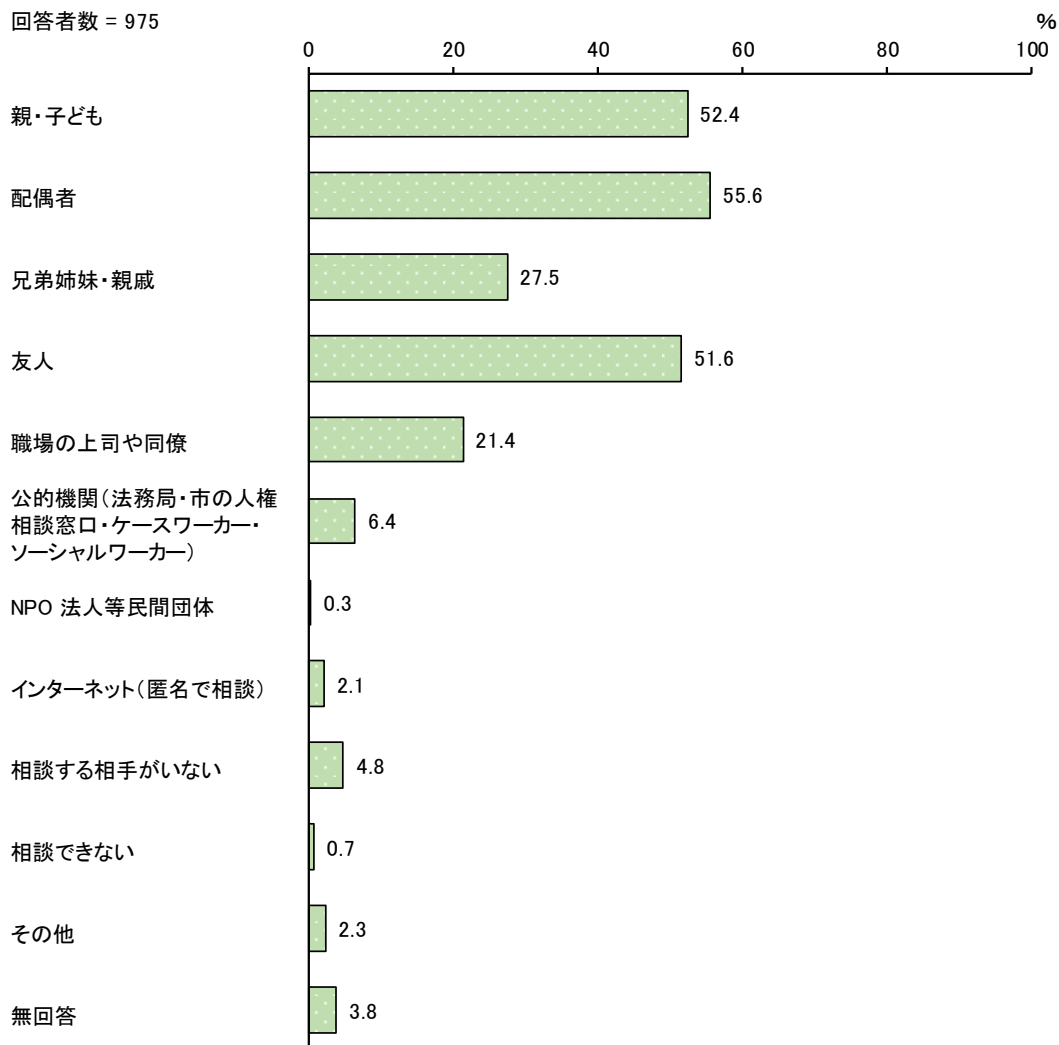
【参考】平成26年度調査

学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。



問 10 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰に相談をしましたか。
(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「親・子ども」の割合が 52.4%、「友人」の割合が 51.6%となっています。



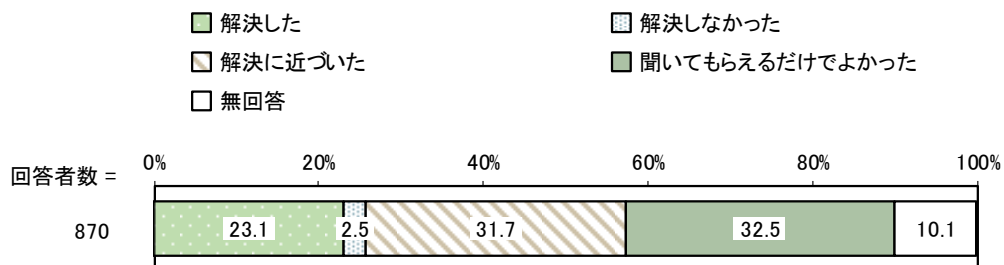
相談できない理由の要約	件数
自分の事だから	6
相手を困らせるから	1
相談するのが苦手だから	1
誹謗中傷する。広める。	1

その他意見の要約	件数
尊敬できる人、師と仰ぐ人	4
弁護士、その問題の専門家	3
市会議員	1
当時者	1
相談するようなことがおきなかった	2

問 10 で相談した方にお聞きします

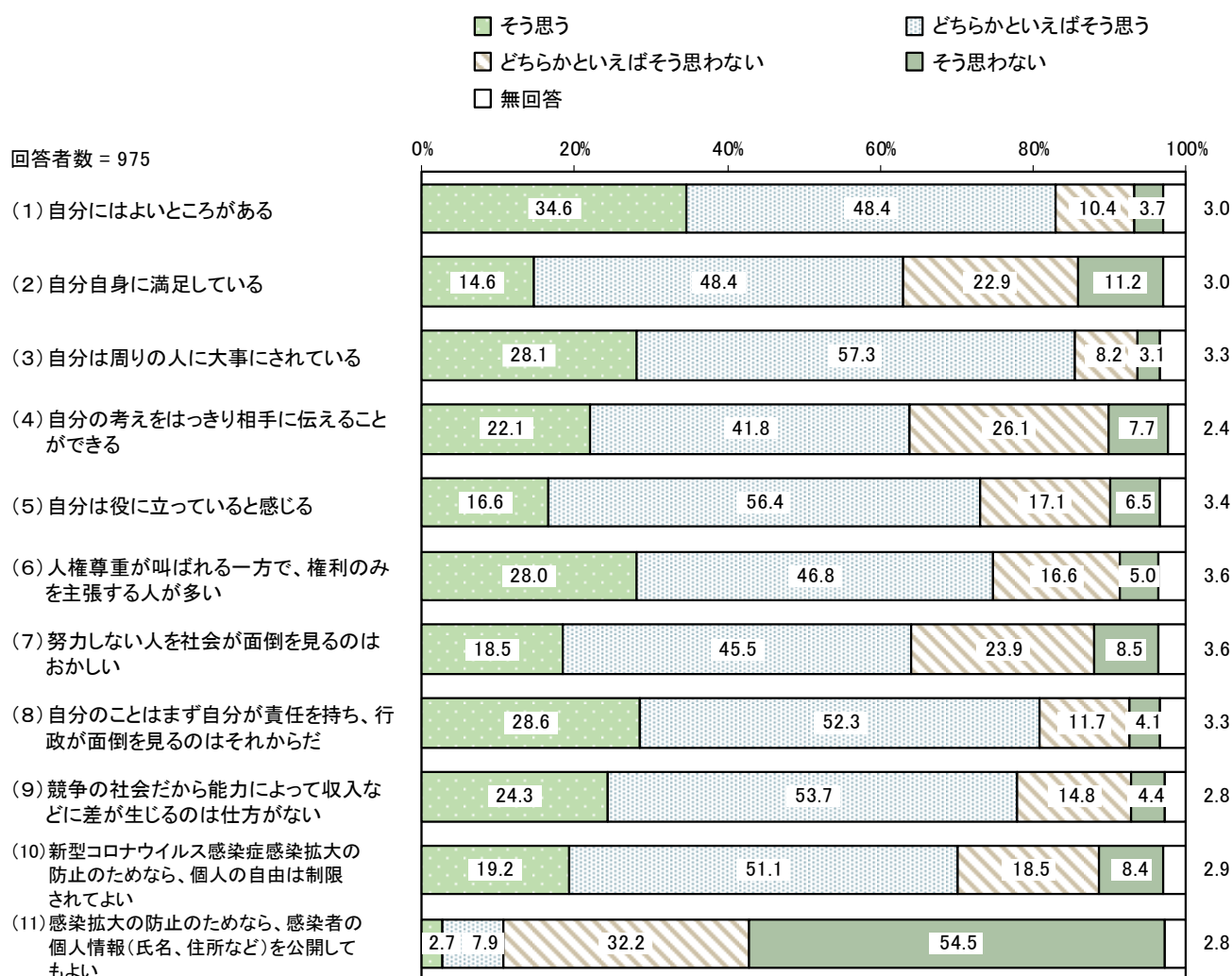
問 10－ 1 選択した相手に相談して、困りごとや悩みは解決しましたか。

「聞いてもらえるだけでよかった」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「解決に近づいた」の割合が 31.7%、「解決した」の割合が 23.1%となっています。



問 11 あなたが、日常生活の中で感じている事についてお答えください
(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

『(3) 自分は周りの人に大事にされている』で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が 85.4%、『(11) 感染拡大の防止のためなら、感染者の個人情報（氏名、住所など）を公開してもよい』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“思わない”の割合が 86.7%、となっています。



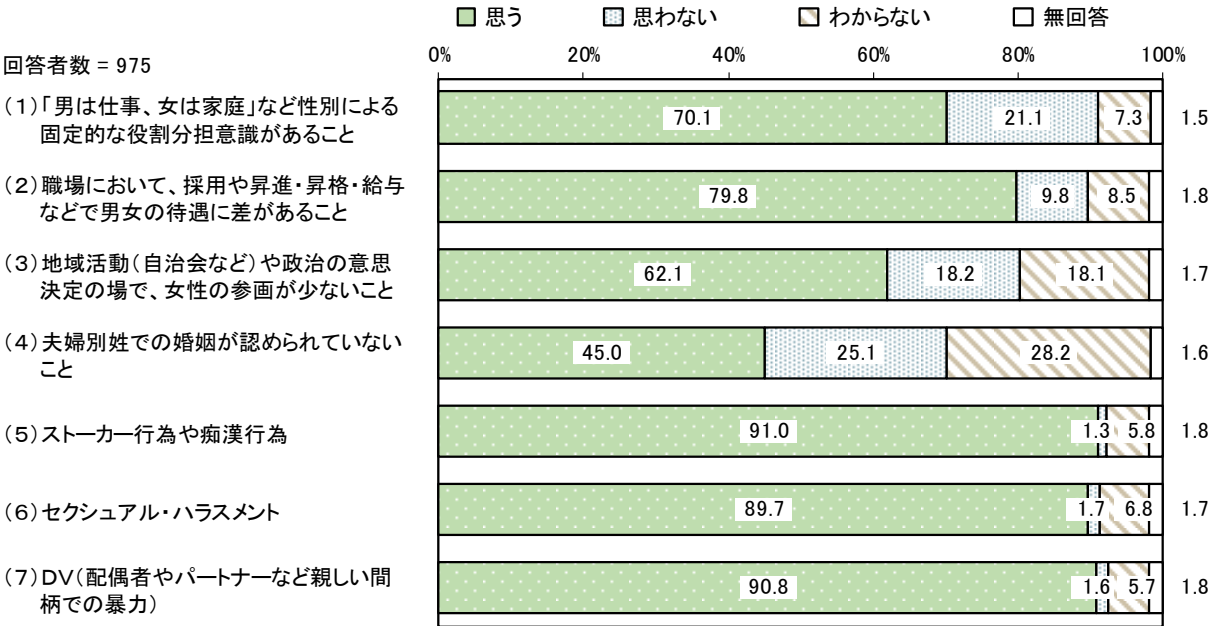
2 さまざまな人権問題について

(1) 女性の人権について

問 12 女性の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

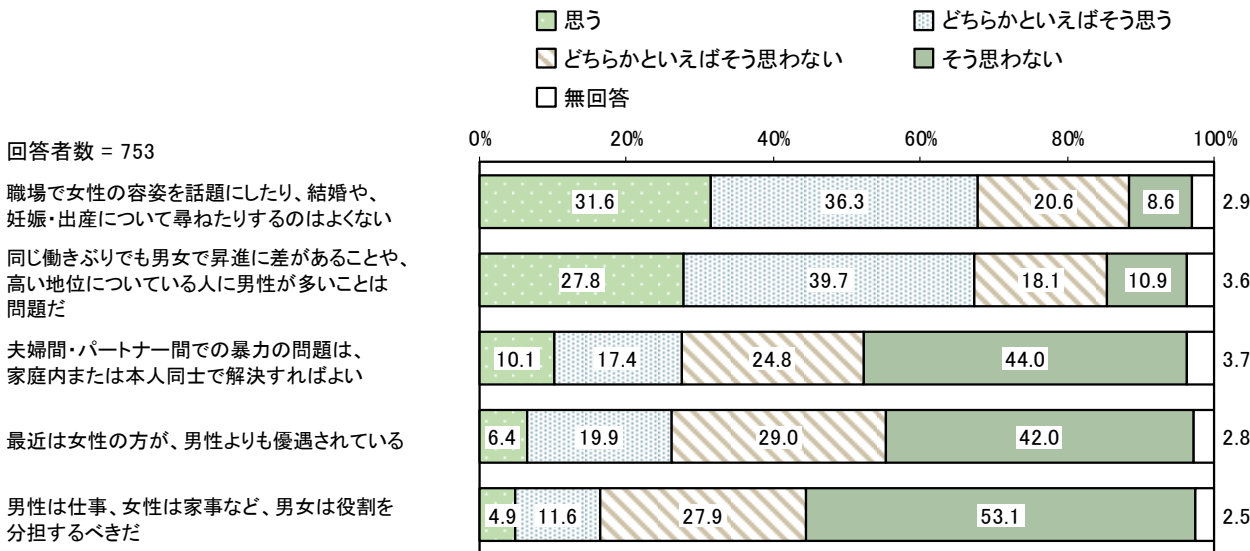
「思う」の割合は、『(5) ストーカー行為や痴漢行為』で 91.0%と最も高く、次いで『(7) DV (配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力)』で 90.8%、『(6) セクシュアル・ハラスメント』で 89.7%となっています。

一方、『思わない』の割合は『(4) 夫婦別姓での婚姻が認められていないこと』で 25.1%と最も高く、次いで『(1) 「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること』で 21.1%となっています。



【参考】平成 26 年度調査

さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(1)「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること』、『(4) 夫婦別姓での婚姻が認められていないこと』では、「思う」の割合は18～19歳、20歳代、30歳代で高くなっています。

『(2) 職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の待遇に差があること』では、「思う」の割合は20歳代で高くなっています。

『(3) 地域活動（自治会など）や政治の意思決定の場で、女性の参画が少ないこと』では、「思う」の割合は18～19歳で高くなっています。

『(6) セクシュアル・ハラスメント』、『(7) DV（配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力）』では、「思う」の割合は70歳以上で低くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること				(2) 職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の待遇に差があること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	70.1	21.1	7.3	1.5	79.8	9.8	8.5	1.8
性別	女性	556	75.5	16.4	6.1	2.0	82.4	7.7	7.6	2.3
	男性	404	62.9	28.0	8.4	0.7	76.5	12.6	9.7	1.2
年齢別	18～19歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	82.4	5.9	11.8	0.0
	20歳代	95	88.4	9.5	2.1	0.0	90.5	6.3	3.2	0.0
	30歳代	126	84.1	9.5	6.3	0.0	84.9	7.9	7.1	0.0
	40歳代	168	78.0	15.5	6.5	0.0	84.5	8.9	6.5	0.0
	50歳代	160	77.5	14.4	6.9	1.3	85.6	6.9	6.3	1.3
	60歳代	148	65.5	25.0	8.1	1.4	75.7	14.2	9.5	0.7
	70歳以上	259	48.3	37.8	9.7	4.2	69.1	12.4	12.7	5.8

単位：％

		回答者数	(3) 地域活動（自治会など）や政治の意思決定の場で、女性の参画が少ないこと				(4) 夫婦別姓での婚姻が認められていないこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	62.1	18.2	18.1	1.7	45.0	25.1	28.2	1.6
性別	女性	556	64.2	14.2	19.1	2.5	49.5	18.9	29.5	2.2
	男性	404	59.4	23.3	16.6	0.7	39.1	33.9	26.0	1.0
年齢別	18～19 歳	17	76.5	11.8	11.8	0.0	64.7	17.6	17.6	0.0
	20 歳代	95	69.5	13.7	16.8	0.0	68.4	13.7	16.8	1.1
	30 歳代	126	64.3	18.3	17.5	0.0	58.7	21.4	19.8	0.0
	40 歳代	168	66.7	14.9	18.5	0.0	50.6	22.6	26.8	0.0
	50 歳代	160	65.6	18.1	14.4	1.9	45.0	26.3	26.9	1.9
	60 歳代	148	58.1	19.6	21.6	0.7	37.8	33.1	28.4	0.7
	70 歳以上	259	54.4	21.6	18.9	5.0	29.0	28.2	38.6	4.2

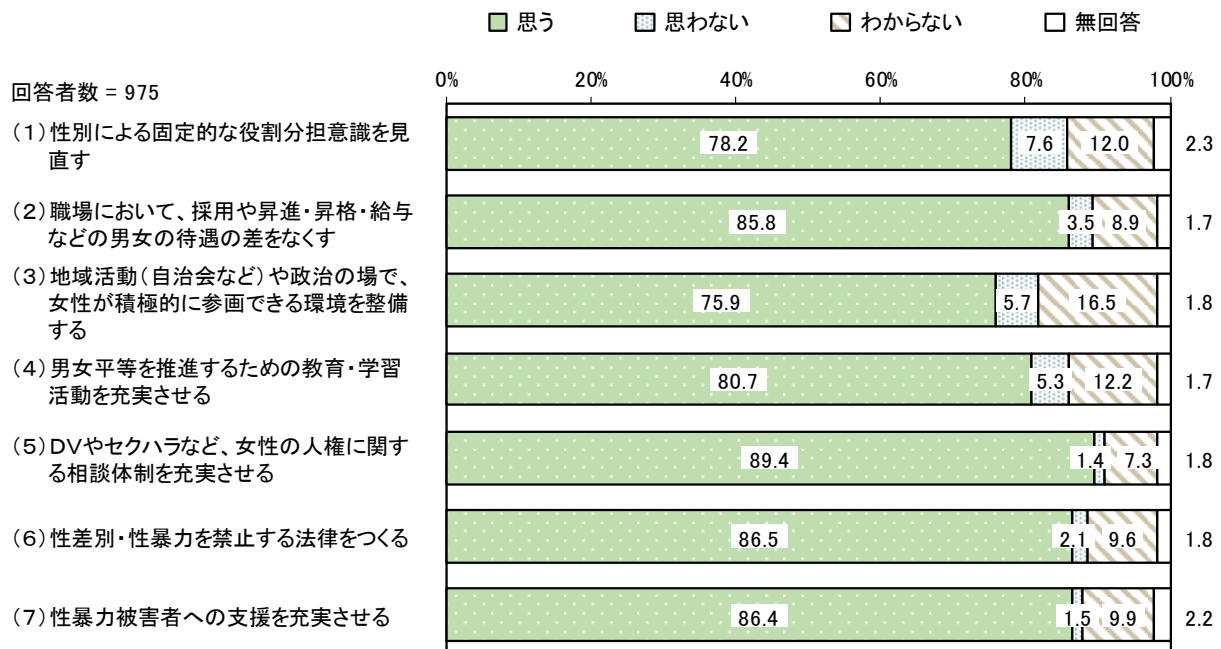
		回答者数	(5) ストーカー行為や痴漢行為				(6) セクシュアル・ハラスメント			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	91.0	1.3	5.8	1.8	89.7	1.7	6.8	1.7
性別	女性	556	92.1	0.5	5.0	2.3	90.5	0.9	6.3	2.3
	男性	404	89.9	2.5	6.4	1.2	89.1	3.0	6.9	1.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	82.4	5.9	11.8	0.0
	20 歳代	95	93.7	1.1	5.3	0.0	94.7	1.1	4.2	0.0
	30 歳代	126	93.7	2.4	4.0	0.0	94.4	3.2	2.4	0.0
	40 歳代	168	95.8	0.0	4.2	0.0	94.6	0.6	4.8	0.0
	50 歳代	160	96.3	0.6	1.3	1.9	96.3	0.0	2.5	1.3
	60 歳代	148	89.9	0.7	8.1	1.4	89.9	2.0	7.4	0.7
	70 歳以上	259	83.4	2.3	9.3	5.0	78.8	2.7	13.1	5.4

単位：％

		回答者数	(7) DV（配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力）			
			思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	90.8	1.6	5.7	1.8
性別	女性	556	91.4	1.1	5.0	2.5
	男性	404	90.3	2.5	6.2	1.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0
	20 歳代	95	93.7	1.1	3.2	2.1
	30 歳代	126	95.2	1.6	3.2	0.0
	40 歳代	168	96.4	0.6	3.0	0.0
	50 歳代	160	96.3	0.6	1.9	1.3
	60 歳代	148	93.9	0.7	4.7	0.7
	70 歳以上	259	79.2	3.5	12.4	5.0

問 13 女性の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は、『(5) DVやセクハラなど、女性の人権に関する相談体制を充実させる』で89.4%と最も高く、次いで『(6) 性差別・性暴力を禁止する法律をつくる』で86.5%となっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「思う」の割合は『（１）性別による固定的な役割分担意識を見直す』では、20 歳代で高くなっている一方、『（２）職場において、採用や昇進・昇格・給与などの男女の待遇の差をなくす』では、70 歳以上で低くなっています。

単位：％

		回答者数	（１）性別による固定的な役割分担意識を見直す				（２）職場において、採用や昇進・昇格・給与などの男女の待遇の差をなくす			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	78.2	7.6	12.0	2.3	85.8	3.5	8.9	1.7
性別	女性	556	81.1	5.6	10.3	3.1	87.2	3.1	7.6	2.2
	男性	404	75.0	10.1	13.6	1.2	84.4	4.2	10.1	1.2
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	82.4	5.9	11.8	0.0
	20 歳代	95	92.6	2.1	4.2	1.1	92.6	2.1	5.3	0.0
	30 歳代	126	87.3	4.0	8.7	0.0	93.7	3.2	3.2	0.0
	40 歳代	168	83.3	7.1	8.9	0.6	89.3	3.0	7.1	0.6
	50 歳代	160	78.8	6.3	12.5	2.5	89.4	2.5	6.9	1.3
	60 歳代	148	78.4	8.8	12.2	0.7	87.8	2.0	9.5	0.7
	70 歳以上	259	64.5	11.6	18.1	5.8	74.5	5.8	14.7	5.0

		回答者数	（３）地域活動（自治会など）や政治の場で、女性が積極的に参画できる環境を整備する				（４）男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	75.9	5.7	16.5	1.8	80.7	5.3	12.2	1.7
性別	女性	556	76.3	4.0	17.3	2.5	82.4	3.6	11.7	2.3
	男性	404	75.5	8.4	15.1	1.0	79.0	7.9	12.1	1.0
年齢別	18～19 歳	17	76.5	0.0	23.5	0.0	76.5	5.9	17.6	0.0
	20 歳代	95	78.9	10.5	10.5	0.0	86.3	7.4	6.3	0.0
	30 歳代	126	81.0	6.3	12.7	0.0	82.5	4.8	12.7	0.0
	40 歳代	168	73.8	5.4	20.2	0.6	79.2	6.5	13.7	0.6
	50 歳代	160	78.1	5.6	15.0	1.3	84.4	3.1	11.3	1.3
	60 歳代	148	75.0	5.4	18.2	1.4	80.4	3.4	15.5	0.7
	70 歳以上	259	73.0	4.6	17.4	5.0	77.2	6.6	11.2	5.0

単位：％

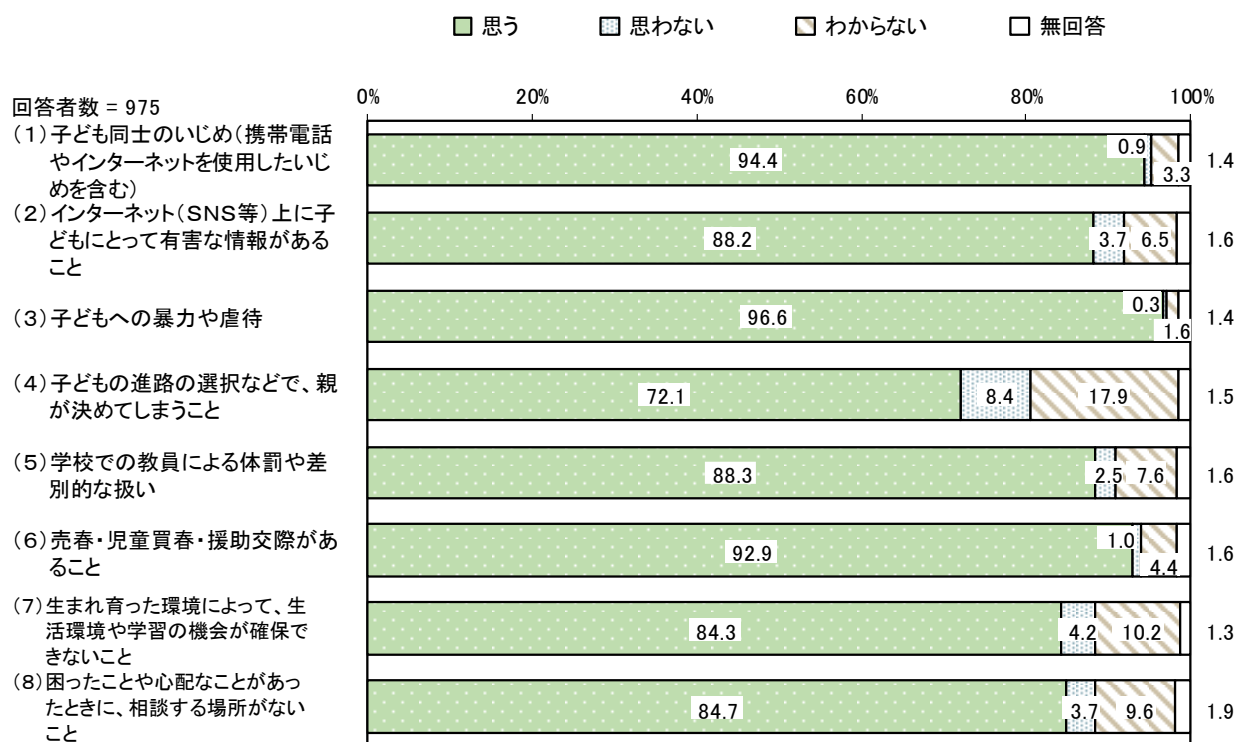
		回答者数	(５) ＤＶやセクハラなど、女性の人権に関する相談体制を充実させる				(６) 性差別・性暴力を禁止する法律をつくる			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	89.4	1.4	7.3	1.8	86.5	2.1	9.6	1.8
性別	女性	556	89.9	0.7	6.8	2.5	87.8	0.5	9.4	2.3
	男性	404	89.1	2.5	7.4	1.0	85.4	4.0	9.7	1.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	0.0	17.6	0.0	88.2	0.0	11.8	0.0
	20 歳代	95	94.7	0.0	5.3	0.0	95.8	2.1	2.1	0.0
	30 歳代	126	90.5	2.4	7.1	0.0	93.7	0.8	5.6	0.0
	40 歳代	168	93.5	1.2	4.8	0.6	87.5	1.8	10.1	0.6
	50 歳代	160	91.9	1.3	5.6	1.3	90.0	1.3	7.5	1.3
	60 歳代	148	91.9	0.7	6.8	0.7	83.1	0.7	14.9	1.4
	70 歳以上	259	81.9	2.3	10.4	5.4	79.2	4.2	12.0	4.6

		回答者数	(７) 性暴力被害者への支援を充実させる			
			思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	86.4	1.5	9.9	2.2
性別	女性	556	87.2	0.9	9.2	2.7
	男性	404	85.9	2.5	10.4	1.2
年齢別	18～19 歳	17	76.5	0.0	23.5	0.0
	20 歳代	95	93.7	1.1	5.3	0.0
	30 歳代	126	91.3	0.0	8.7	0.0
	40 歳代	168	88.1	1.2	10.1	0.6
	50 歳代	160	90.6	0.6	7.5	1.3
	60 歳代	148	86.5	1.4	10.8	1.4
	70 歳以上	259	78.8	3.5	12.0	5.8

(2) 子どもの人権について

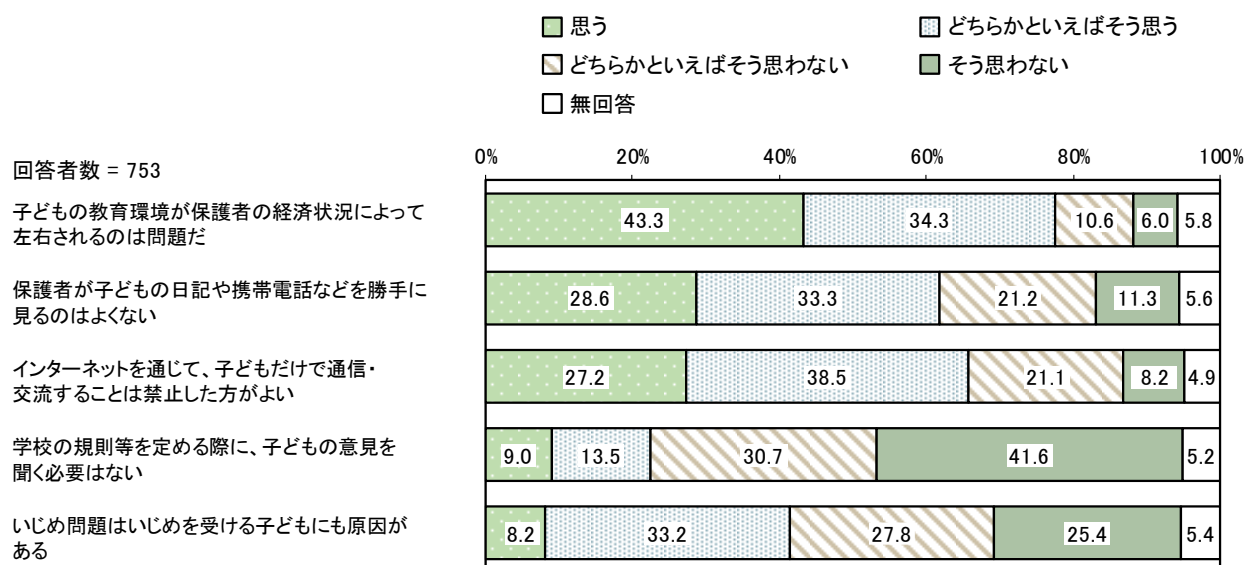
問 14 子どもの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(3) 子どもへの暴力や虐待』で 96.6%と最も高く、次いで『(1) 子ども同士のいじめ(携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む)』で 94.4%となっています。



【参考】平成 26 年度調査

さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「思う」の割合は『（４）子どもの進路の選択などで、親が決めてしまうこと』では、18～19歳、20歳代、30歳代で高くなっています。

一方、『（６）売春・児童買春・援助交際があること』では18～19歳で、『（８）困ったことや心配なことがあったときに、相談する場所がないこと』では70歳以上で「思う」の割合が低くなっています。

単位：％

		回答者数	（１）子ども同士のいじめ（携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む）				（２）インターネット（SNS等）上に子どもにとって有害な情報があること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	94.4	0.9	3.3	1.4	88.2	3.7	6.5	1.6
性別	女性	556	94.6	0.2	3.2	2.0	90.1	1.6	6.1	2.2
	男性	404	94.3	2.0	3.2	0.5	85.6	6.7	6.9	0.7
年齢別	18～19歳	17	94.1	0.0	5.9	0.0	82.4	11.8	5.9	0.0
	20歳代	95	95.8	0.0	3.2	1.1	81.1	15.8	3.2	0.0
	30歳代	126	97.6	0.8	1.6	0.0	90.5	5.6	4.0	0.0
	40歳代	168	97.6	0.6	1.8	0.0	91.7	1.2	7.1	0.0
	50歳代	160	98.1	0.0	0.6	1.3	93.8	1.3	3.8	1.3
	60歳代	148	97.3	0.7	1.4	0.7	90.5	2.7	4.7	2.0
	70歳以上	259	86.5	2.3	7.7	3.5	83.4	1.5	11.2	3.9

		回答者数	（３）子どもへの暴力や虐待				（４）子どもの進路の選択などで、親が決めてしまうこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	96.6	0.3	1.6	1.4	72.1	8.4	17.9	1.5
性別	女性	556	96.4	0.0	1.8	1.8	74.5	5.8	17.6	2.2
	男性	404	97.3	0.7	1.2	0.7	68.6	12.4	18.6	0.5
年齢別	18～19歳	17	94.1	0.0	5.9	0.0	94.1	0.0	5.9	0.0
	20歳代	95	98.9	0.0	1.1	0.0	88.4	5.3	6.3	0.0
	30歳代	126	99.2	0.0	0.0	0.8	82.5	2.4	15.1	0.0
	40歳代	168	99.4	0.0	0.6	0.0	75.0	8.3	16.7	0.0
	50歳代	160	96.9	0.0	1.9	1.3	73.8	5.6	19.4	1.3
	60歳代	148	98.6	0.0	0.7	0.7	68.2	10.8	20.3	0.7
	70歳以上	259	91.9	1.2	3.5	3.5	59.1	13.5	23.2	4.2

単位：％

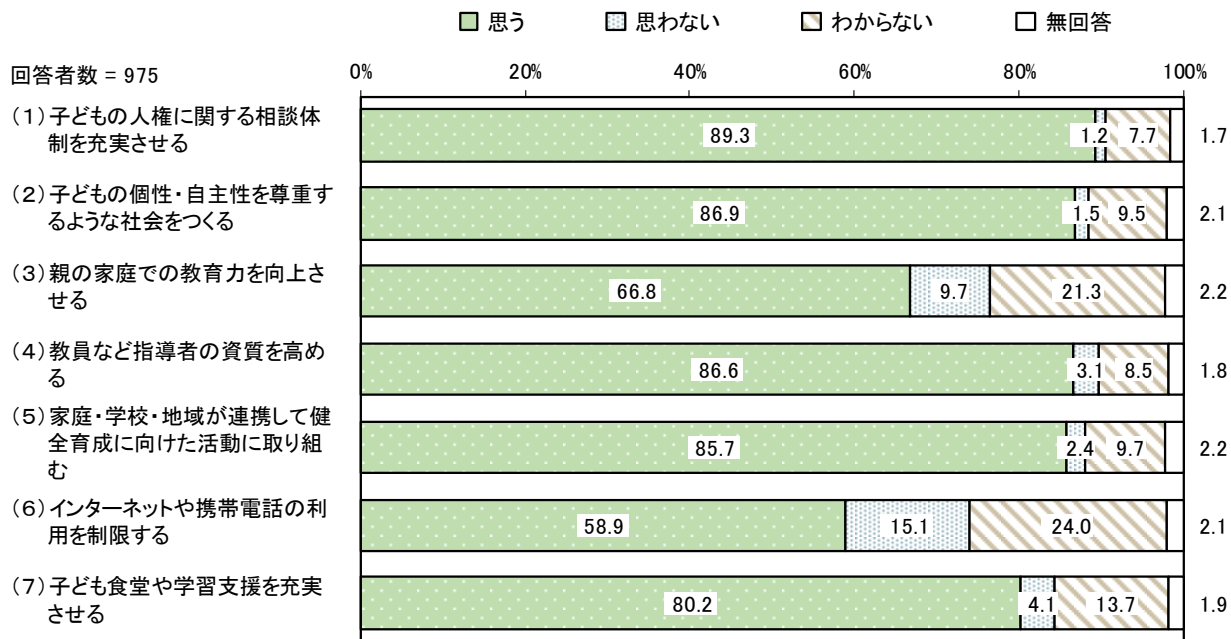
		回答者数	(5) 学校での教員による体罰や差別的な扱い				(6) 売春・児童買春・援助交際があること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	88.3	2.5	7.6	1.6	92.9	1.0	4.4	1.6
性別	女性	556	89.9	1.1	7.0	2.0	94.1	0.2	3.6	2.2
	男性	404	86.4	4.5	8.2	1.0	91.8	2.2	5.4	0.5
年齢別	18～19 歳	17	94.1	0.0	5.9	0.0	76.5	5.9	17.6	0.0
	20 歳代	95	89.5	1.1	9.5	0.0	93.7	2.1	4.2	0.0
	30 歳代	126	95.2	1.6	3.2	0.0	99.2	0.0	0.8	0.0
	40 歳代	168	94.0	2.4	3.0	0.6	98.2	0.6	1.2	0.0
	50 歳代	160	92.5	0.6	5.6	1.3	96.3	0.0	1.9	1.9
	60 歳代	148	87.8	4.1	7.4	0.7	91.9	2.7	4.7	0.7
	70 歳以上	259	78.8	3.9	13.1	4.2	86.5	0.8	8.5	4.2

		回答者数	(7) 生まれ育った環境によって、生活環境や学習の機会が確保できないこと				(8) 困ったことや心配なことがあったときに、相談する場所がないこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	84.3	4.2	10.2	1.3	84.7	3.7	9.6	1.9
性別	女性	556	85.3	2.9	10.1	1.8	84.0	3.1	10.4	2.5
	男性	404	83.2	6.2	10.1	0.5	85.6	4.7	8.7	1.0
年齢別	18～19 歳	17	94.1	0.0	5.9	0.0	76.5	11.8	5.9	5.9
	20 歳代	95	92.6	2.1	5.3	0.0	93.7	1.1	4.2	1.1
	30 歳代	126	92.1	4.0	4.0	0.0	94.4	0.8	4.0	0.8
	40 歳代	168	86.9	4.8	8.3	0.0	89.9	1.2	8.9	0.0
	50 歳代	160	86.3	3.1	9.4	1.3	88.8	2.5	6.9	1.9
	60 歳代	148	81.8	4.1	13.5	0.7	80.4	4.7	13.5	1.4
	70 歳以上	259	76.1	5.8	14.7	3.5	74.1	7.3	14.7	3.9

問 15 子どもの人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(1) 子どもの人権に関する相談体制を充実させる』で 89.3%と最も高く、次いで『(2) 子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる』で 86.9%となっています。

「思わない」の割合は『(6) インターネットや携帯電話の利用を制限する』で 15.1%と最も高く、次いで『(3) 親の家庭での教育力を向上させる』で 9.7%となっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、「思う」の割合は『(6) インターネットや携帯電話の利用を制限する』では30歳代で高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 子どもの人権に関する相談体制を充実させる				(2) 子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	89.3	1.2	7.7	1.7	86.9	1.5	9.5	2.1
性別	女性	556	89.2	0.5	7.7	2.5	87.8	1.3	8.3	2.7
	男性	404	89.6	2.2	7.7	0.5	85.9	2.0	11.4	0.7
年齢別	18～19 歳	17	88.2	0.0	11.8	0.0	94.1	0.0	5.9	0.0
	20 歳代	95	90.5	1.1	8.4	0.0	94.7	2.1	3.2	0.0
	30 歳代	126	96.0	0.0	4.0	0.0	91.3	0.8	7.1	0.8
	40 歳代	168	89.9	1.8	8.3	0.0	86.9	2.4	10.7	0.0
	50 歳代	160	90.6	0.0	8.1	1.3	86.9	1.9	8.8	2.5
	60 歳代	148	88.5	3.4	6.8	1.4	84.5	1.4	13.5	0.7
	70 歳以上	259	85.7	1.2	8.5	4.6	83.4	1.2	10.4	5.0

		回答者数	(3) 親の家庭での教育力を向上させる				(4) 教員など指導者の資質を高める			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	66.8	9.7	21.3	2.2	86.6	3.1	8.5	1.8
性別	女性	556	63.1	9.2	24.8	2.9	87.2	1.6	8.8	2.3
	男性	404	72.3	10.9	16.1	0.7	85.9	5.2	8.2	0.7
年齢別	18～19 歳	17	64.7	11.8	23.5	0.0	82.4	0.0	17.6	0.0
	20 歳代	95	72.6	9.5	17.9	0.0	85.3	6.3	8.4	0.0
	30 歳代	126	76.2	3.2	20.6	0.0	89.7	3.2	7.1	0.0
	40 歳代	168	62.5	11.9	25.6	0.0	85.1	2.4	12.5	0.0
	50 歳代	160	68.8	9.4	20.0	1.9	89.4	3.8	5.6	1.3
	60 歳代	148	64.2	11.5	22.3	2.0	85.1	4.1	10.1	0.7
	70 歳以上	259	63.3	10.8	20.5	5.4	86.1	1.5	6.9	5.4

単位：％

		回答者数	(５) 家庭・学校・地域が連携して健全育成に向けた活動に取り組む				(６) インターネットや携帯電話の利用を制限する			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	85.7	2.4	9.7	2.2	58.9	15.1	24.0	2.1
性別	女性	556	85.6	0.9	10.8	2.7	64.4	8.3	24.6	2.7
	男性	404	86.4	4.5	8.2	1.0	52.7	24.5	22.0	0.7
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	52.9	17.6	29.4	0.0
	20 歳代	95	93.7	3.2	3.2	0.0	51.6	29.5	18.9	0.0
	30 歳代	126	89.7	1.6	8.7	0.0	69.8	9.5	20.6	0.0
	40 歳代	168	87.5	1.8	9.5	1.2	62.5	14.9	22.6	0.0
	50 歳代	160	82.5	1.9	14.4	1.3	58.1	16.3	24.4	1.3
	60 歳代	148	86.5	3.4	9.5	0.7	52.7	16.2	30.4	0.7
	70 歳以上	259	82.2	2.3	9.7	5.8	58.7	11.2	23.9	6.2

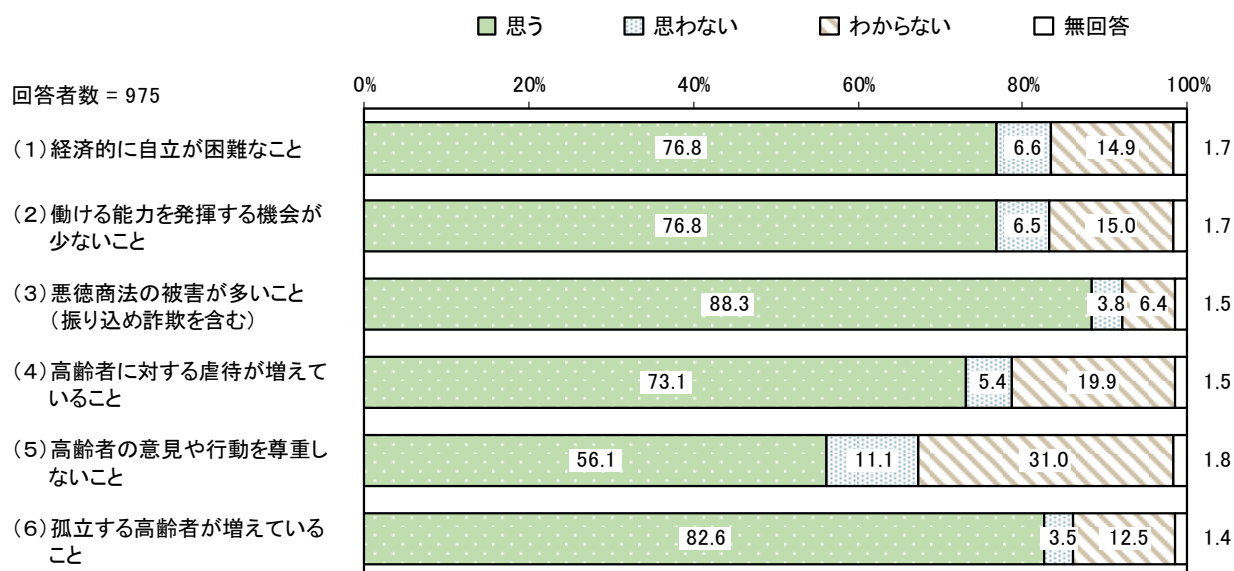
		回答者数	(７) 子ども食堂や学習支援を充実させる			
			思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	80.2	4.1	13.7	1.9
性別	女性	556	81.3	2.3	14.0	2.3
	男性	404	79.0	6.4	13.6	1.0
年齢別	18～19 歳	17	76.5	5.9	17.6	0.0
	20 歳代	95	88.4	6.3	5.3	0.0
	30 歳代	126	88.9	0.8	10.3	0.0
	40 歳代	168	83.9	5.4	10.7	0.0
	50 歳代	160	79.4	1.9	16.9	1.9
	60 歳代	148	75.0	6.8	17.6	0.7
	70 歳以上	259	74.5	3.9	16.2	5.4

(3) 高齢者の人権について

問 16 高齢者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

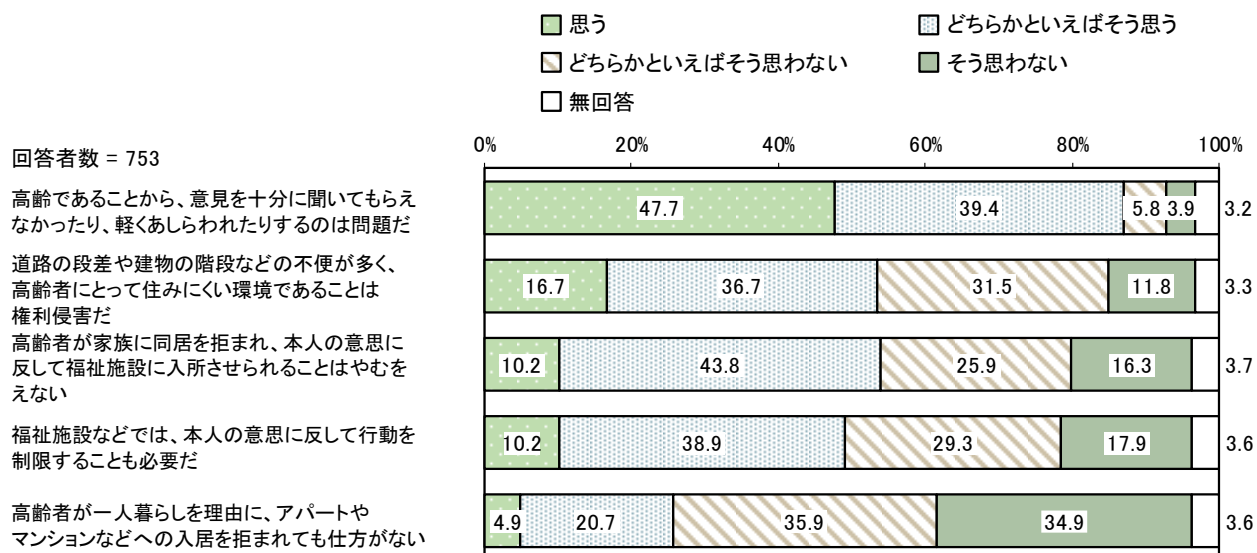
「思う」の割合は『(3) 悪徳商法の被害が多いこと (振り込め詐欺を含む)』で 88.3% と最も高く、次いで『(6) 孤立する高齢者が増えていること』で 82.6% となっています。

「思わない」の割合は『(5) 高齢者の意見や行動を尊重しないこと』で 11.1% と最も高くなっています。



【参考】平成 26 年度調査

さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1) ~ (25) のすべてのことについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ 1 つに○)



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(2) 働ける能力を発揮する機会が少ないこと』では、18～19 歳で「思う」の割合が低くなっています。

『(4) 高齢者に対する虐待が増えていること』では、20 歳代、30 歳代、40 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

『(5) 高齢者の意見や行動を尊重しないこと』では、30 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 経済的に自立が困難なこと				(2) 働ける能力を発揮する機会が少ないこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	76.8	6.6	14.9	1.7	76.8	6.5	15.0	1.7
性別	女性	556	76.8	5.2	16.4	1.6	79.5	4.3	14.6	1.6
	男性	404	77.2	8.2	13.1	1.5	73.5	9.4	15.6	1.5
年齢別	18～19 歳	17	76.5	5.9	17.6	0.0	64.7	11.8	23.5	0.0
	20 歳代	95	78.9	7.4	12.6	1.1	77.9	8.4	13.7	0.0
	30 歳代	126	77.8	6.3	15.9	0.0	81.0	5.6	13.5	0.0
	40 歳代	168	79.8	6.5	13.7	0.0	78.0	7.7	14.3	0.0
	50 歳代	160	83.1	3.8	11.3	1.9	86.3	1.3	10.6	1.9
	60 歳代	148	77.0	4.7	17.6	0.7	77.7	6.1	14.9	1.4
	70 歳以上	259	69.9	9.3	16.6	4.2	68.3	8.5	18.9	4.2

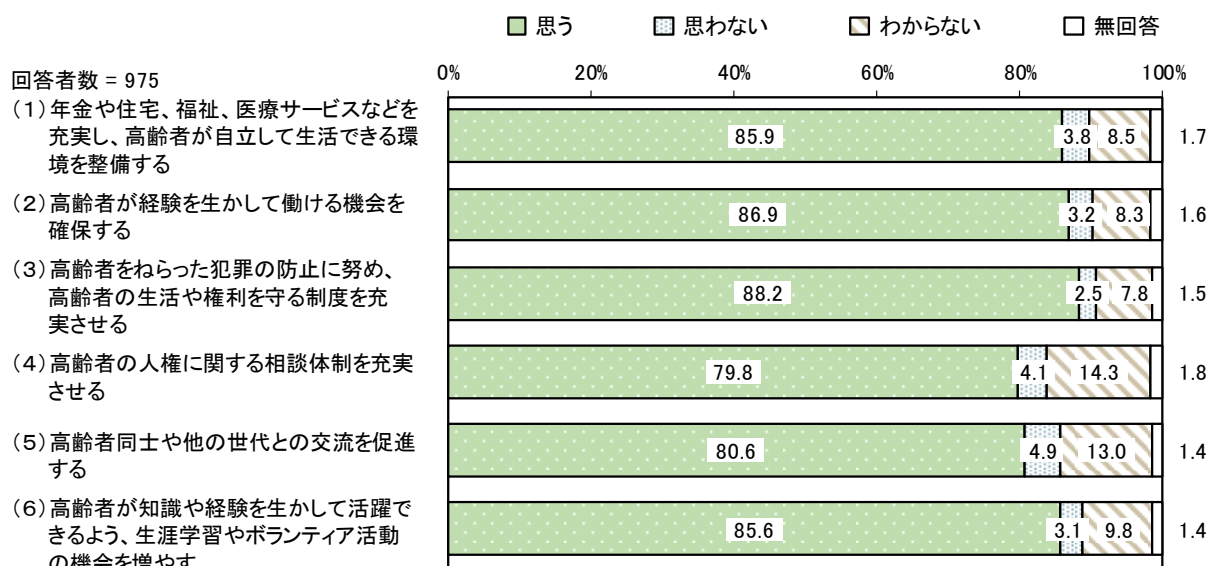
		回答者数	(3) 悪徳商法の被害が多いこと（振り込め詐欺を含む）				(4) 高齢者に対する虐待が増えていること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	88.3	3.8	6.4	1.5	73.1	5.4	19.9	1.5
性別	女性	556	90.8	1.4	6.3	1.4	75.0	3.8	20.0	1.3
	男性	404	85.9	6.4	6.2	1.5	71.3	7.7	19.6	1.5
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	70.6	5.9	23.5	0.0
	20 歳代	95	88.4	4.2	7.4	0.0	85.3	3.2	11.6	0.0
	30 歳代	126	92.9	4.8	2.4	0.0	89.7	1.6	8.7	0.0
	40 歳代	168	91.1	3.6	5.4	0.0	83.3	3.0	13.7	0.0
	50 歳代	160	93.8	1.9	2.5	1.9	80.6	1.9	15.6	1.9
	60 歳代	148	86.5	4.1	8.8	0.7	68.9	8.1	22.3	0.7
	70 歳以上	259	83.0	4.2	8.9	3.9	52.5	10.4	33.2	3.9

単位：％

		回答者数	(5) 高齢者の意見や行動を尊重しないこと				(6) 孤立する高齢者が増えていること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	56.1	11.1	31.0	1.8	82.6	3.5	12.5	1.4
性別	女性	556	59.9	7.9	30.6	1.6	84.4	2.0	12.4	1.3
	男性	404	51.2	15.6	31.4	1.7	80.9	5.4	12.1	1.5
年齢別	18～19 歳	17	41.2	17.6	41.2	0.0	82.4	5.9	11.8	0.0
	20 歳代	95	63.2	11.6	25.3	0.0	85.3	5.3	9.5	0.0
	30 歳代	126	66.7	7.9	25.4	0.0	88.1	3.2	8.7	0.0
	40 歳代	168	53.0	12.5	33.9	0.6	83.3	3.0	13.1	0.6
	50 歳代	160	58.8	5.6	33.1	2.5	86.3	2.5	9.4	1.9
	60 歳代	148	54.1	15.5	29.7	0.7	78.4	4.7	16.2	0.7
	70 歳以上	259	51.4	12.0	32.4	4.2	79.2	3.1	14.7	3.1

問 17 高齢者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

「思う」の割合は『(3) 高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる』で 88.2％と最も高く、次いで『(2) 高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する』で 86.9％となっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『（１）年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する』では、20歳代で「思う」の割合が低くなっています。

『（２）高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する』、『（５）高齢者同士や他の世代との交流を促進する』では、18～19歳で「思う」の割合が低くなっています。

単位：％

		回答者数	（１）年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する				（２）高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	85.9	3.8	8.5	1.7	86.9	3.2	8.3	1.6
性別	女性	556	86.3	2.5	9.4	1.8	88.1	1.8	8.5	1.6
	男性	404	85.6	5.4	7.4	1.5	85.6	4.7	8.2	1.5
年齢別	18～19 歳	17	76.5	11.8	11.8	0.0	64.7	17.6	17.6	0.0
	20 歳代	95	74.7	8.4	14.7	2.1	86.3	7.4	6.3	0.0
	30 歳代	126	82.5	7.1	9.5	0.8	89.7	3.2	5.6	1.6
	40 歳代	168	84.5	4.2	10.7	0.6	91.1	1.8	7.1	0.0
	50 歳代	160	86.9	2.5	9.4	1.3	91.9	0.0	6.9	1.3
	60 歳代	148	90.5	0.7	8.1	0.7	85.1	3.4	10.8	0.7
	70 歳以上	259	90.3	2.3	3.9	3.5	82.6	3.5	10.0	3.9

		回答者数	（３）高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる				（４）高齢者の人権に関する相談体制を充実させる			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	88.2	2.5	7.8	1.5	79.8	4.1	14.3	1.8
性別	女性	556	89.0	1.1	8.5	1.4	81.7	1.1	15.5	1.8
	男性	404	87.4	4.2	6.9	1.5	77.7	7.9	12.6	1.7
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	70.6	11.8	11.8	5.9
	20 歳代	95	91.6	3.2	5.3	0.0	83.2	9.5	7.4	0.0
	30 歳代	126	93.7	0.8	4.8	0.8	84.9	1.6	11.9	1.6
	40 歳代	168	88.7	3.0	8.3	0.0	79.2	3.6	17.3	0.0
	50 歳代	160	89.4	1.9	7.5	1.3	83.8	3.1	11.9	1.3
	60 歳代	148	87.8	4.1	7.4	0.7	73.0	4.1	21.6	1.4
	70 歳以上	259	84.6	1.9	9.7	3.9	79.2	3.9	13.1	3.9

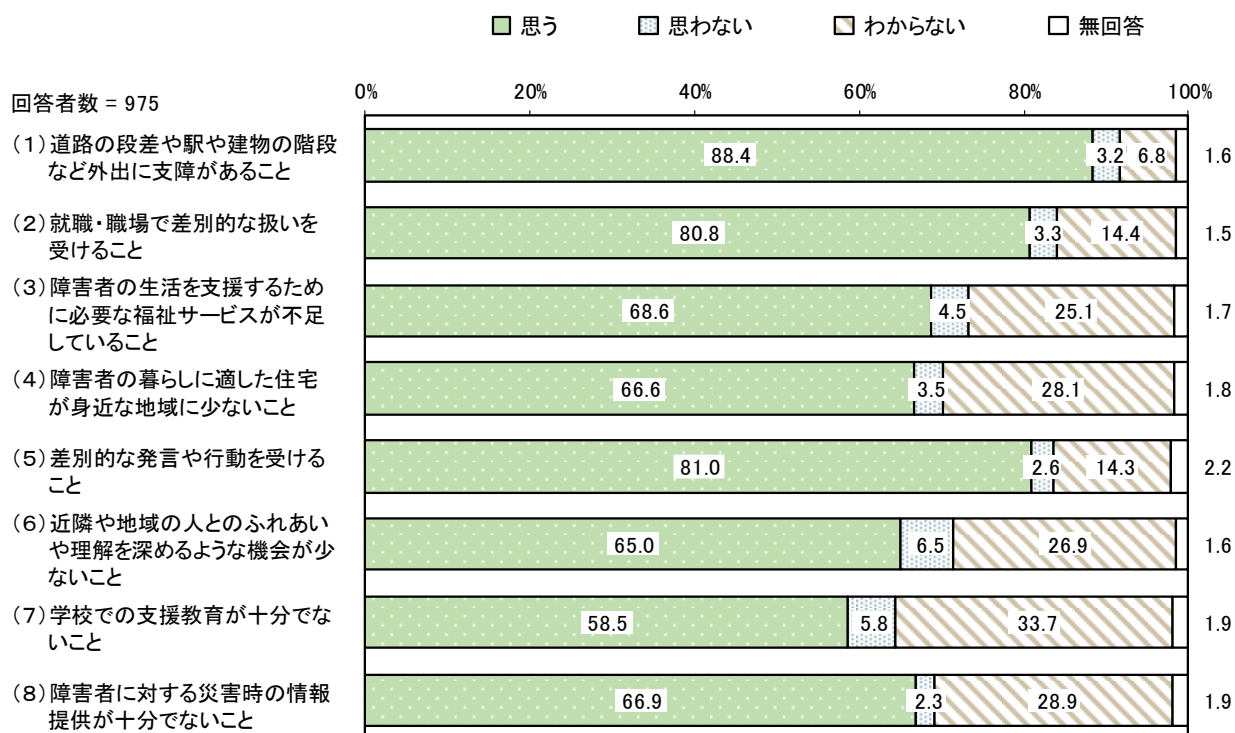
単位：％

		回答者数	(5) 高齢者同士や他の世代との交流を促進する				(6) 高齢者が知識や経験を生かして活躍できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	80.6	4.9	13.0	1.4	85.6	3.1	9.8	1.4
性別	女性	556	82.9	2.9	12.9	1.3	87.2	1.3	10.3	1.3
	男性	404	78.5	7.4	12.6	1.5	84.4	5.2	8.9	1.5
年齢別	18～19 歳	17	64.7	23.5	11.8	0.0	76.5	5.9	17.6	0.0
	20 歳代	95	83.2	10.5	6.3	0.0	92.6	4.2	3.2	0.0
	30 歳代	126	84.9	3.2	11.1	0.8	90.5	2.4	6.3	0.8
	40 歳代	168	83.3	3.6	13.1	0.0	90.5	1.2	8.3	0.0
	50 歳代	160	86.9	2.5	9.4	1.3	88.1	1.3	9.4	1.3
	60 歳代	148	76.4	4.7	18.2	0.7	84.5	5.4	9.5	0.7
	70 歳以上	259	76.1	5.0	15.4	3.5	77.6	3.9	15.1	3.5

(4) 障害者の人権について

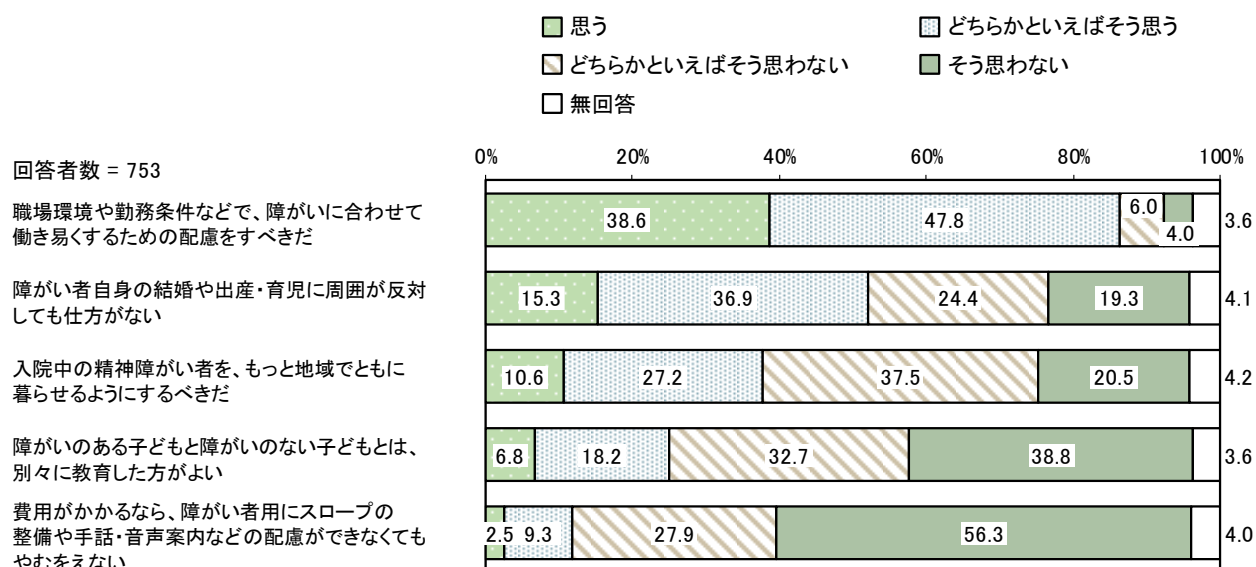
問 18 障害者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(1) 道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること』で88.4%と最も高く、次いで『(5) 差別的な発言や行動を受けること』で81.0%となっています。



【参考】平成 26 年度調査

さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(3) 障害者の生活を支援するために必要な福祉サービスが不足していること』、『(4) 障害者の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと』では、20 歳代、30 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

『(5) 差別的な発言や行動を受けること』では、20 歳代、30 歳代、50 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

『(6) 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと』、『(7) 学校での支援教育が十分でないこと』では、18～19 歳、20 歳代、30 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

『(8) 障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと』では、20 歳代、30 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

		回答者数	(1) 道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること				(2) 就職・職場で差別的な扱いを受けること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	88.4	3.2	6.8	1.6	80.8	3.3	14.4	1.5
性別	女性	556	90.1	2.0	6.7	1.3	82.6	1.8	14.4	1.3
	男性	404	86.9	4.5	6.9	1.7	79.0	5.2	14.1	1.7
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	88.2	5.9	5.9	0.0
	20 歳代	95	88.4	3.2	7.4	1.1	90.5	3.2	6.3	0.0
	30 歳代	126	91.3	2.4	4.8	1.6	88.9	2.4	7.9	0.8
	40 歳代	168	91.1	1.2	7.7	0.0	85.1	1.2	13.7	0.0
	50 歳代	160	90.6	3.8	5.0	0.6	86.3	1.9	11.3	0.6
	60 歳代	148	85.1	4.1	10.1	0.7	73.0	5.4	20.9	0.7
	70 歳以上	259	86.5	3.9	5.8	3.9	71.8	4.6	19.3	4.2

単位：％

		回答者数	(3) 障害者の生活を支援するために必要な福祉サービスが不足していること				(4) 障害者の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	68.6	4.5	25.1	1.7	66.6	3.5	28.1	1.8
性別	女性	556	70.5	3.2	25.0	1.3	69.1	2.5	26.8	1.6
	男性	404	67.1	6.2	24.8	2.0	63.9	4.7	29.7	1.7
年齢別	18～19 歳	17	58.8	11.8	29.4	0.0	70.6	11.8	17.6	0.0
	20 歳代	95	81.1	3.2	15.8	0.0	78.9	3.2	17.9	0.0
	30 歳代	126	81.0	3.2	15.1	0.8	81.0	4.0	14.3	0.8
	40 歳代	168	70.8	3.6	25.6	0.0	67.9	1.8	30.4	0.0
	50 歳代	160	71.9	1.3	26.3	0.6	66.3	2.5	30.6	0.6
	60 歳代	148	65.5	6.1	27.7	0.7	64.2	3.4	31.8	0.7
	70 歳以上	259	57.5	6.9	30.5	5.0	56.0	4.6	34.0	5.4

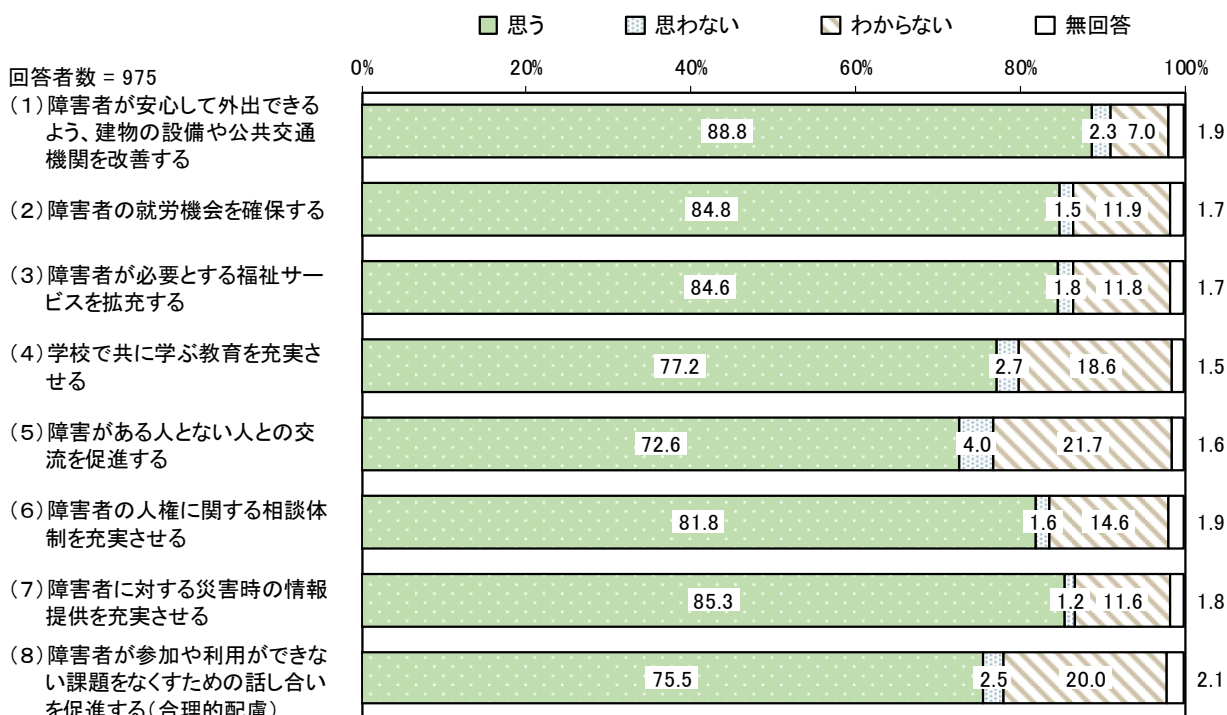
		回答者数	(5) 差別的な発言や行動を受けること				(6) 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	81.0	2.6	14.3	2.2	65.0	6.5	26.9	1.6
性別	女性	556	82.0	1.3	14.6	2.2	66.7	5.0	26.8	1.4
	男性	404	80.7	4.2	13.4	1.7	63.4	8.4	26.5	1.7
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	76.5	17.6	5.9	0.0
	20 歳代	95	94.7	1.1	4.2	0.0	75.8	12.6	11.6	0.0
	30 歳代	126	93.7	0.8	4.8	0.8	75.4	4.8	18.3	1.6
	40 歳代	168	86.9	0.0	11.9	1.2	66.7	2.4	31.0	0.0
	50 歳代	160	91.9	0.0	7.5	0.6	67.5	5.6	26.3	0.6
	60 歳代	148	77.0	4.7	17.6	0.7	59.5	8.8	31.1	0.7
	70 歳以上	259	62.2	5.8	26.3	5.8	56.4	6.2	33.2	4.2

単位：％

		回答者数	(7) 学校での支援教育が十分でないこと				(8) 障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	58.5	5.8	33.7	1.9	66.9	2.3	28.9	1.9
性別	女性	556	59.9	4.3	34.2	1.6	69.2	0.7	28.4	1.6
	男性	404	57.2	7.7	33.2	2.0	64.1	4.2	29.5	2.2
年齢別	18～19 歳	17	76.5	17.6	5.9	0.0	76.5	11.8	5.9	5.9
	20 歳代	95	77.9	6.3	15.8	0.0	83.2	3.2	13.7	0.0
	30 歳代	126	73.0	4.0	22.2	0.8	81.0	0.8	16.7	1.6
	40 歳代	168	59.5	6.0	34.5	0.0	70.8	2.4	26.8	0.0
	50 歳代	160	57.5	6.3	34.4	1.9	70.6	0.0	28.1	1.3
	60 歳代	148	54.7	7.4	37.2	0.7	60.1	4.1	35.1	0.7
	70 歳以上	259	45.6	4.6	44.8	5.0	52.9	2.3	40.2	4.6

問 19 障害者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は、『(1) 障害者が安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する』で88.8%と最も高く、次いで『(7) 障害者に対する災害時の情報提供を充実させる』で85.3%となっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(6) 障害者の人権に関する相談体制を充実させる』、『(8) 障害者が参加や利用ができない課題をなくすための話し合いを促進する（合理的配慮）』では、18～19 歳で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 障害者が安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する				(2) 障害者の就労機会を確保する			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	88.8	2.3	7.0	1.9	84.8	1.5	11.9	1.7
性別	女性	556	89.7	2.2	6.7	1.4	85.1	0.7	12.6	1.6
	男性	404	88.1	2.2	7.2	2.5	84.7	2.7	10.9	1.7
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	76.5	0.0	23.5	0.0
	20 歳代	95	91.6	3.2	5.3	0.0	90.5	3.2	6.3	0.0
	30 歳代	126	92.9	1.6	4.8	0.8	92.1	0.8	6.3	0.8
	40 歳代	168	91.1	0.0	8.3	0.6	86.3	0.6	13.1	0.0
	50 歳代	160	91.9	1.9	5.6	0.6	88.8	0.6	10.0	0.6
	60 歳代	148	88.5	3.4	7.4	0.7	83.8	3.4	12.2	0.7
	70 歳以上	259	83.4	3.1	8.1	5.4	77.2	1.5	16.2	5.0

		回答者数	(3) 障害者が必要とする福祉サービスを拡充する				(4) 学校で共に学ぶ教育を充実させる			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	84.6	1.8	11.8	1.7	77.2	2.7	18.6	1.5
性別	女性	556	85.8	1.6	11.0	1.6	78.1	2.2	18.5	1.3
	男性	404	83.7	2.2	12.4	1.7	76.7	3.5	18.1	1.7
年齢別	18～19 歳	17	76.5	5.9	17.6	0.0	82.4	11.8	5.9	0.0
	20 歳代	95	90.5	3.2	6.3	0.0	82.1	5.3	12.6	0.0
	30 歳代	126	92.1	0.8	6.3	0.8	84.1	2.4	12.7	0.8
	40 歳代	168	82.7	1.2	16.1	0.0	79.8	2.4	17.9	0.0
	50 歳代	160	89.4	1.9	8.1	0.6	83.1	2.5	13.8	0.6
	60 歳代	148	85.8	2.0	11.5	0.7	76.4	2.7	20.3	0.7
	70 歳以上	259	77.6	1.9	15.4	5.0	67.6	1.5	26.6	4.2

単位：％

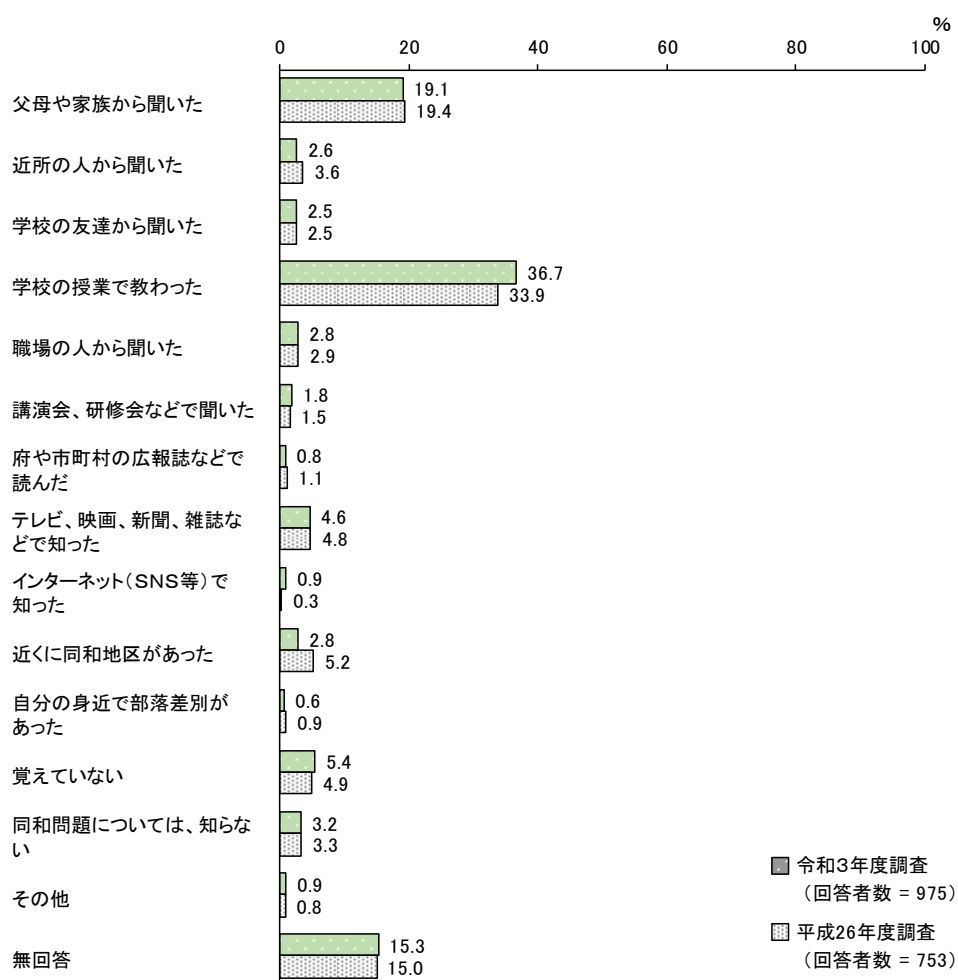
		回答者数	(５) 障害がある人となない人との交流を促進する				(６) 障害者の人権に関する相談体制を充実させる			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	72.6	4.0	21.7	1.6	81.8	1.6	14.6	1.9
性別	女性	556	74.3	1.8	22.5	1.4	83.6	0.7	13.7	2.0
	男性	404	71.3	6.9	20.0	1.7	79.7	3.0	15.6	1.7
年齢別	18～19 歳	17	64.7	11.8	23.5	0.0	94.1	0.0	5.9	0.0
	20 歳代	95	74.7	10.5	14.7	0.0	86.3	2.1	11.6	0.0
	30 歳代	126	74.6	4.0	20.6	0.8	88.1	1.6	8.7	1.6
	40 歳代	168	72.6	3.0	24.4	0.0	82.7	1.2	16.1	0.0
	50 歳代	160	76.9	3.1	19.4	0.6	89.4	0.6	8.8	1.3
	60 歳代	148	77.7	3.4	17.6	1.4	78.4	2.7	18.2	0.7
	70 歳以上	259	66.4	2.7	26.6	4.2	73.4	1.9	19.7	5.0

		回答者数	(７) 障害者に対する災害時の情報提供を充実させる				(８) 障害者が参加や利用ができない課題をなくすための話し合いを促進する（合理的配慮）			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	85.3	1.2	11.6	1.8	75.5	2.5	20.0	2.1
性別	女性	556	87.6	0.2	10.4	1.8	77.0	0.9	20.1	2.0
	男性	404	82.9	2.5	12.9	1.7	74.0	4.7	19.3	2.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	94.1	0.0	5.9	0.0
	20 歳代	95	90.5	2.1	7.4	0.0	84.2	5.3	10.5	0.0
	30 歳代	126	92.1	0.8	5.6	1.6	81.0	2.4	15.1	1.6
	40 歳代	168	85.7	0.6	13.7	0.0	76.8	2.4	20.8	0.0
	50 歳代	160	89.4	0.0	9.4	1.3	80.0	1.3	16.9	1.9
	60 歳代	148	82.4	2.0	14.9	0.7	72.3	3.4	23.6	0.7
	70 歳以上	259	79.5	1.5	14.3	4.6	67.2	1.9	25.9	5.0

（５）部落差別について

問 20 部落差別（同和問題）について、あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どのようなことがきっかけですか。（あてはまるもの１つに○）

「学校の授業で教わった」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「父母や家族から聞いた」の割合が 19.1%となっています。

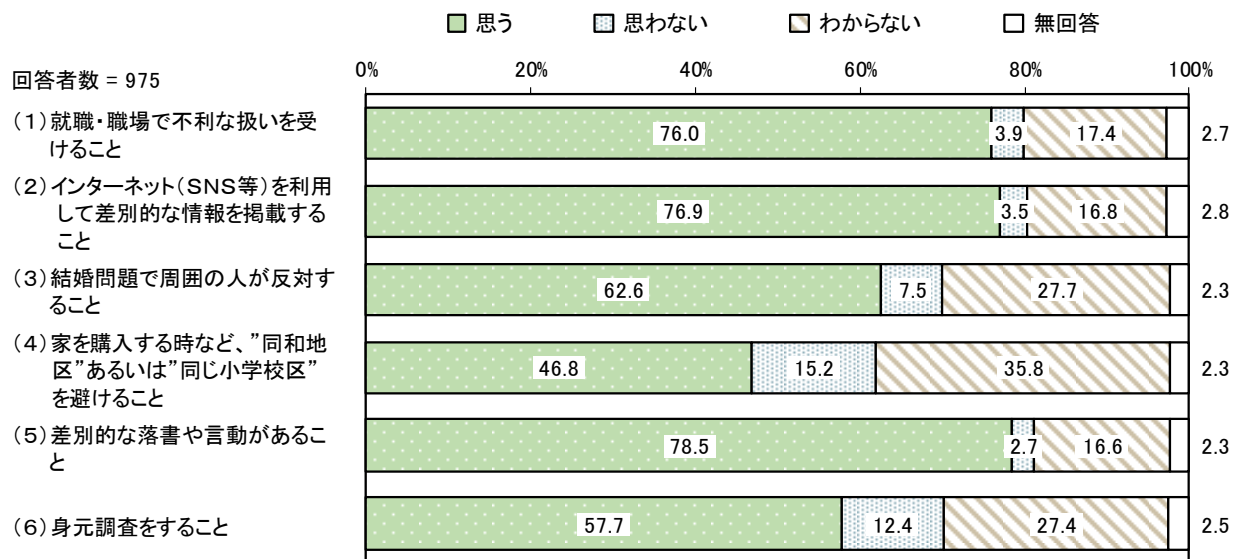


その他意見の要約	件数
不動産を探している時	3
駅に貼ってあった差別反対のポスター	1
大阪に来て初めて知った	1
この調査中に知った	1

問 21 部落差別（同和問題）について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は『（５）差別的な落書や言動があること』で78.5%と最も高く、次いで『（２）インターネット（SNS等）を利用して差別的な情報を掲載すること』で76.9%となっています。

一方、「思わない」の割合は、『（４）家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること』で15.2%と最も高く、次いで『（６）身元調査をすること』で12.4%となっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(1) 就職・職場で不利な扱いを受けること』、『(5) 差別的な落書や言動があること』では、20 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

『(2) インターネット（SNS等）を利用して差別的な情報を掲載すること』、『(3) 結婚問題で周囲の人が反対すること』、『(4) 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること』、『(6) 身元調査をすること』では、18～19 歳、20 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 就職・職場で不利な扱いを受けること				(2) インターネット（SNS等）を利用して差別的な情報を掲載すること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	76.0	3.9	17.4	2.7	76.9	3.5	16.8	2.8
性別	女性	556	75.7	3.1	18.5	2.7	78.1	3.2	16.4	2.3
	男性	404	76.5	5.2	15.8	2.5	75.5	4.0	17.6	3.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	88.2	0.0	11.8	0.0
	20 歳代	95	89.5	0.0	10.5	0.0	88.4	1.1	10.5	0.0
	30 歳代	126	82.5	1.6	13.5	2.4	82.5	0.8	15.1	1.6
	40 歳代	168	82.7	2.4	13.7	1.2	83.3	4.8	11.3	0.6
	50 歳代	160	81.3	1.9	15.6	1.3	83.8	1.9	12.5	1.9
	60 歳代	148	70.9	6.8	21.6	0.7	78.4	3.4	17.6	0.7
	70 歳以上	259	63.3	6.9	23.2	6.6	60.2	6.2	26.3	7.3

		回答者数	(3) 結婚問題で周囲の人が反対すること				(4) 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	62.6	7.5	27.7	2.3	46.8	15.2	35.8	2.3
性別	女性	556	61.2	5.8	30.8	2.3	48.2	11.7	37.9	2.2
	男性	404	64.4	10.1	23.5	2.0	44.3	20.5	33.2	2.0
年齢別	18～19 歳	17	76.5	0.0	23.5	0.0	70.6	5.9	23.5	0.0
	20 歳代	95	78.9	5.3	15.8	0.0	60.0	12.6	27.4	0.0
	30 歳代	126	69.0	4.8	23.8	2.4	47.6	16.7	33.3	2.4
	40 歳代	168	58.9	6.5	33.3	1.2	43.5	14.9	41.1	0.6
	50 歳代	160	65.0	6.9	27.5	0.6	45.0	19.4	35.0	0.6
	60 歳代	148	58.8	12.2	27.7	1.4	48.0	18.2	33.1	0.7
	70 歳以上	259	56.0	8.5	30.5	5.0	42.9	12.0	39.4	5.8

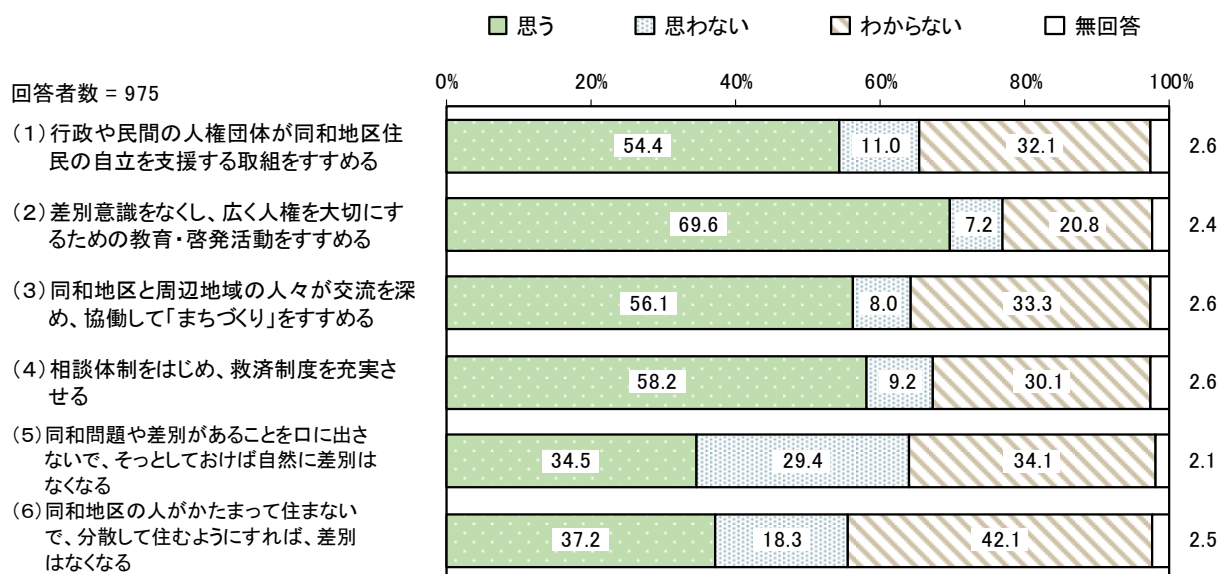
単位：％

		回答者数	(５) 差別的な落書や言動があること				(６) 身元調査をすること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	78.5	2.7	16.6	2.3	57.7	12.4	27.4	2.5
性別	女性	556	79.1	1.8	16.9	2.2	57.9	9.2	30.4	2.5
	男性	404	77.7	4.0	16.3	2.0	57.7	17.1	23.0	2.2
年齢別	18～19 歳	17	88.2	0.0	11.8	0.0	70.6	11.8	17.6	0.0
	20 歳代	95	89.5	2.1	8.4	0.0	70.5	12.6	16.8	0.0
	30 歳代	126	85.7	0.8	11.9	1.6	58.7	12.7	25.4	3.2
	40 歳代	168	83.9	1.8	13.1	1.2	54.2	13.7	31.5	0.6
	50 歳代	160	85.6	1.3	12.5	0.6	62.5	13.1	23.8	0.6
	60 歳代	148	79.7	3.4	16.2	0.7	56.8	11.5	30.4	1.4
	70 歳以上	259	61.8	5.0	27.4	5.8	52.1	11.6	30.5	5.8

問 22 部落差別（同和問題）を解決するために、以下のことが必要、あるいは以下の意見は正しいと思いますか。（それぞれあてはまるもの１つに○）

「思う」の割合は、『（２）差別意識をなくし、広く人権を大切にするための教育・啓発活動をすすめる』で 69.6％と最も高く、次いで『（４）相談体制をはじめ、救済制度を充実させる』で 58.2％となっています。

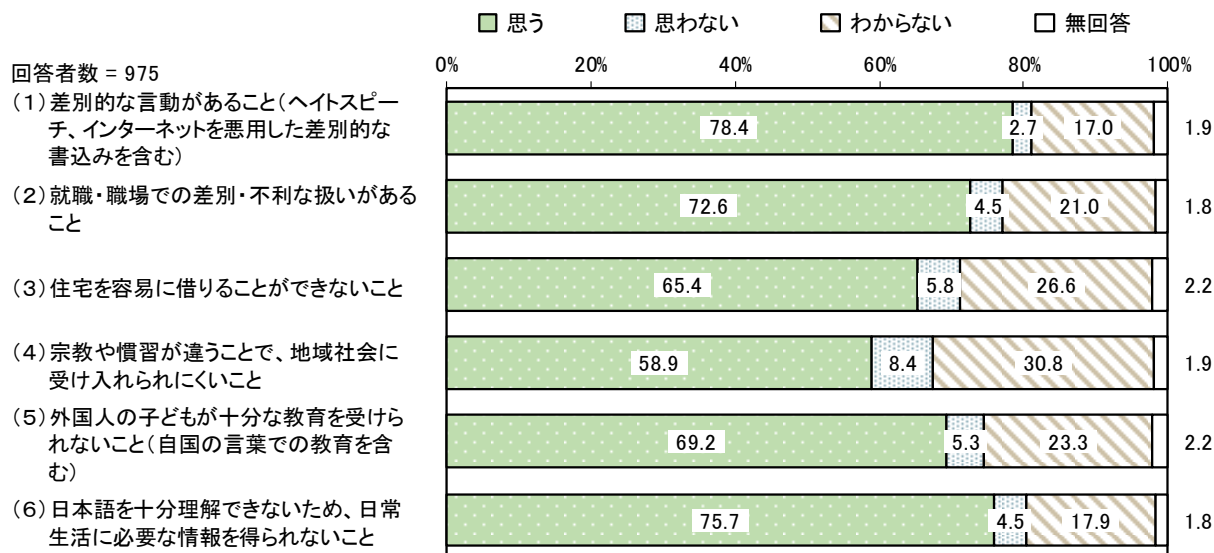
一方、「思わない」の割合は『（５）同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる』で 29.4％と最も高く、次いで『（６）同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる』で 18.3％となっています。



(6) 外国人の人権について

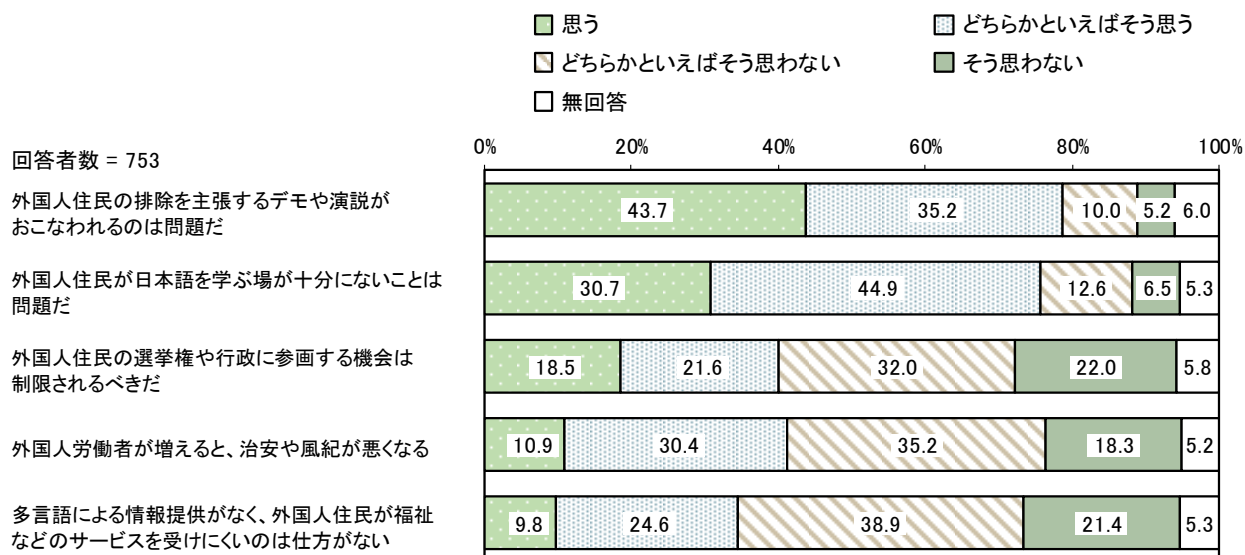
問 23 外国人の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(1) 差別的な言動があること(ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む)』で78.4%と最も高く、次いで『(6) 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと』で75.7%となっています。



【参考】平成26年度調査

さまざまな人権問題に関して、次のような意見があります。(1)～(25)のすべてのことについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(1) 差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む）』では、30 歳代、40 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

『(2) 就職・職場での差別・不利な扱いがあること』では、20 歳代、30 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

『(3) 住宅を容易に借りることができないこと』、『(4) 宗教や慣習が違ふことで、地域社会に受け入れられにくいこと』、『(5) 外国人の子どもが十分な教育を受けられないこと（自国の言葉での教育を含む）』では、18～19 歳、20 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

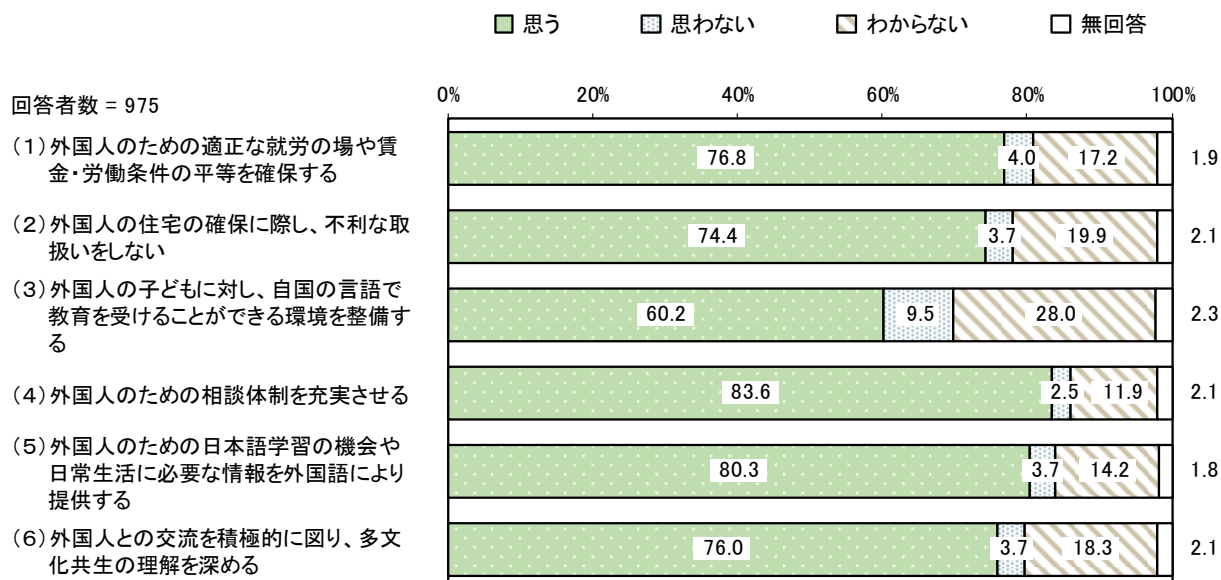
		回答者数	(1) 差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む）				(2) 就職・職場での差別・不利な扱いがあること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	78.4	2.7	17.0	1.9	72.6	4.5	21.0	1.8
性別	女性	556	79.3	0.9	18.0	1.8	74.8	2.7	21.0	1.4
	男性	404	78.0	5.0	15.3	1.7	70.3	7.2	20.5	2.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	82.4	0.0	17.6	0.0
	20 歳代	95	87.4	3.2	9.5	0.0	88.4	3.2	7.4	1.1
	30 歳代	126	91.3	0.8	6.3	1.6	88.1	1.6	8.7	1.6
	40 歳代	168	89.3	4.2	6.5	0.0	78.0	7.1	14.3	0.6
	50 歳代	160	83.1	1.3	13.8	1.9	78.8	3.1	16.9	1.3
	60 歳代	148	70.3	5.4	24.3	0.0	64.2	8.8	27.0	0.0
	70 歳以上	259	63.7	1.5	29.7	5.0	56.8	3.5	35.5	4.2
		回答者数	(3) 住宅を容易に借りることができないこと				(4) 宗教や慣習が違ふことで、地域社会に受け入れられにくいこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	65.4	5.8	26.6	2.2	58.9	8.4	30.8	1.9
性別	女性	556	67.4	4.1	26.8	1.6	59.5	5.4	33.6	1.4
	男性	404	63.6	8.4	25.7	2.2	58.9	12.9	26.2	2.0
年齢別	18～19 歳	17	82.4	0.0	17.6	0.0	70.6	5.9	23.5	0.0
	20 歳代	95	80.0	8.4	11.6	0.0	75.8	10.5	13.7	0.0
	30 歳代	126	73.8	4.8	19.8	1.6	68.3	5.6	24.6	1.6
	40 歳代	168	67.3	6.5	25.0	1.2	61.3	6.5	32.1	0.0
	50 歳代	160	69.4	3.8	25.6	1.3	64.4	5.6	28.8	1.3
	60 歳代	148	60.8	6.8	31.8	0.7	55.4	9.5	35.1	0.0
	70 歳以上	259	54.4	6.2	34.4	5.0	44.8	11.6	38.2	5.4

単位：％

		回答者数	(5) 外国人の子どもが十分な教育を受けられないこと（自国の言葉での教育を含む）				(6) 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	69.2	5.3	23.3	2.2	75.7	4.5	17.9	1.8
性別	女性	556	70.1	2.5	25.5	1.8	79.1	2.3	17.3	1.3
	男性	404	68.8	9.4	19.8	2.0	72.0	7.7	18.1	2.2
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	82.4	0.0	11.8	5.9
	20 歳代	95	84.2	2.1	13.7	0.0	78.9	7.4	12.6	1.1
	30 歳代	126	78.6	1.6	17.5	2.4	81.7	3.2	13.5	1.6
	40 歳代	168	72.6	7.7	19.6	0.0	77.4	6.0	16.1	0.6
	50 歳代	160	78.8	3.1	16.3	1.9	82.5	2.5	13.8	1.3
	60 歳代	148	60.8	7.4	31.8	0.0	74.3	4.1	21.6	0.0
	70 歳以上	259	55.6	6.9	32.0	5.4	66.8	5.0	24.3	3.9

問 24 外国人の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの 1 つに○）

「思う」の割合は『（４）外国人のための相談体制を充実させる』で 83.6％と最も高く、次いで『（５）外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する』で 80.3％となっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(3) 外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する』では、18～19 歳、20 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 外国人のための適正な就労の場 や賃金・労働条件の平等を確保する				(2) 外国人の住宅の確保に際し、不利な取扱いをしない			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	76.8	4.0	17.2	1.9	74.4	3.7	19.9	2.1
性別	女性	556	79.0	2.5	16.7	1.8	78.4	2.2	17.8	1.6
	男性	404	75.0	6.2	17.1	1.7	70.3	5.9	21.8	2.0
年齢別	18～19 歳	17	76.5	5.9	17.6	0.0	82.4	0.0	17.6	0.0
	20 歳代	95	83.2	7.4	9.5	0.0	81.1	7.4	11.6	0.0
	30 歳代	126	80.2	1.6	16.7	1.6	77.0	2.4	19.0	1.6
	40 歳代	168	76.2	5.4	18.5	0.0	76.8	4.8	17.9	0.6
	50 歳代	160	81.9	3.8	13.1	1.3	77.5	2.5	18.8	1.3
	60 歳代	148	75.0	2.7	22.3	0.0	72.3	2.7	25.0	0.0
	70 歳以上	259	71.8	3.9	18.9	5.4	68.3	3.9	22.4	5.4

		回答者数	(3) 外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する				(4) 外国人のための相談体制を充実させる			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	60.2	9.5	28.0	2.3	83.6	2.5	11.9	2.1
性別	女性	556	63.8	5.8	28.2	2.2	83.6	1.6	12.9	1.8
	男性	404	56.4	14.9	27.0	1.7	84.9	3.7	9.7	1.7
年齢別	18～19 歳	17	76.5	0.0	23.5	0.0	82.4	0.0	17.6	0.0
	20 歳代	95	74.7	9.5	15.8	0.0	88.4	2.1	8.4	1.1
	30 歳代	126	69.0	8.7	20.6	1.6	88.1	0.0	10.3	1.6
	40 歳代	168	61.9	10.7	27.4	0.0	88.7	3.6	7.7	0.0
	50 歳代	160	57.5	8.8	32.5	1.3	87.5	3.1	7.5	1.9
	60 歳代	148	56.1	10.1	33.8	0.0	81.8	2.7	15.5	0.0
	70 歳以上	259	52.9	10.0	30.5	6.6	75.7	2.7	16.6	5.0

単位：％

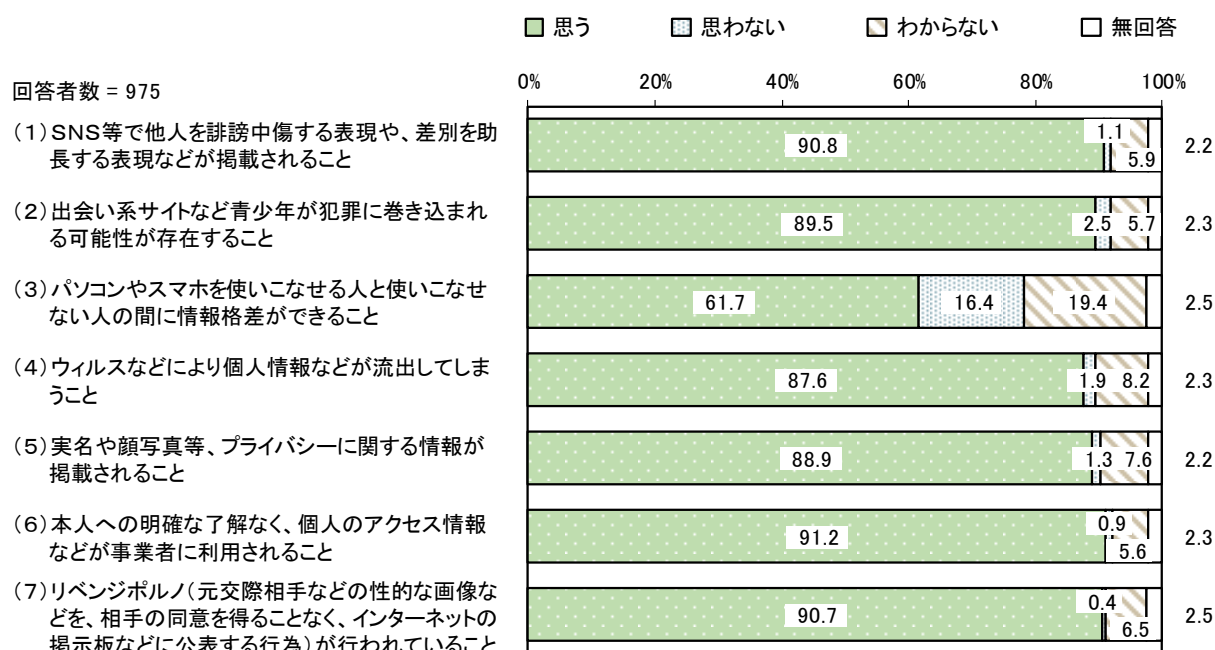
		回答者数	(５) 外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する				(６) 外国人との交流を積極的に図り、多文化共生の理解を深める			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	80.3	3.7	14.2	1.8	76.0	3.7	18.3	2.1
性別	女性	556	81.7	2.5	14.2	1.6	77.2	2.0	19.1	1.8
	男性	404	80.0	5.4	12.9	1.7	75.5	6.2	16.3	2.0
年齢別	18～19 歳	17	88.2	0.0	11.8	0.0	76.5	0.0	23.5	0.0
	20 歳代	95	88.4	1.1	10.5	0.0	85.3	3.2	11.6	0.0
	30 歳代	126	85.7	0.8	11.9	1.6	80.2	3.2	15.1	1.6
	40 歳代	168	85.7	5.4	8.9	0.0	80.4	5.4	13.1	1.2
	50 歳代	160	80.0	5.0	13.8	1.3	82.5	1.9	14.4	1.3
	60 歳代	148	76.4	3.4	20.3	0.0	71.6	4.7	23.0	0.7
	70 歳以上	259	73.4	4.6	17.0	5.0	66.4	3.9	25.1	4.6

(7) インターネットにおける人権について

問 25 インターネットにおける人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は『(6) 本人への明確な了解なく、個人のアクセス情報などが事業者を利用されること』で91.2%と最も高く、次いで『(1) SNS等で他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現などが掲載されること』で90.8%となっています。

一方、「思わない」の割合は『(3) パソコンやスマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間に情報格差ができること』で16.4%と最も高くなっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(2) 出会い系サイトなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること』では、18～19歳で「思う」の割合が低くなっています。

『(4) ウィルスなどにより個人情報などが流出してしまうこと』、『(5) 実名や顔写真等、プライバシーに関する情報が掲載されること』、『(7) リベンジポルノ（元交際相手などの性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為）が行われていること』では、70歳以上で「思う」の割合が低くなっています。

単位：％

		回答者数	(１) SNS等で他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現などが掲載されること				(２) 出会い系サイトなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	90.8	1.1	5.9	2.2	89.5	2.5	5.7	2.3
性別	女性	556	91.9	0.0	6.3	1.8	90.6	1.4	5.9	2.0
	男性	404	89.9	2.7	5.2	2.2	88.9	4.0	5.2	2.0
年齢別	18～19 歳	17	94.1	0.0	5.9	0.0	70.6	23.5	5.9	0.0
	20 歳代	95	92.6	4.2	3.2	0.0	87.4	6.3	6.3	0.0
	30 歳代	126	96.0	0.8	1.6	1.6	93.7	3.2	1.6	1.6
	40 歳代	168	93.5	1.2	5.4	0.0	92.9	3.0	4.2	0.0
	50 歳代	160	96.9	0.0	1.9	1.3	97.5	0.0	1.3	1.3
	60 歳代	148	90.5	0.0	8.1	1.4	93.9	0.7	5.4	0.0
	70 歳以上	259	82.2	1.5	10.8	5.4	80.3	1.5	11.6	6.6

		回答者数	(３) パソコンやスマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間に情報格差ができること				(４) ウィルスなどにより個人情報などが流出してしまうこと			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	61.7	16.4	19.4	2.5	87.6	1.9	8.2	2.3
性別	女性	556	66.7	10.1	21.0	2.2	89.2	0.5	8.5	1.8
	男性	404	55.0	25.5	17.3	2.2	86.4	3.7	7.7	2.2
年齢別	18～19 歳	17	52.9	11.8	35.3	0.0	88.2	5.9	5.9	0.0
	20 歳代	95	62.1	21.1	15.8	1.1	96.8	0.0	3.2	0.0
	30 歳代	126	58.7	20.6	19.0	1.6	93.7	1.6	3.2	1.6
	40 歳代	168	57.1	21.4	21.4	0.0	93.5	3.0	3.6	0.0
	50 歳代	160	70.6	13.1	14.4	1.9	95.6	0.0	3.1	1.3
	60 歳代	148	64.2	17.6	18.2	0.0	88.5	2.7	8.8	0.0
	70 歳以上	259	59.8	11.2	22.4	6.6	72.2	2.7	18.5	6.6

単位：％

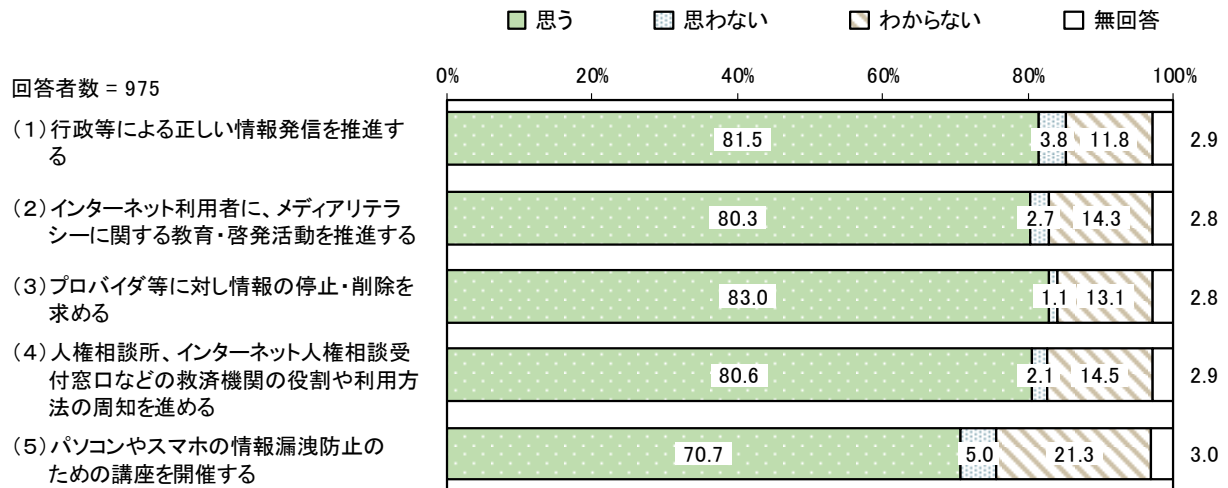
		回答者数	(5) 実名や顔写真等、プライバシーに関する情報が掲載されること				(6) 本人への明確な了解なく、個人のアクセス情報などが事業者に利用されること			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	88.9	1.3	7.6	2.2	91.2	0.9	5.6	2.3
性別	女性	556	90.1	0.2	8.1	1.6	91.9	0.2	6.1	1.8
	男性	404	88.1	3.0	6.7	2.2	91.1	2.0	4.7	2.2
年齢別	18～19 歳	17	94.1	0.0	5.9	0.0	94.1	0.0	5.9	0.0
	20 歳代	95	91.6	1.1	7.4	0.0	96.8	0.0	3.2	0.0
	30 歳代	126	94.4	0.8	3.2	1.6	94.4	0.8	3.2	1.6
	40 歳代	168	94.0	1.8	4.2	0.0	94.6	1.2	4.2	0.0
	50 歳代	160	95.0	0.6	3.1	1.3	97.5	0.6	0.6	1.3
	60 歳代	148	89.9	1.4	8.8	0.0	91.2	2.0	6.8	0.0
	70 歳以上	259	77.6	1.9	14.3	6.2	81.5	0.8	11.2	6.6

単位：％

		回答者数	(7) リベンジポルノ			
			思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	90.7	0.4	6.5	2.5
性別	女性	556	91.9	0.0	6.1	2.0
	男性	404	89.9	1.0	6.7	2.5
年齢別	18～19 歳	17	88.2	0.0	11.8	0.0
	20 歳代	95	94.7	1.1	4.2	0.0
	30 歳代	126	95.2	0.8	2.4	1.6
	40 歳代	168	94.6	0.0	4.8	0.6
	50 歳代	160	97.5	0.6	0.6	1.3
	60 歳代	148	92.6	0.0	6.8	0.7
	70 歳以上	259	79.5	0.4	13.5	6.6

問 26 インターネットによる人権侵害を解決するために、以下のことが必要だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は『（３）プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める』で83.0%と最も高く、次いで『（１）行政等による正しい情報発信を推進する』で81.5%となっています。



【性別・年齢別集計】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、『(2) インターネット利用者に、メディアリテラシーに関する教育・啓発活動を推進する』では、70 歳以上で「思う」の割合が低くなっています。

『(3) プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める』、『(4) 人権相談所、インターネット人権相談受付窓口などの救済機関の役割や利用方法の周知を進める』では、18～19 歳、70 歳以上で「思う」の割合が低くなっています。

『(5) パソコンやスマホの情報漏洩防止のための講座を開催する』では、20 歳代、30 歳代で「思う」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数	(1) 行政等による正しい情報発信を推進する				(2) インターネット利用者に、メディアリテラシーに関する教育・啓発活動を推進する			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	81.5	3.8	11.8	2.9	80.3	2.7	14.3	2.8
性別	女性	556	83.3	1.3	13.1	2.3	80.9	1.3	15.3	2.5
	男性	404	81.2	6.9	8.9	3.0	80.9	4.5	12.1	2.5
年齢別	18～19 歳	17	82.4	5.9	11.8	0.0	88.2	5.9	5.9	0.0
	20 歳代	95	89.5	5.3	5.3	0.0	89.5	4.2	6.3	0.0
	30 歳代	126	86.5	2.4	7.9	3.2	89.7	1.6	7.1	1.6
	40 歳代	168	85.7	5.4	8.3	0.6	85.7	3.0	10.7	0.6
	50 歳代	160	81.9	4.4	12.5	1.3	88.1	1.3	9.4	1.3
	60 歳代	148	81.8	3.4	14.2	0.7	79.1	3.4	16.9	0.7
	70 歳以上	259	73.7	2.7	16.2	7.3	64.5	2.7	25.1	7.7

単位：％

		回答者数	(３) プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める				(４) 人権相談所、インターネット人権相談受付窓口などの救済機関の役割や利用方法の周知を進める			
			思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	83.0	1.1	13.1	2.8	80.6	2.1	14.5	2.9
性別	女性	556	83.3	0.4	14.0	2.3	80.9	0.7	15.6	2.7
	男性	404	84.2	2.0	11.1	2.7	81.9	3.7	11.9	2.5
年齢別	18～19 歳	17	64.7	5.9	29.4	0.0	70.6	11.8	17.6	0.0
	20 歳代	95	87.4	2.1	10.5	0.0	88.4	5.3	6.3	0.0
	30 歳代	126	88.1	0.0	10.3	1.6	88.1	0.8	9.5	1.6
	40 歳代	168	88.1	1.2	10.1	0.6	84.5	3.0	11.3	1.2
	50 歳代	160	90.6	0.6	7.5	1.3	84.4	0.6	13.8	1.3
	60 歳代	148	85.8	0.7	13.5	0.0	81.1	2.0	16.9	0.0
	70 歳以上	259	70.7	1.5	19.7	8.1	70.3	1.2	20.5	8.1

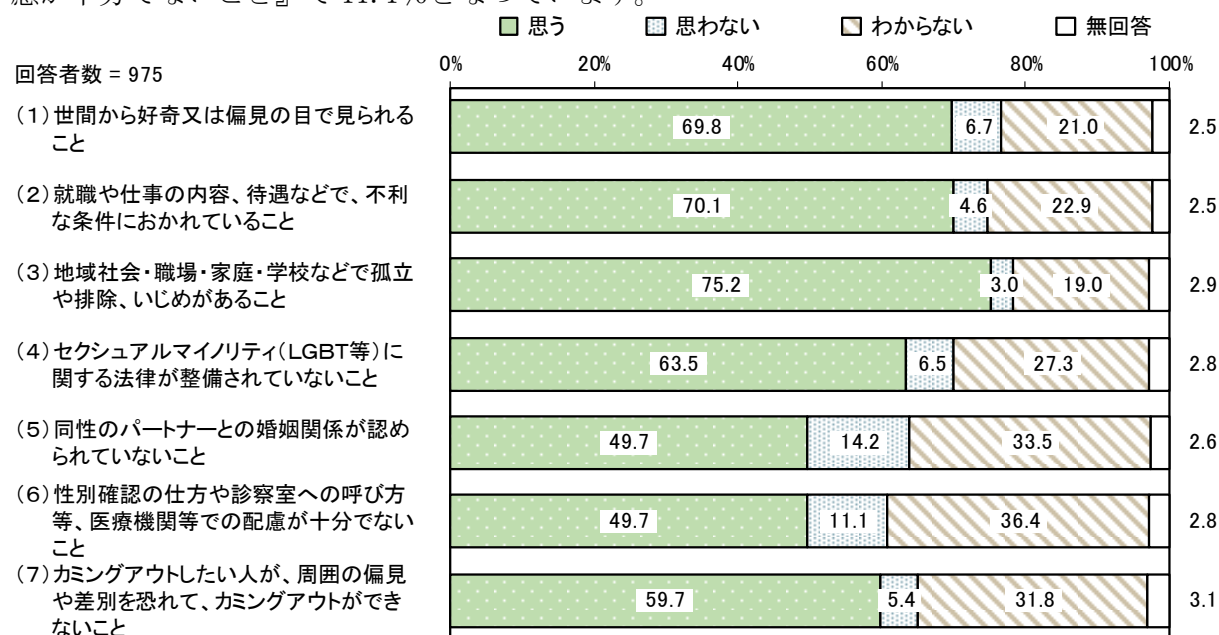
		回答者数	(５) パソコンやスマホの情報漏洩防止のための講座を開催する			
			思う	思わない	わからない	無回答
全 体		975	70.7	5.0	21.3	3.0
性別	女性	556	71.0	2.2	24.1	2.7
	男性	404	71.3	8.9	17.1	2.7
年齢別	18～19 歳	17	70.6	11.8	17.6	0.0
	20 歳代	95	85.3	4.2	10.5	0.0
	30 歳代	126	81.0	4.0	13.5	1.6
	40 歳代	168	69.0	8.9	21.4	0.6
	50 歳代	160	74.4	5.0	18.8	1.9
	60 歳代	148	69.6	5.4	25.0	0.0
	70 歳以上	259	59.8	2.7	29.0	8.5

(8) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について

問 27 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

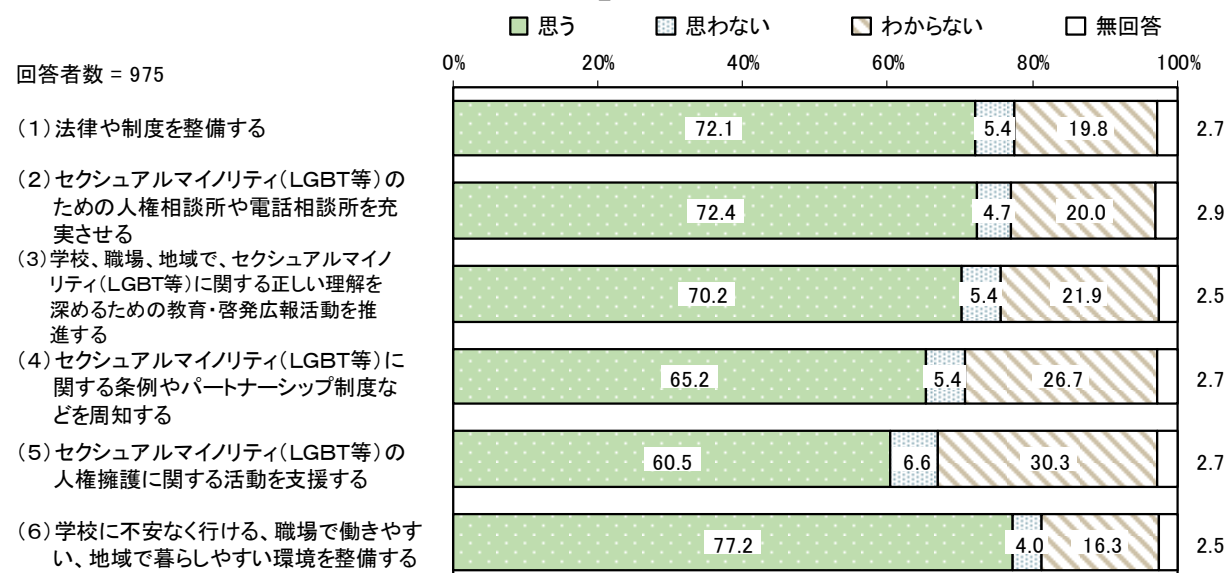
「思う」の割合は『(3) 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること』で 75.2%と最も高く、次いで『(2) 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること』で 70.1%となっています。

一方、「思わない」の割合は『(5) 同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと』で 14.2%と最も高く、次いで『(6) 性別確認の仕方や診察室への呼び方等、医療機関等での配慮が十分でないこと』で 11.1%となっています。



問 28 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

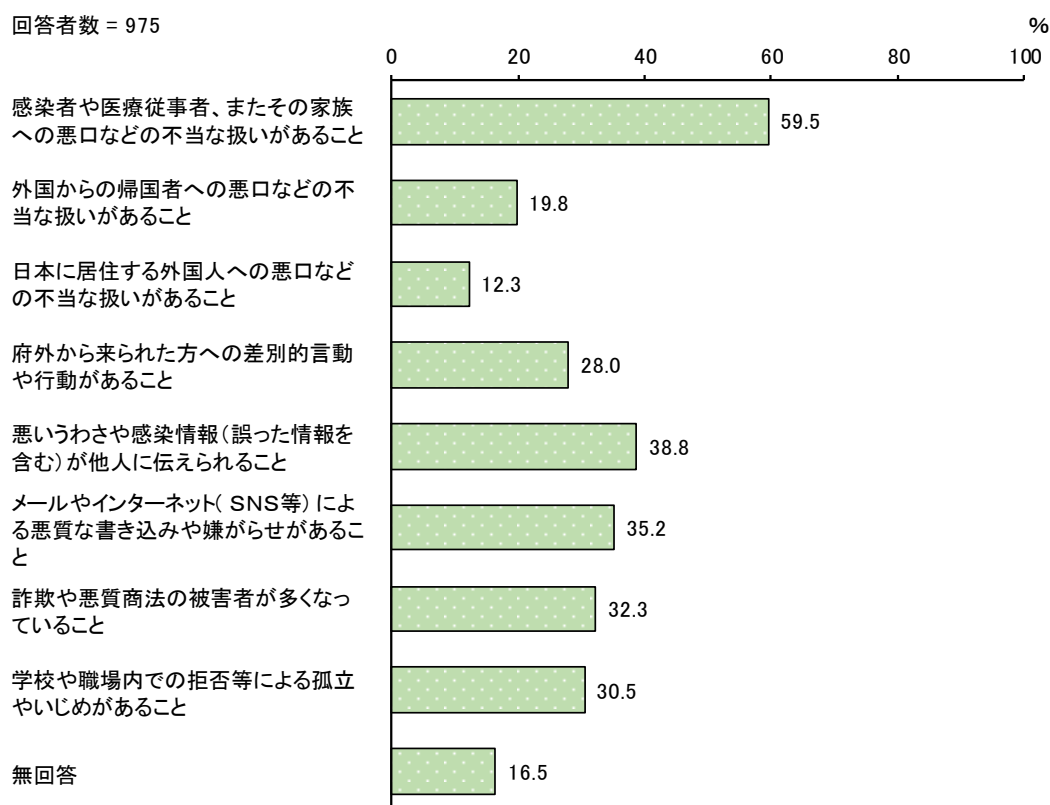
「思う」の割合は『(6) 学校に不安なく行ける、職場で働きやすい、地域で暮らしやすい環境を整備する』で 77.2%と最も高く、次いで『(2) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）のための人権相談所や電話相談所を充実させる』で 72.4%となっています。



(9) さまざまな人権問題について

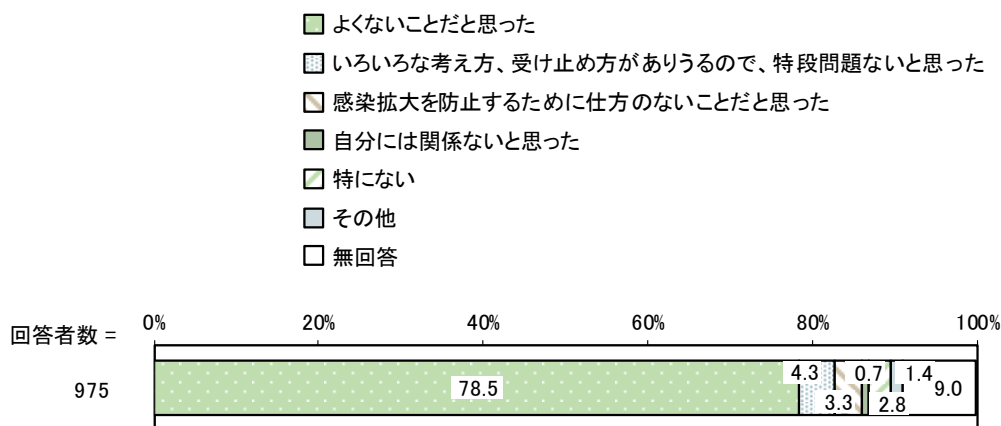
問 29 新型コロナウイルス感染症に関し、以下のようなことを見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

「感染者や医療従事者、またその家族への悪口などの不当な扱いがあること」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「悪い噂や感染情報(誤った情報を含む)が他人に伝えられること」の割合が 38.8%、「メールやインターネット(SNS等)による悪質な書き込みや嫌がらせがあること」の割合が 35.2%となっています。



問 30 問 29 のような状況についてどのように思いましたか。(あてはまるもの 1 つに〇)

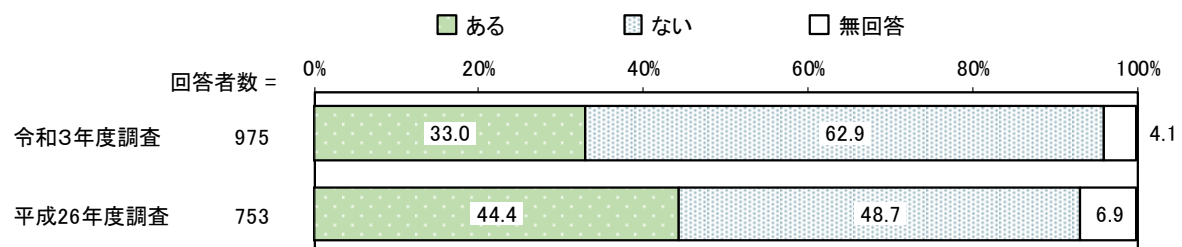
「よくないことだと思った」の割合が 78.5%と最も高くなっています。



その他意見の要約	件数
その様な行動をする心ない人への不快感	3
そもそも国が悪い	2
見聞きしたことありません	2
不安な中で安心を得られるようにもっと情報を伝えるべきであった	1
興味本位で悪意のある情報が広まるのは問題だと思います	1
皆が怖がっていることがよくわかった	1

問 31 あなたは、貧困や差別を是正したり、平等を実現するための特別な措置がやりすぎであるとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

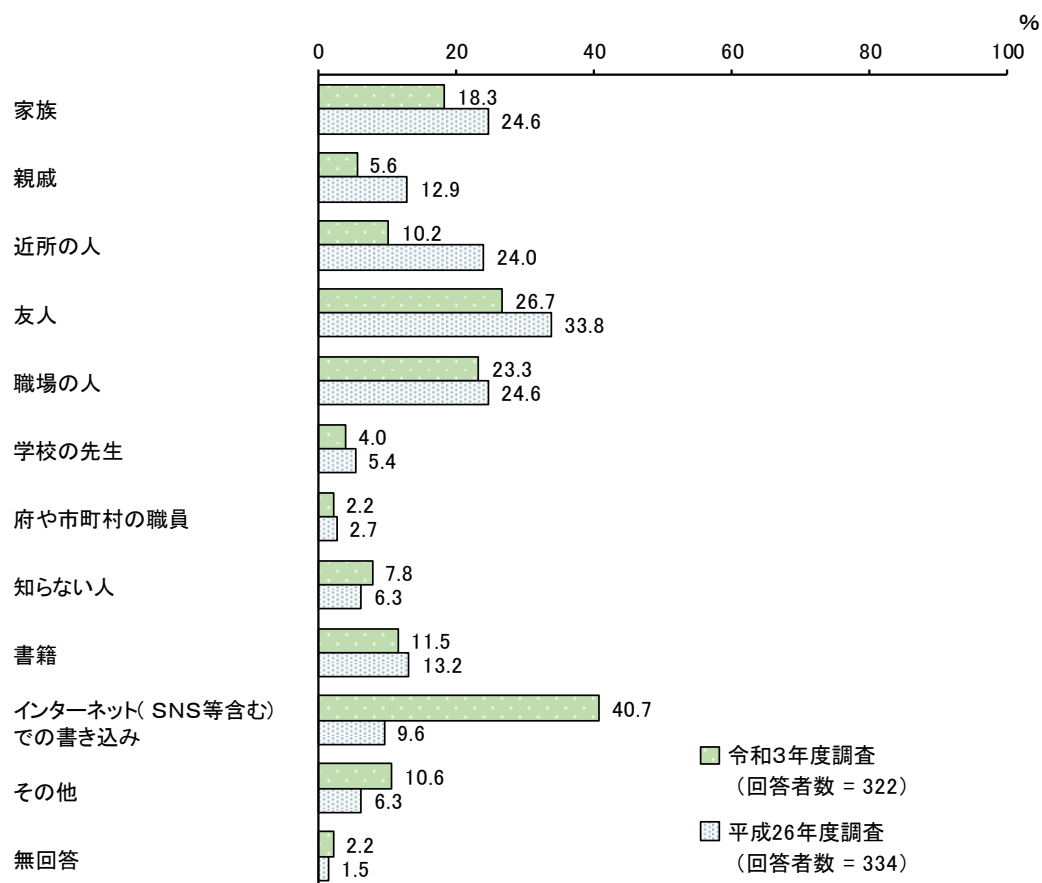
「ある」の割合が 33.0%、「ない」の割合が 62.9%となっています。



※平成 26 年度調査は、同和対策についての質問です。

問 31-1 問 31 で「ある」と答えた方にお聞きします。
それは誰からですか。（〇はいくつでも）

「インターネット（SNS等含む）での書き込み」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が 26.7%、「職場の人」の割合が 23.3%となっています。

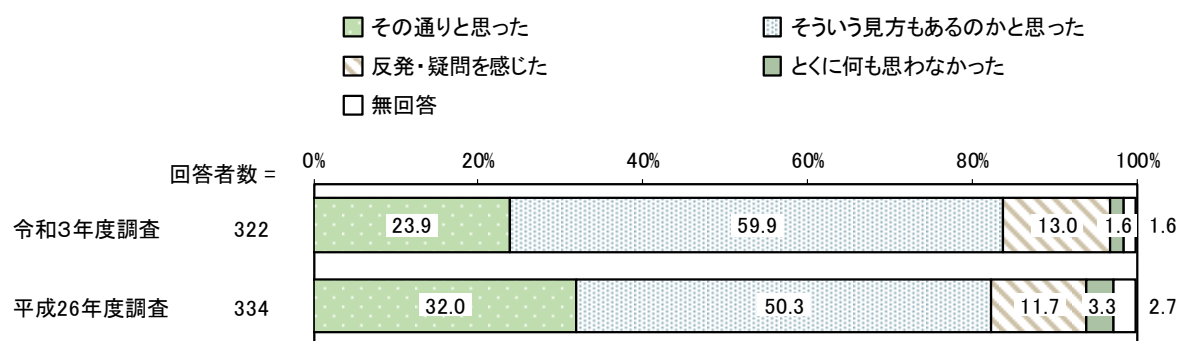


※平成 26 年度調査は、同和対策についての質問です。

その他意見の要約	件数
テレビ	15
新聞	3
自分自身	3
学校のホームルーム	2
政治家	1
色々な情報を総合して判断	1

問 31-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

「反発・疑問を感じた」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「その通りと思った」の割合が 23.9%、「そういう見方もあるのかと思った」の割合が 13.0%となっています。

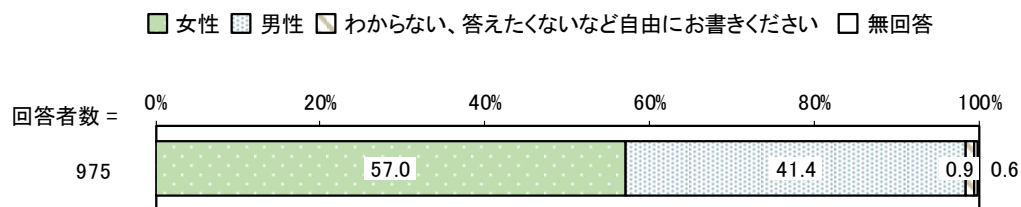


※平成 26 年度調査は、同和対策についての質問です。

3 回答者属性

問 32 あなたの自認する性をお答えください。

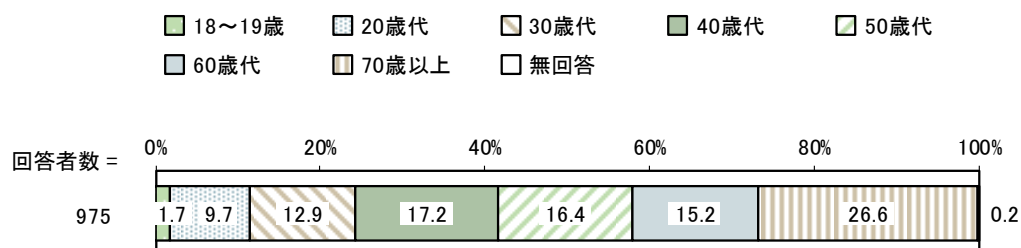
「女性」の割合が 57.0%、「男性」の割合が 41.4%となっています。



その他意見の要約		件数
性差別		2
答えたくない		1

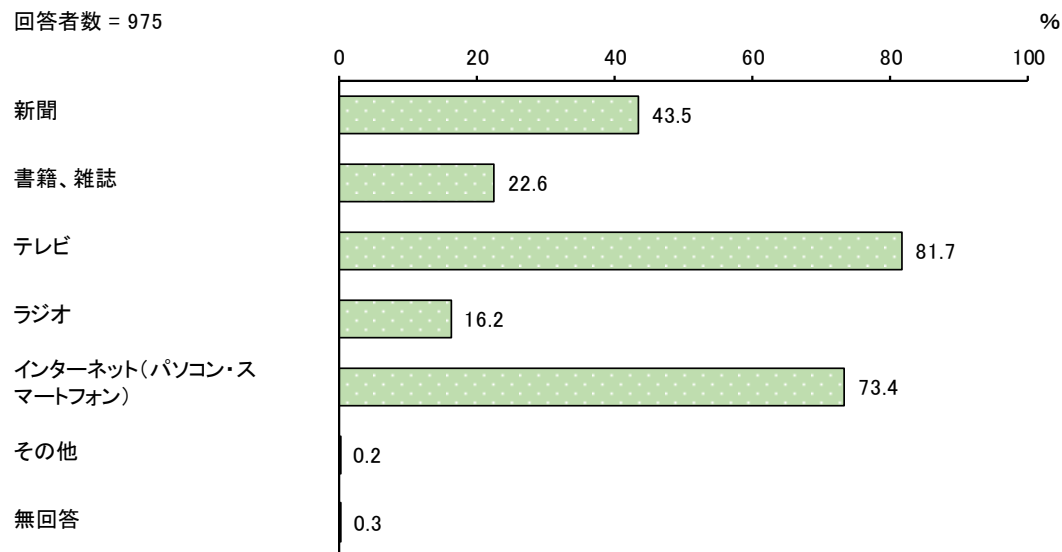
問 33 あなたの年齢をお答えください。

「70 歳以上」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「40 歳代」の割合が 17.2%、「50 歳代」の割合が 16.4%となっています。



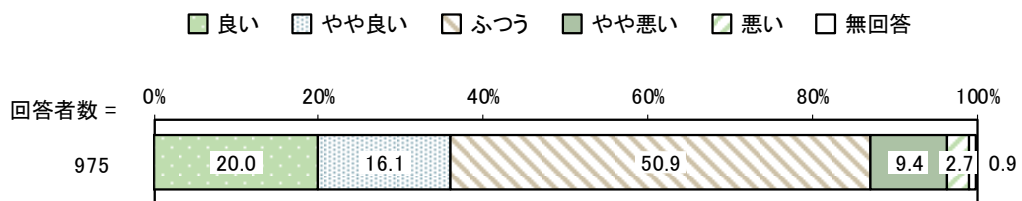
問 34 あなたが日常的に利用する主なメディアはどれですか。(〇はいくつでも)

「テレビ」の割合が 81.7%と最も高く、次いで「インターネット(パソコン・スマートフォン)」の割合が 73.4%、「新聞」の割合が 43.5%となっています。



問 35 あなたの現在の暮らし向きはどれにあてはまりますか。
(あてはまるもの 1 つに〇)

「良い」と「やや良い」をあわせた“良い”の割合が 36.1%、「ふつう」の割合が 50.9%、「やや悪い」と「悪い」をあわせた“悪い”の割合が 12.1%となっています。



4 自由記載

問 36 あなたが関心を持っている人権問題の解決に向けて、やってみたいことや、できそうなことがあれば、ご自由にお書きください。

	分類回答	件数
1	女性の人権問題	17
2	子どもの人権問題	17
3	高齢者の人権問題	5
4	障害者の人権問題	8
5	部落差別（同和問題）	13
6	外国人の人権問題	9
7	インターネットによる人権侵害	2
8	セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権問題	4
9	セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの人権問題	1
10	新型コロナウイルスに関わる偏見	1
11	犯罪被害者等の人権問題	1
12	ホームレスの人権問題	1
13	こころの病（うつ病、依存症など）の人権問題	1
14	人権教育・人権啓発について	18
15	アンケートについて	9
16	その他	68
	合計	175

III 資料（調査票）

茨木市人権問題に関する 市民意識調査
ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
茨木市では、平成 29 年に「第 2 次茨木市人権施策推進計画」を策定し、これに基づき、人権施策の推進に取り組んでまいりました。令和 3 年度が計画の中間年度となることから、社会情勢の変化や、人権をとりまく環境の変化に対応していくため、計画全般の見直しを行い、より効果的な人権施策の推進に取り組んでいきたいと考えております。
つきましては、本市にお住いの皆様の人権問題に関するご意見・お考えをお尋ねし、計画の中間見直しの基礎資料として活用したいと考えております。
この調査では、本市在住の 18 歳以上の方の中から無作為に 2,000 人を選ばせていただきました。調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することはございません。
お忙しいところをお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和 3 年 11 月

茨木市長 福岡 洋一

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・質問には、必ず封筒のあて名のご本人がお答えください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を () 内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月22日(月)までに郵送していただきますようお願いいたします。(切手は不要です)

◇インターネットによる回答 (パソコン、スマートフォンからご回答いただけます。)

URL : [https://logoform.jp/form/200q/31248?i\[76:number\]=2000](https://logoform.jp/form/200q/31248?i[76:number]=2000)
入力期限 : 令和 3 年 11 月 22 日 (月)



インターネットで回答された場合は、調査票の送付は不要です。

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

◇If you have any questions about the survey, please contact us at the following.

◇如果您对调查有任何疑问, 请通过以下方式与我们联系。

茨木市役所 市民文化部 人権・男女共生課
(Human Rights and Gender Equality Division)
TEL 072-620-1640・FAX 072-620-1725・E-mail jinken@city.ibaraki.lg.jp

1 人権問題や差別についての考え方についてお聞きします

問 1 あなたは、以下のことについて、人権上どの程度問題があると思いますか。
(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

	1 問題 あり	2 問題 あり か い ま は	3 問 題 な し か い ま は	4 問 題 な し
(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること	1	2	3	4
(2) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと	1	2	3	4
(3) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰が必要だと考えること	1	2	3	4
(4) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰が必要だと考えること	1	2	3	4
(5) 高齢者であることを理由に、入居を拒否すること	1	2	3	4
(6) 障害者であることを理由に、入居を拒否すること	1	2	3	4
(7) 地域住民が特別養護老人ホームや障害者施設などの福祉施設の建設に反対すること	1	2	3	4
(8) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと	1	2	3	4
(9) 外国人であることを理由に、入居を拒否すること	1	2	3	4
(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること	1	2	3	4
(11) 犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること	1	2	3	4
(12) プライベートな写真や情報をインターネット上で誰もが見ることができる状態になってしまうこと	1	2	3	4
(13) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること	1	2	3	4
(14) インターネット上のフェイク (偽) ニュースによって、被害にあうこと	1	2	3	4
(15) ホテルや旅館がハンセン病 [※] 回復者などの宿泊を断ること	1	2	3	4
(16) ネットや引きこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること	1	2	3	4
(17) 野営生活者 (ホームレス) が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること	1	2	3	4
(18) 新型コロナウイルス感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断ること	1	2	3	4

※ハンセン病：「らい菌」によって引き起こされる感染症。現在は後遺症を残さず治る病気。

問2 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1	2	3	4	5
	そう思う	そう思う くらい	そう思う くらい	そう思う くらい	全然 思わない
(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない	1	2	3	4	5
(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	1	2	3	4	5
(3) 差別問題に関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5
(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	1	2	3	4	5
(7) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ	1	2	3	4	5
(8) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5

問3 あなたは、以下の人権問題の内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。(A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○)

	A. 認知度					B. 関心度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	知っている 内容まで	知っている 内容まで	知らない 内容まで	知らない 内容まで	全く 知らない	非常に ある	ある くらい	ある くらい	ない くらい	全く ない
(1) 女性の人権問題 (例：性別役割分担意識、DV)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(2) 子どもの人権問題 (例：いじめ、虐待)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(3) 高齢者の人権問題 (例：介護放棄、虐待)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(4) 障害者の人権問題 (例：就労での不当な扱い)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(5) 部落差別 (同和問題) (例：結婚などでの周囲の反対等)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(6) 外国人の人権問題 (例：入居拒否、就労問題)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(7) インターネットによる人権侵害 (例：誹謗中傷、差別的助長)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(8) セクシュアルマイノリティ (LGBT等)の人権問題 (例：同性パートナーとの入居拒否)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(9) HIV感染者、ハンセン病回復者等 の人権問題 (例：日常生活での不当な扱い)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(10) 刑を終えて出所した人の人権問題 (例：就労問題、住居の確保の困難)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(11) 犯罪被害者等の人権問題 (例：プライバイシーの侵害)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(12) ホームレスの人権問題 (例：嫌がらせ、暴力)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(13) こころの病 (うつ病、依存症など) の人権問題 (例：無理解による偏見、 プライバイシーの侵害)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(14) セクシュアル・ハラスメント、 パワー・ハラスメントの人権問題	1	2	3	1	2	3	4	5		
(15) ヘイトスピーチによる人権問題 (特定の人種や民族の人々を排斥 する不当な差別的言動)	1	2	3	1	2	3	4	5		
(16) 新型コロナウイルスに関する偏見 や差別、自粛に伴う人権問題 (例：日常生活での不当な扱い、来店拒否)	1	2	3	1	2	3	4	5		

問4 あなたは、以下の法律や条例、また、人権問題に関する行政の取組や相談窓口を知っていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 知内 つ容 てい るま で	2 ら が聞 ない 内た いこ うが 知 る	3 知 ら な い
(法律・条例)			
(1) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害差別解消法 ^{※1)})	1	2	3
(2) 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の 推進に関する法律 (ハイトスピーチ解消法 ^{※2})	1	2	3
(3) 部落差別の解消の推進に関する法律 (部落差別解消推進法 ^{※3})	1	2	3
(4) 英木市人権尊重のまちづくり条例 ^{※4}	1	2	3
(5) 英木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例 ^{※5}	1	2	3
(行政の取組)			
(1) 広報誌、啓発冊子、教育教材	1	2	3
(2) ホームページによる情報発信	1	2	3
(3) 作文、詩、読書感想文、ポスター等の募集・表彰	1	2	3
(4) 戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人 にお知らせする制度 (本人通知制度)	1	2	3
(5) いのち・愛・ゆめセンター (人権に関する施設)	1	2	3
(相談窓口)			
(1) 法務局による人権相談	1	2	3
(2) 人権擁護委員による人権相談	1	2	3
(3) いのち・愛・ゆめセンターでの人権相談	1	2	3
(4) 英木市人権センターでの人権相談	1	2	3

※1 障害差別解消法：全ての国民が、障害の有無によって分け隔たれることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成28年4月に施行されました。

※2 ハイトスピーチ解消法：ハイトスピーチについて、マスメディアやインターネット等で大きく報道されるなど、社会関心が高まっていたことを受けて、国会において、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律 (平成28年法律第68号)」、いわゆる「ハイトスピーチ解消法」が成立し、平成28年6月に施行されました。ハイトスピーチ解消法は、「本邦外出身者」に対する「不当な差別的言動は許されない」と宣言しています。

※3 部落差別解消推進法：部落問題の解消に向けた取り組みを推進し、その解消のための施策として、国及び地方公共団体の相談体制の充実や教育啓発の推進に努めることを規定を定め、平成28年12月に施行されました。

※4 英木市人権尊重のまちづくり条例：人権尊重のまちづくりに関する施策について、市の責務を明らかにするとともに、人権施策を総合的に推進し、もってすべての人の人権が尊重された、明るいまちづくりに寄与することを目的として、平成10年12月に施行されました。

※5 英木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例：誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりの推進について、基本理念を定め、市、市民及び市民活動団体並びに事業者の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、「共に生きるまちづくり」の実現に寄与することを目的として、平成30年4月(一部令和元年8月)に施行されました。

問5 あなたは、以下の人権問題について、これまでに学校、職場及び地域で学習したことはありますか。(それぞれ○はいくつでも)

	1 学 校	2 職 場	3 地 域	4 な は 経 い っ た り て い な い ・ い
1 女性・男女共同参画	1	2	3	4
2 子ども	1	2	3	4
3 高齢者	1	2	3	4
4 障害者	1	2	3	4
5 部落差別 (同和問題)	1	2	3	4
6 外国人	1	2	3	4
7 HIV感染者・ハンセン病回復者	1	2	3	4
8 セクシュアルマイノリティ (LGBT等)	1	2	3	4
9 インターネットによる人権侵害	1	2	3	4

問6 あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に合っていない、次のような条件の物件の場合、避けることがありますか。 (それぞれあてはまるもの1つに○)

1	2	3	4	5	
避けると思う	どちらかと思う	どちらかと思う	全くない	わからない	
(1) 同和地区※1の地域内である	1	2	3	4	5
(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる	1	2	3	4	5
(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(4) 近隣に外国籍の住民が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(5) 近くに身体障害者の施設や作業所がある	1	2	3	4	5
(6) 近くに知的障害者の施設や作業所がある	1	2	3	4	5
(7) 近くに精神障害者の施設や病院がある	1	2	3	4	5
(8) 近くに韓国・朝鮮学校がある	1	2	3	4	5
(9) 近くに特別養護老人ホームがある	1	2	3	4	5
(10) 近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある	1	2	3	4	5
(11) 近くに少年院がある	1	2	3	4	5
(12) 近くに入国者収容所※2がある	1	2	3	4	5

※1 同和地区：我が国では、同和問題の解決に向け、平成14(2002)年3月に「地域改善対策特定事業」にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取り組みが積極的に進められてきました。その際、取組みを進める対象地域として、法に基づき一定の地域が指定されており、この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、この法律によって指定されている対象地域を示しています。

※2 入国者収容所：主に、出入国管理及び難民認定法（入管法）または関連する法律に違反し、退去強制の手段の対象となった入国者を収容する施設。

問7 問6のような場合に住宅の購入や入居を避けることがあるのはなぜだと思いますか。
(○はいくつでも)

1 次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから
2 生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから
3 治安の問題などで不安があると思うから
4 学力の問題などで、子どもの教育上問題があると思うから
5 自分もその地域の住人と同じだと思うから
6 特に理由はないが、なんとなく
7 わからない
8 その他 ()

問8 あなたが結婚相手を考える際に、気になること(なったこと)はどんなことですか。
あなたご自身の場合とお子さんの結婚の場合とに分け、お答えください
お子さんがいらっしゃる方も、いと想定してお答えください。(○はいくつでも)

【あなたご自身の場合】

1 人柄・性格	10 離婚歴
2 容姿	11 国籍・民族
3 趣味や価値観	12 相手やその家族に障害者がいるかどうか
4 仕事に対する相手の理解と協力	13 相手やその家族の宗教
5 家事や育児の能力や姿勢	14 ひとり親または親がいない家庭かどうか
6 経済力	15 同和地区出身者かどうか
7 学歴	16 その他 ()
8 職業	17 とくに気になる(気になった)ことはない
9 家柄	

【あなたのお子さんの場合】

1 人柄・性格	10 離婚歴
2 容姿	11 国籍・民族
3 趣味や価値観	12 相手やその家族に障害者がいるかどうか
4 仕事に対する相手の理解と協力	13 相手やその家族の宗教
5 家事や育児の能力や姿勢	14 ひとり親または親がいない家庭かどうか
6 経済力	15 同和地区出身者かどうか
7 学歴	16 その他 ()
8 職業	17 とくに気になる(気になった)ことはない
9 家柄	

問9 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこう思うと息をしますか。(あてはまるもの1つに○)

1 差別的な発言があったことを指摘する(と思う)	5 何もせずに黙っている(と思う)
2 差別はいけないことだと何とか伝えようとする(と思う)	6 ほかの人に相談する(と思う)
3 自分も同調してしまう(と思う)	7 わからない
4 ほかの話題に転換しようとする(と思う)	8 その他 ()

問 10 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰に相談をしましたか。(○はいくつでも)

1 親・子ども	7 NPO 法人等民間団体
2 配偶者	8 インターネット (匿名で相談)
3 兄弟姉妹・親戚	9 相談する相手がいらない
4 友人	10 相談できない (理由:)
5 職場の上司や同僚	11 その他 ()
6 公的機関 (法務局・市の人権相談窓口・ケースワーカー・ソーシャルワーカー)	

問 10 で相談した方にお聞きます

問 10-1 選択した相手に相談して、困りごとや悩みは解決しましたか。

1 解決した	3 解決に近づいた
2 解決しなかった	4 聞いてもらえるだけでよかった

問 11 あなたが、日常生活の中で感じている事についてお答えください
(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

1 そう思う	2 そう思うかといえは	3 そう思うかといえは	4 そう思わない	
(1) 自分にはよいところがある	1	2	3	4
(2) 自分自身に満足している	1	2	3	4
(3) 自分は周りの人に大事にされている	1	2	3	4
(4) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
(5) 自分は役に立っていると感じる	1	2	3	4
(6) 人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張する人が多い	1	2	3	4
(7) 努力しない人を社会が面倒を見るのはおかしい	1	2	3	4
(8) 自分のことはまず自分が責任を持ち、行政が面倒を見るのはそれからだ	1	2	3	4
(9) 競争の社会だから能力によって収入などに差が生じるのは仕方ない	1	2	3	4
(10) 新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止のためなら、個人の自由は制限されてよい	1	2	3	4
(11) 感染拡大の防止のためなら、感染者の個人情報 (氏名、住所など) を公開してもよい	1	2	3	4

2 さまざまな人権問題についてお聞きます

女性の権利について

問 12 女性の権利について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

1 思う	2 思わない	3 わからな	
(1) 「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること	1	2	3
(2) 職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の待遇に差があること	1	2	3
(3) 地域活動 (自治会など) や政治の意思決定の場で、女性の参画が少ないこと	1	2	3
(4) 夫婦別姓での婚姻が認められていないこと	1	2	3
(5) ストーカー行為や痴漢行為	1	2	3
(6) セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
(7) DV (配偶者やパートナーなど親しい関係での暴力)	1	2	3

問 13 女性の権利を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
(それぞれあてはまるもの 1 つに○)

1 思う	2 思わない	3 わからな	
(1) 性別による固定的な役割分担意識を見直す	1	2	3
(2) 職場において、採用や昇進・昇格・給与などの男女の待遇の差をなくす	1	2	3
(3) 地域活動 (自治会など) や政治の場で、女性が積極的に参画できる環境を整備する	1	2	3
(4) 男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	1	2	3
(5) DV やセクハラなど、女性の権利に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(6) 性差別・性暴力を禁止する法律をつくる	1	2	3
(7) 性暴力被害者への支援を充実させる	1	2	3

子どもの人権について

問 14 子どもの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 子ども同士のいじめ（携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む）	1	2	3
(2) インターネット（SNS等）上に子どもにとって有害な情報があること	1	2	3
(3) 子どもへの暴力や虐待	1	2	3
(4) 子どもの進路の選択などで、親が決めてしまうこと	1	2	3
(5) 学校での教員による体罰や差別的な扱い	1	2	3
(6) 売春・児童買春・援助交際があること	1	2	3
(7) 生まれ育った環境によって、生活環境や学習の機会が確保できないこと	1	2	3
(8) 困ったことや心配なことがあったときに、相談する場所がないこと	1	2	3

問 15 子どもの人権を守るために、以下のことが必要だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 子どもの人権に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(2) 子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる	1	2	3
(3) 親の家庭での教育力を向上させる	1	2	3
(4) 教員など指導者の資質を高める	1	2	3
(5) 家庭・学校・地域が連携して健全育成に向けた活動に取り組む	1	2	3
(6) インターネットや携帯電話の利用を制限する	1	2	3
(7) 子ども食堂や学習支援を充実させる	1	2	3

高齢者の人権について

問 16 高齢者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 経済的に自立が困難なこと	1	2	3
(2) 働ける能力を発揮する機会が少ないこと	1	2	3
(3) 悪徳商法の被害が多いこと（振り込め詐欺を含む）	1	2	3
(4) 高齢者に対する虐待が増えていること	1	2	3
(5) 高齢者の意見や行動を尊重しないこと	1	2	3
(6) 孤立する高齢者が増えていること	1	2	3

問 17 高齢者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する	1	2	3
(2) 高齢者が経験を生かして働ける機会を確保する	1	2	3
(3) 高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる	1	2	3
(4) 高齢者の人権に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(5) 高齢者同士や他の世代との交流を促進する	1	2	3
(6) 高齢者が知識や経験を生かして活躍できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす	1	2	3

障害者の人権について

問 18 障害者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 道路の段差や駅や建物の階段など外出に支障があること	1	2	3
(2) 就職・職場で差別的な扱いを受けること	1	2	3
(3) 障害者の生活を支援するために必要な福祉サービスが不足していること	1	2	3
(4) 障害者の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと	1	2	3
(5) 差別的な発言や行動を受けること	1	2	3
(6) 近隣や地域の人とのふれあいや理解を深めるような機会が少ないこと	1	2	3
(7) 学校での支援教育が十分でないこと	1	2	3
(8) 障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと	1	2	3

問 19 障害者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 障害者が安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する	1	2	3
(2) 障害者の就労機会を確保する	1	2	3
(3) 障害者が必要とする福祉サービスを拡充する	1	2	3
(4) 学校で共に学ぶ教育を充実させる	1	2	3
(5) 障害者がある人となし人の交流を促進する	1	2	3
(6) 障害者の人権に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(7) 障害者に対する災害時の情報提供を充実させる	1	2	3
(8) 障害者が参加や利用ができない課題をなくするための話し合いを促進する(合理的配慮)	1	2	3

部落差別(同和問題)について

問 20 部落差別(同和問題)について、あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題[※]などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どのようなことしかけですか。
(あてはまるもの1つに○)

	8 テレビ、映画、新聞、雑誌などで知った	9 インターネット(SNS等)で知った	10 近くに同和地区があった	11 自分の身近で部落差別があった	12 覚えていない	13 同和問題については、知らない	14 その他()
1 父母や家族から聞いた							
2 近所の人から聞いた							
3 学校の友達から聞いた							
4 学校の授業で教わった							
5 職場の人から聞いた							
6 講演会、研修会などで聞いた							
7 府や市町村の広報誌などで読んだ							

※部落差別(同和問題)：日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられ、同和地区と呼ばれる地域の出身者であることなどを理由に結婚を反対されたり、就職などの日常生活の上で差別を受けたりするなどしている、我が国固有の人権問題。

問 21 部落差別(同和問題)について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いませんか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 就職・職場で不利な扱いを受けること	1	2	3
(2) インターネット(SNS等)を利用して差別的な情報を掲載すること	1	2	3
(3) 結婚問題で周囲の人が反対すること	1	2	3
(4) 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること	1	2	3
(5) 差別的な落書や言動があること	1	2	3
(6) 身元調査すること	1	2	3

問 22 部落差別（同和問題）を解決するために、以下のことが必要、あるいは以下の意見は正しいと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 行政や民間の人権団体が同和地区住民の自立を支援する取組をすすめる	1	2	3
(2) 差別意識をなくし、広く人権を大切にするための教育・啓発活動をすすめる	1	2	3
(3) 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、協働して「まちづくり」をすすめる	1	2	3
(4) 相談体制をはじめ、救済制度を充実させる	1	2	3
(5) 同和問題や差別があることを口に出さずに、そっとしておけば自然に差別はなくなる	1	2	3
(6) 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる	1	2	3

外国人の人権について

問 23 外国人の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いませんか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書き込みを含む）	1	2	3
(2) 就職・職場での差別・不利な扱いがあること	1	2	3
(3) 住宅を容易に借りることができないこと	1	2	3
(4) 宗教や慣習が違ふことで、地域社会に受け入れられにくいこと	1	2	3
(5) 外国人の子どもが十分な教育を受けられないこと（自国の言葉での教育を含む）	1	2	3
(6) 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと	1	2	3

問 24 外国人の人権を守るために、以下のことが必要だと思いませんか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思 わ な い	3 わ か ら な い
(1) 外国人のための適正な就業の場や賃金・労働条件の平等を確保する	1	2	3
(2) 外国人の住宅の確保に際し、不利な取扱いをしない	1	2	3
(3) 外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する	1	2	3
(4) 外国人のための相談体制を充実させる	1	2	3
(5) 外国人のための日本語学習の機会や日常生活に必要な情報を外国語により提供する	1	2	3
(6) 外国人との交流を積極的に図り、多文化共生の理解を深める	1	2	3

インターネットにおける人権について

問 25 インターネットにおける人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ れ な い	3 わ か ら な い
(1) SNS等で他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現などが掲載されること	1	2	3
(2) 出会い系サイトなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること	1	2	3
(3) パソコンやスマホを使いこなせないと使いこなせない人の間に情報格差ができること	1	2	3
(4) ウィルスなどにより個人情報などが流出してしまうこと	1	2	3
(5) 実名や顔写真等、プライバシーに関する情報が掲載されること	1	2	3
(6) 本人への明確な了解なく、個人のアクセス情報などが事業者に利用されること	1	2	3
(7) リバウンド（元交際相手などの性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為）が行われていること	1	2	3

問 26 インターネットによる人権侵害を解決するために、以下のことが必要だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ れ な い	3 わ か ら な い
(1) 行政等による正しい情報発信を推進する	1	2	3
(2) インターネット利用者に、メディアリテラシー※に関する教育・啓発活動を推進する	1	2	3
(3) プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める	1	2	3
(4) 人権相談所、インターネット人権相談受付窓口などの救済機関の役割や利用方法の周知を進める	1	2	3
(5) パソコンやスマホの情報漏洩防止のための講座を開催する	1	2	3

※メディアリテラシー：インターネットやテレビ、新聞などのメディアを使いこなし、メディアの伝える情報を理解する能力。また、メディアからの情報を見きわめる能力のこと。
さらに、それを人に教え、自分から発信する力を「メディアコンピテンシー」といい、メディアリテラシーとあわせて重要な能力です。

セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について

問 27 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ れ な い	3 わ か ら な い
(1) 世間から好奇又は偏見の目で見られること	1	2	3
(2) 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	1	2	3
(3) 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること	1	2	3
(4) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）に関する法律が整備されていないこと	1	2	3
(5) 同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと	1	2	3
(6) 性別確認の仕方や診察室への呼び方等、医療機関等での配慮が十分でないこと	1	2	3
(7) カミングアウトしたい人が、周囲の偏見や差別を恐れて、カミングアウトができないこと	1	2	3

※セクシュアルマイノリティ（LGBT等）：セクシュアルマイノリティ（性的少数者）を表す言葉の一つとして、次の言葉の頭文字をとって組み合わせた「LGBT」が使われることもあります。L：レズビアン（女性を好きになる女性）、G：ゲイ（男性を好きになる男性）、B：バイセクシュアル（男女どちらも好きになる人）、T：トランスジェンダー（出生時に割り当てられた性別と異なる性別を生きている人）また、現任は、Q：クィア、クエスチョニングなど（自分の性別や、好きになる相手の性別を決めていない人）など「LGBT」だけでは表せないセクシュアルマイノリティを含めて「LGBTQ」と表現することが増えています。

問 28 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思 う	2 思 わ れ な い	3 わ か ら な い
(1) 法律や制度を整備する	1	2	3
(2) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）のための人権相談所や電話相談所を充実させる	1	2	3
(3) 学校、職場、地域で、セクシュアルマイノリティ（LGBT等）に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	1	2	3
(4) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）に関する条例やパートナーシップ制度などを周知する	1	2	3
(5) セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の人権擁護に関する活動を支援する	1	2	3
(6) 学校に不安なく行ける、職場で働きやすい、地域で暮らしやすい環境を整備する	1	2	3

さまざまな人権問題について

問 29 新型コロナウイルス感染症に関し、以下のようなかを見聞したことがありますか。
(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 感染者や医療従事者、またその家族への悪口などの不当な扱いがあること |
| 2 外国からの帰国者への悪口などの不当な扱いがあること |
| 3 日本に居住する外国人への悪口などの不当な扱いがあること |
| 4 府外から来られた方への差別的言動や行動があること |
| 5 悪い噂や感染情報（誤った情報を含む）が他人に伝えられること |
| 6 メールやインターネット（SNS等）による悪質な書き込みや嫌がらせがあること |
| 7 詐欺や悪質商法の被害者が多くなくなっていること |
| 8 学校や職場内での拒否等による孤立やいじめがあること |

問 30 問 29 のような状況についてどのように思いましたか。
(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1 よくないことだと思った |
| 2 いろいろな考え方、受け止め方がありうるので、特段問題ないと思った |
| 3 感染拡大を防止するために仕方ないことだと思った |
| 4 自分には関係ないと思った |
| 5 特にない |
| 6 その他（ ） |

問 31 あなたは、貧困や差別を是正したり、平等を実現するための特別な措置がやりすぎであるとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

- | |
|------|
| 1 ある |
| 2 ない |

問 31 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 31-1 それは誰からですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|---------------------------|
| 1 家族 | 7 府や市町村の職員 |
| 2 親戚 | 8 知らない人 |
| 3 近所の人 | 9 書籍 |
| 4 友人 | 10 インターネット（SNS 等含む）での書き込み |
| 5 職場の人 | 11 その他（ ） |
| 6 学校の先生 | |

問 31-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 その通りと思った | 3 反発・疑問を感じた |
| 2 そういう見方もあるかと思った | 4 とくに何も思わなかった |

3 あなたご自身についてお聞きします

問 32 あなたの自認する性をお答えください。※統計的な分析に必要であるため性別等をおたずねします。

- | | | |
|------------------------|------|-------|
| 1 女性 | 2 男性 | 3 （ ） |
| わからない、答えないなど自由にお書きください | | |

問 33 あなたの年齢をお答えください。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1 18～19 歳 | 2 20 歳代 | 3 30 歳代 | 4 40 歳代 |
| 5 50 歳代 | 6 60 歳代 | 7 70 歳以上 | |

問 34 あなたが日常的に利用する主なメディアはどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|-------------------------|
| 1 新聞 | 4 ラジオ |
| 2 書籍、雑誌 | 5 インターネット（パソコン・スマートフォン） |
| 3 テレビ | 6 その他（ ） |

問 35 あなたの現在の暮らし向きはどれにあてはまりますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | | | | |
|------|--------|-------|--------|------|
| 1 良い | 2 やや良い | 3 ふつう | 4 やや悪い | 5 悪い |
|------|--------|-------|--------|------|

問 36 あなたが関心を持っている人権問題の解決に向けて、やってみたいことや、できそうなことがあれば、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございます。
ご記入漏れがないか、ご確認の上、同封した返信用封筒に切手を貼らずに
11月22日（月）までに投函してください。

茨木市 人権問題に関する市民意識調査 報告書

令和 4 年 3 月

発行：茨木市 市民文化部 人権・男女共生課

〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目 8 番 1 3 号

電 話 072-620-1640

F A X 072-620-1725

E メール jinken@city.ibaraki.lg.jp
